

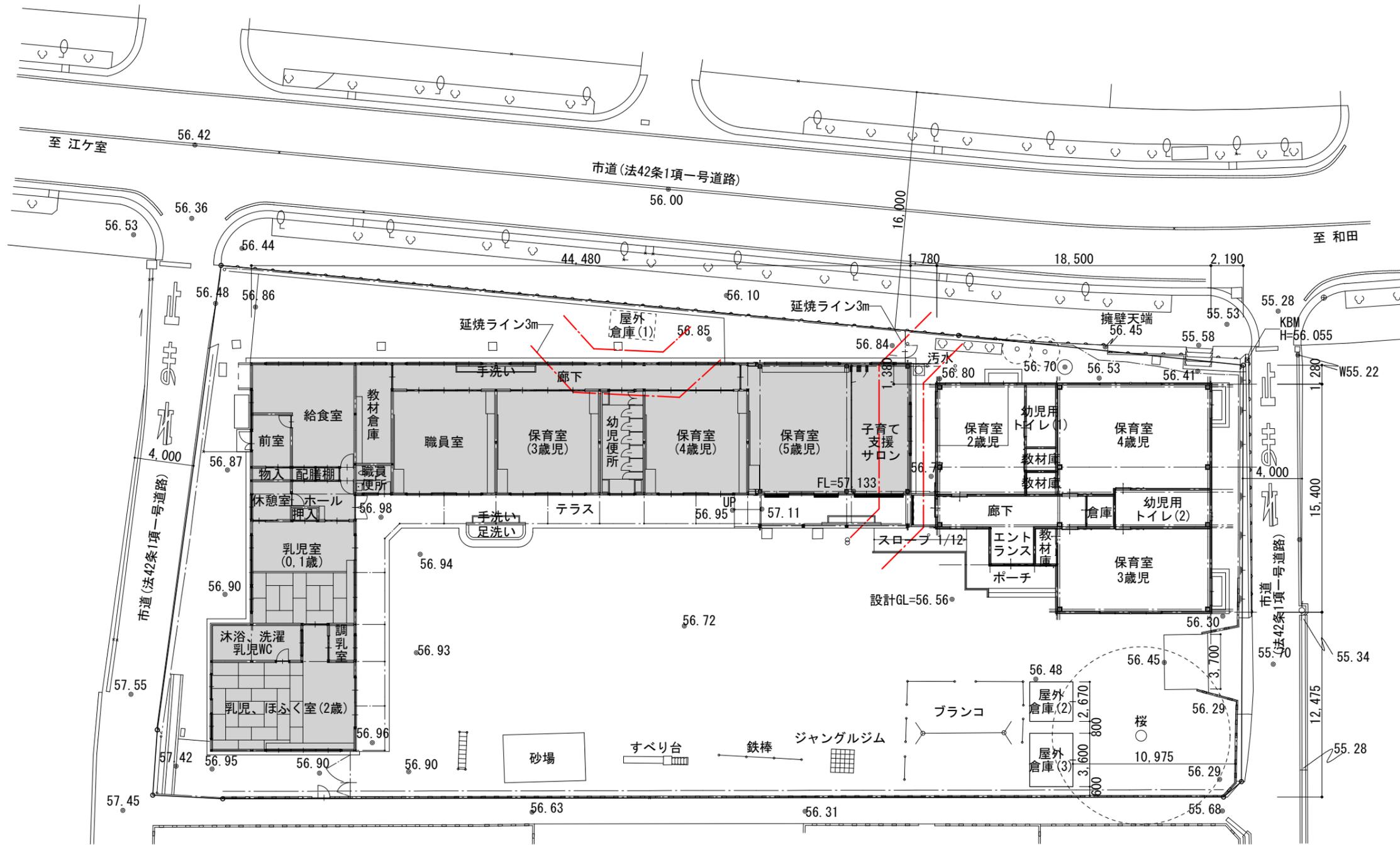
4 地業工事 (14 砂及び砂利地業 15 捨コンクリート地業 16 床下防湿層)	孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない 帯筋の加工及び組立 ・ 図示 (図面番号:) 鉄筋の最小かぶり厚さ ()mm 鉄筋かこの補強 ・ 図示 (図面番号:) 継手 ・ 重ね継手 ・ () コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種 (表4.5.1) 設計基準強度 ()N/mm ² セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ () スランプ (cm) ・ 18 ・ () 構造体強度補正值 (S) ・ 3N/mm ² ・ ()	2 コンクリートの類別 (6.2.1) (表6.2.1) 3 コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5) 4 セメント (6.3.1) (表6.3.1) 5 骨材 (6.3.1)	7 鉄骨工事 1 鉄骨製作工場 (7.1.3) (7.1.4) 2 施工管理技術者 (7.1.4) 3 鋼材 (7.2.1) 表(7.2.1) 4 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)	(株) 日本鉄骨評価センター又は (株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ○ R ・ M ・ H ・ S ○ 配置する 種類、形状及び寸法 ○ 図示 (図面番号: S-13) (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)	18 溶接施工 (7.6.7) 鋼製エンドタブの切除 ○ 通用及び切断範囲 図示 (図面番号: S-14.15) 切断面の仕上げ ○ 標準仕様書 [7.6.7(b)] (b) ・ 図示 (図面番号: S-14.15) 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ(セラミックタブ又はフラクスタブ)を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。 2. 製作工場が J、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者(溶接技能者・A級以上)、又はA級決定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場が H、Sグレードの場合は溶接技能者がA級決定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラップの形状 ・ 図示 (図面番号:)
	14 砂及び砂利地業 (4.6.2) (4.6.3) 砂利 ○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 ・ () 砂 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ () 施工範囲 ○ 図示 (図面番号: A-15~17.31) 厚さ (mm) ○ 60,100 ・ () ○ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。	6 コンクリートの材料 (6.3.1) (表6.3.2)	5 普通ボルト (7.2.3) (表7.2.3) (7.3.2) 6 熔融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)	19 溶接部の試験 (7.6.12) (表7.6.2) 試験の種別 溶接部の外観試験方法 ・ () ○ 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ ()	20 錆止め塗装 (7.8.2) (7.8.4)
15 捨コンクリート地業 (4.6.4) 厚さ (mm) ○ 50 ・ () 施工範囲 ○ 図示 (図面番号: A-31) ○ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。	7 打継ぎ (6.6.4) 8 養生 (6.7.2) 9 型枠 (6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)	7 アンカーボルト (7.2.4) (表7.2.3) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1)	21 耐火被覆 (7.9.2) (7.9.3)	22 軽量形鋼 (7.11.2)	耐火被覆材の接着する面への塗装 塗装範囲 図示 (図面番号:) 種別 ○ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] (A)種 ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2] ()種 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 塗装範囲 図示 (図面番号:) 鉄骨鉄筋コンクリートの鋼製リブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1] ()種
16 床下防湿層 (4.6.2) (4.6.5) 施工範囲 ○ 図示 (図面番号: A-15~17) ポリエチレンフィルム厚さ ○ 0.15mm以上 ・ () ○ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。	10 寒中コンクリート (6.11.1) 11 暑中コンクリート (6.12.2) 12 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)	8 溶接材料 (7.2.5) 9 ターンバックル (7.2.6)	2 コンクリートブロック幅及び厚 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)	3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.8) (表8.2.1)
1 鉄筋 (5.2.1)	1. 鉄筋の種類 (5.2.2)	13 材料試験等 (7.2.10)	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.8) (表8.2.1)	2 コンクリートブロック幅及び厚 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)	3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
種類の記号 径 備考 ○ SD295A ○ D16以下 ・ SD295B ・ () ・ SD345 ・ D19以上 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの	2. 溶接金網 (5.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ () 寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 ・ ()	14 ボルトの孔径 (7.3.8)	2 1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.8) (表8.2.1)	2 2 コンクリートブロック幅及び厚 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)	3 1 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
3. 内法直径 (5.3.2) 90° 未満の折曲げの内法直径 ・ 図示 (図面番号:)	4. 継手 (5.3.4)	15 仮組 (7.3.10)	2 2 コンクリートブロック幅及び厚 (8.3.2) (8.3.3) (8.3.4) (8.3.7) (表8.3.1)	3 2 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 2 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ○ 標準仕様書 [5.3.4] (3) (7) ・ 図示 (図面番号:) 継手位置 ○ 各部配筋参考図による ○ 図示 (図面番号: S-02) 鉄筋定着 ○ 標準仕様書 [表5.3.4] ・ 図示 (図面番号:) ○ 標準仕様書 [表5.3.3] ・ 図示 (図面番号:)	5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) (表5.3.6) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ○ 標準仕様書 [表5.3.6] ・ 図示 (図面番号:)	16 溶接作業における技能資格者 (7.6.3)	2 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
6. 各部配筋 ○ 図示 (図面番号: S-02) (5.3.7)	7. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	17 溶接部の開先 (7.6.4)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
8. 機械式継手及び溶接継手 (5.5.2) (5.6.3)	8. 機械式継手及び溶接継手 (5.5.2) (5.6.3)	18 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
9. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	9. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
10. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	10. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
11. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	11. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
12. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	12. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
13. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	13. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
14. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	14. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
15. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	15. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
16. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	16. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
17. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	17. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
18. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	18. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
19. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
20. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	20. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
21. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	21. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
22. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	22. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
23. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	23. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
24. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	24. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
25. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	25. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
26. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	26. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
27. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	27. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
28. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	28. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
29. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	29. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
30. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	30. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
31. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	31. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
32. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	32. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
33. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	33. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
34. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	34. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
35. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	35. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)
36. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	36. 圧接完了後の試験 (5.4.10)	19 無筋コンクリート (6.14.1)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4.2) (8.4.5) (表8.4.3)	3 3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.3) (8.4.4) (表8.4	

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事(続き)	4 押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (8.5.5) (表8.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状及び原料区分</th> <th>板厚(mm)</th> <th>働き幅(mm)</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル</td> <td>・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル</td> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル</td> <td>・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル</td> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> </table> <p>パネル幅を300mm以下とする部分 ・適用あり パネル相互の目地幅 (mm) ・長辺 8以上、短辺 15以上 ・() 出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm) ・15 ・() 目地及び隙間の処理 ・() 外壁パネル横法 風圧力に対応した工法 ・適用あり 間仕切壁パネル横法 パネルに欠き込みを行う場合 ・パネル開口の限度 ・図示 (図面番号:)</p>	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法	・外壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・A種 ・B種	・間仕切壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・B種 ・C種	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9.4.2) (9.4.3) (9.4.4) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>ルーフィングシート 種類 ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3] ・図示 () 絶縁用シート ・発砲ポリエチレンシート ・() 固定金具 材質、寸法形状 () ・図示 (図面番号:) 断熱材 種類、厚さ ・機械的固定工法 図示 (図面番号:) ・接着工法 図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 接着工法における脱気装置 ・設置数量 図示(図面番号:) 種類 () 防湿用フィルムの設置 ・有り ・無し S-M2又はSI-M2で立上りを接着工法 立ち上がり面のシート厚さ ・1.5mm ・() mm 屋内保護密着工法 モルタル塗り厚さ ・() mm 立上り部の保護モルタル塗厚さ ・7mm以下 ・() mm 目地処理 PC下地 ・図示 (図面番号:) 増張り (S-F1、SI-F1) PC入隅部 ・図示 (図面番号:) 機械的固定工法 風圧力に対応した工法 ・図示 (図面番号:)</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	4 その他の材料	(10.2.3)	テラゾブロック 使用部位 種石の種類 種石の大きさ 形状 仕上げ面 寸法(mm) 表面仕上	10 笠木、甲板等	(10.2.2) (10.3.3) (10.5.3) (10.7.1) (10.7.3)	<p>取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2] (3) ・() アンカーの材質及び寸法 ・SS304 M10 ・() あと施工アンカーの材質及び寸法 ・() 取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 石材の厚さ ・() 石表面処理 ・適用する 取付け(乾式工法の場合) (mm) ・標準仕様書[10.5.3] (2) ・() 石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合) ・適用する 図示(図面番号:) 目地 一般目地 目地幅(mm) ・() 伸縮調整目地(外壁湿式工法の場合) 位置 ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示(図面番号:)</p>																																		
	種類	表面形状及び原料区分	板厚(mm)	働き幅(mm)	工法																																																																
・外壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・A種 ・B種																																																																	
・間仕切壁パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・B種 ・C種																																																																	
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
9 防水工事	1 アスファルト防水	(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3)～(表9.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8] ・図示 () 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類 ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8] ・図示 () 絶縁用シート ・ポリエチレンフィルム (厚さ 0.15mm以上) ・フラットマーンクロス (70g/m²) 押え金物 ・アルミ製 L-30×15×2.0(mm) ・図示 (図面番号:) 断熱材 ・屋根保護防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm ・屋根露出防水断熱工法 種類 () 厚さ () mm 屋根保護防水 (表9.2.3)～(表9.2.6) 立ち上がり部の保護コンクリート ・図示(図面番号:) 乾式保護材 ・使用する 立ち上がり部保護れんが ・JIS R 1250 ・() 脱気装置 (表9.2.7) ・設置数量 図示(図面番号:) 種類 () 屋根露出防水における仕上塗料 (表9.2.7) (表9.2.8) ・図示(図面番号:) 種類 () 使用量 () 屋内防水密着工法における保護層 (表9.2.9) ・図示(図面番号:) E-1の工程3 ・行う ・行かない 防水層の下地モルタル塗り (9.2.4) ・図示(図面番号:) 立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種別 種類 ・B種 ・() 屋根露出防水絶縁断熱工法 (9.2.4) ルーフレイン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置 ・図示(図面番号:) 保護コンクリートの厚さ (9.2.5) こて仕上げ ・水下 80mm以上 ・() 床ダイル張り ・水下 60mm以上 ・() 立ち上がり部の保護方法 ・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート押え ・モルタル押え (屋内等) ・() 屋上排水溝 ・図示(図面番号:) 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	4 塗膜防水	(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>X-1</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>X-2</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>Y-1</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>Y-2</td> </tr> </table> <p>脱気装置 (X-1) ・設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 防水層の工程数及び各工種の使用量 (Y-1、Y-2) ・製造所の仕様による ・() 保護層 (Y-2) ・図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1) (表9.6.2)</p>	施 工 箇 所	種 別	_____	X-1	_____	X-2	_____	Y-1	_____	Y-2	5 外壁湿式工法	(10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3)	<p>受け金物の材質、形状、寸法 ・図示 (図面番号:) アンカーの材質及び寸法 ・SS400 M12 ・() あと施工アンカーの材質及び寸法 ・() ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ・() 石材の有効厚さ ・25mm以上 ・() 石表面処理 ・適用する 表打ち処理 ・適用する 下地ごしらえ ※ 流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー横筋流し工法 目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・() 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[表11.1.1] ・図示 (図面番号:) シーリング材の目地寸法 ※幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号:)</p>	11 鋼て板	(10.7.4)	<p>位置 ○ 標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:) タイルの種類・工法 (11.2.2) (11.2.3) (表11.2.3) (11.3.2) (11.3.4) (表11.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>種 類</th> <th>形状寸法</th> <th>耐滑り性</th> <th>うわぐすり</th> <th>役 物</th> <th>標 準 特 性 色</th> <th>耐 凍 害 性</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>磁器質</td> <td>100×100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>標準</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>○ 役物 (段差タイル) ・試験張りを行う ・臭本焼きを行う ・既モルタル調査 () セメントモルタル塗り又は有機系接着剤と張り工事 (11.2.7) (11.3.7) コンクリート素地面の処理 ・適用箇所 図示(図面番号:) ・目尻工法 ・MCR工法 有機系接着剤と張り工事 シーリング材 打継、ひび割れ誘発目地 ※PU-2 ・() 伸縮、その他目地 ※MS-2 ・()</p>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標 準 特 性 色	耐 凍 害 性	_____	_____	磁器質	100×100	○	○	○	標準	○	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____			
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
施 工 箇 所	種 別																																																																				
_____	X-1																																																																				
_____	X-2																																																																				
_____	Y-1																																																																				
_____	Y-2																																																																				
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標 準 特 性 色	耐 凍 害 性																																																													
_____	_____	磁器質	100×100	○	○	○	標準	○																																																													
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____																																																													
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____																																																													
	2 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	6 内壁空積工法	(10.2.2) (10.3.3) (10.4.2) (10.4.3)	<p>受け金物の材質、形状、寸法 ・図示 (図面番号:) アンカーの材質及び寸法 ・SS400 M12 ・() あと施工アンカーの材質及び寸法 ・() 石材の有効厚さ ・20mm以上 ・() 下地ごしらえ ※ あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅(mm) ・6以上 ・() 伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ※幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号:)</p>	11 タイル工事	(11.1.3)	<p>位置 ○ 標準仕様書[表11.1.1] ・図示(図面番号:) タイルの種類・工法 (11.2.2) (11.2.3) (表11.2.3) (11.3.2) (11.3.4) (表11.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工 法</th> <th>種 類</th> <th>形状寸法</th> <th>耐滑り性</th> <th>うわぐすり</th> <th>役 物</th> <th>標 準 特 性 色</th> <th>耐 凍 害 性</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>磁器質</td> <td>100×100</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>標準</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>○ 役物 (段差タイル) ・試験張りを行う ・臭本焼きを行う ・既モルタル調査 () セメントモルタル塗り又は有機系接着剤と張り工事 (11.2.7) (11.3.7) コンクリート素地面の処理 ・適用箇所 図示(図面番号:) ・目尻工法 ・MCR工法 有機系接着剤と張り工事 シーリング材 打継、ひび割れ誘発目地 ※PU-2 ・() 伸縮、その他目地 ※MS-2 ・()</p>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標 準 特 性 色	耐 凍 害 性	_____	_____	磁器質	100×100	○	○	○	標準	○	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____																
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標 準 特 性 色	耐 凍 害 性																																																													
_____	_____	磁器質	100×100	○	○	○	標準	○																																																													
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____																																																													
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____																																																													
	3 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	7 乾式工法	(10.2.2) (表10.2.4) (10.5.2) (10.5.3)	<p>金物の種類、形状、寸法 ・図示 (図面番号:) 標準仕様書[表10.2.4] 取付け工法 ・スライド方式 ・ロッキング方式 アンカーの材質及び寸法 ・SS304 M10 ・() あと施工アンカーの材質及び寸法 ・() 石材の有効厚さ ・30mm以上(外壁) ・25mm以上(内壁) ・() たばね穴の位置 ・図示 (図面番号:) 石表面処理 ・適用する 表打ち処理 ・適用する 風圧力に対応した工法 ・図示 (図面番号:) 目地 目地幅(mm) ※8以上 ・() シーリング材 ・適用する</p>	12 木工事	(12.1.4) (表12.1.1) (表12.1.2) (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) (表12.2.1)	<p>見え掛り部の表面仕上げ 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 適用箇所 () 手加工 内部造作材 ※H-B種 ・H-A種 ・H-C種 下地材 ※H-C種 ・H-A種 ・H-B種 木材の含水率 <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table> </p> <p>樹種 ・図示 (図面番号:) 「製材の日本農林規格」による製材 (12.2.1) (2) (7)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> <th>産産材</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td>○ 図示 ()</td> <td>○ (2級)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 ()</td> <td>・ ()</td> <td>・10%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「製材の日本農林規格」以外の製材 (12.2.1) (2) (表12.2.2) 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率 ・図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ※A種 ・() 樹種 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>産 産 材</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> </p>	部材名称	種別	下地材	※A種 ・B種	造作材	※A種 ・B種		樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	産産材	下地用 針葉樹製材	○ 図示 ()	○ (2級)					造作用 針葉樹製材	・ 図示 ()	・ ()					広葉樹製材	・ 図示 ()	・ ()	・10%以下				部 位	樹 種	産 産 材	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
部材名称	種別																																																																				
下地材	※A種 ・B種																																																																				
造作材	※A種 ・B種																																																																				
	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	産産材																																																															
下地用 針葉樹製材	○ 図示 ()	○ (2級)																																																																			
造作用 針葉樹製材	・ 図示 ()	・ ()																																																																			
広葉樹製材	・ 図示 ()	・ ()	・10%以下																																																																		
部 位	樹 種	産 産 材																																																																			
_____	_____	_____																																																																			
_____	_____	_____																																																																			
_____	_____	_____																																																																			
_____	_____	_____																																																																			
_____	_____	_____																																																																			
	4 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	8 床及び階段の石張り	(10.3.3) (10.6.2) (10.6.3)	<p>石材の厚さ ・() 石表面処理 ・適用する 目地 一般目地 目地幅(mm) ・屋内4mm以上、屋外3～6mm ・図示(図面番号:) 伸縮調整目地 位置 ・標準仕様書[10.6.2] (5) (1) (a) ・図示 (図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号:)</p>	3 集材等	(12.2.1)	<p>造作用集材 (12.2.1) 「集材の日本農林規格」による造作用集材 <table border="1"> <tr> <th>造作用集材</th> <th>品名・樹種・寸法</th> <th>品質</th> <th>化粧薄板厚さ</th> </tr> <tr> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>※1等 ・()</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>※1等 ・()</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用集材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> </p> <p>「集材の日本農林規格」以外の造作用集材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ及び含水率 ・図示 (図面番号:)</p>	造作用集材	品名・樹種・寸法	品質	化粧薄板厚さ	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	※1等 ・()	_____	化粧ばり造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	※1等 ・()	_____	化粧ばり構造用集材	・ 図示 (図面番号:)	_____	_____																																				
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
造作用集材	品名・樹種・寸法	品質	化粧薄板厚さ																																																																		
・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	※1等 ・()	_____																																																																		
化粧ばり造作用集材	・ 図示 (図面番号:)	※1等 ・()	_____																																																																		
化粧ばり構造用集材	・ 図示 (図面番号:)	_____	_____																																																																		
	5 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	9 アーチ、上げ裏等の石張り	(10.2.2) (10.3.3) (10.7.1) (10.7.2)	<p>取付け金物 ・標準仕様書[10.2.2] (3) ・() 吊金物及び化粧吊りボルト ・設ける 吊金物 ※ステンレス(SUS304) 径6mm長さ80mm(加工物) ・() 吊りボルト ※ステンレス(SUS304) M10 化粧ナット付き ・() アンカーの材質及び寸法 ・SS304 M10 ・() あと施工アンカーの材質及び寸法 ・() 取付工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 石材の厚さ ・() 石表面処理 ・適用する 表打ち処理 ・適用する 目地 一般目地 目地幅(mm) ・6以上 ・() 伸縮調整目地 位置 ・図示(図面番号:) シーリング材の目地寸法 ・幅、深さとも10mm以上 ・図示 (図面番号:)</p>																																																							
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
	6 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	10 石工事	(10.1.3) (10.1.4)	<p>脱気装置 (X-1) ・設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 防水層の工程数及び各工種の使用量 (Y-1、Y-2) ・製造所の仕様による ・() 保護層 (Y-2) ・図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1) (表9.6.2)</p>																																																							
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
	7 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	10 石工事	(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	<p>脱気装置 (X-1) ・設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 防水層の工程数及び各工種の使用量 (Y-1、Y-2) ・製造所の仕様による ・() 保護層 (Y-2) ・図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1) (表9.6.2)</p>																																																							
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
	8 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	10 石工事	(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	<p>脱気装置 (X-1) ・設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 防水層の工程数及び各工種の使用量 (Y-1、Y-2) ・製造所の仕様による ・() 保護層 (Y-2) ・図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1) (表9.6.2)</p>																																																							
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
	9 改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート 種類 ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 厚さ ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3] ・図示 () 押え金物の材質、形状、寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) ・() 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 ()</p>	種 別	施 工 箇 所	_____	_____	_____	_____	_____	_____	10 石工事	(10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	<p>脱気装置 (X-1) ・設置数量 図示 (図面番号:) 種類 () 防水層の工程数及び各工種の使用量 (Y-1、Y-2) ・製造所の仕様による ・() 保護層 (Y-2) ・図示 (図面番号:) 仕上塗料 ・図示 (図面番号:) 種類 () 使用量 () 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1) (9.6.3) (9.6.4) (表9.6.1) (表9.6.2)</p>																																																							
種 別	施 工 箇 所																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				
_____	_____																																																																				

12 木工事 (続き)	4 単板積層材 (12.2.1)	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)	14 金属工事	① ステンレス (14.2.1)	表面仕上げ ※ HL仕上げ () (14.2.2) (表14.2.1)	3 こまい下地 (15.2.6)	11 ロックウール吹付け (15.12.3)
	5 直交集成材 (12.2.1)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材 品名、曲げ強度(強度等級)、種別、接着性能(使用環境)、樹種、寸法 ・ 図示 (図面番号:)	④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.2) (14.4.4)	② アルミニウム (14.2.2) (表14.2.1)	表面処理の種類 ・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1 ・ BA-2 ・ BB-1 ・ BB-2 ・ BC-1 ・ BC-2 常温乾燥形の塗装 () 陽極酸化被覆の着色方法 ※ 二次電解着色 () 陽極酸化被覆の色合い等 ()	4 木ずり下地 (15.2.7)	16 ① 防火戸 (16.1.3)
⑥ 合板等 (12.2.1)	構造用合板の強度等級 ・ 図示 (図面番号:) 特殊加工化粧合板の化粧加工方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 () パーティクルボード 表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等 ・ 図示 (図面番号:) ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) 表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等 ・ 図示 (図面番号:)	⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)	⑦ 仕上塗材仕上 (15.6.2) (表15.6.1)	③ 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	亜鉛めっきの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種	5 ⑤ モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)	2 ② 見本の製作等 (16.1.4)
7 接合具等 (12.2.2) (表12.2.3) ~ (表12.2.5)	⑦ 接合具等 (12.2.2) (表12.2.3) ~ (表12.2.5)	6 ⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)	⑧ 網戸等 (16.2.3)	④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (表14.4.1) (14.4.3) (表14.4.2) (14.4.4)	野縁などの種類 屋内 ※ 19形 () 屋外 ※ 25形 () 屋外の野縁受等の間隔 ・ 図示 (図面番号:) 吊りボルトの補強方法 (@90mm超) ・ 図示 (図面番号:) 吊りボルトの水平補強、斜め補強 ① 1.5≦天井ふところ≦3.0m 標準仕様書[14.4.4] (8) ・ 図示 (図面番号:) ・ 天井ふところ>3.0m 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 図示 (図面番号:) ・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号:)	6 セルフレベリング (15.5.2) (表15.5.1)	3 ③ 防火戸 (16.1.3)
8 防蟻・防蟻 ・ 防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	⑧ 防蟻・防蟻 ・ 防虫処理 (12.3.1) (12.3.2)	7 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	6 ⑥ 網戸等 (16.2.3)	⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)	スタッド、ランナーの種類 ① 標準仕様書[表14.5.1] ・ 図示 (図面番号:) スタッドの高さ5m超 ・ 図示 (図面番号:) 出入口、開口部の補強 ② 標準仕様書[14.5.4] (4) ()	7 セルフレベリング (15.5.2) (表15.5.1)	4 ④ アルミニウム製建具 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表16.2.2) (表14.2.2) (16.2.5)
13 屋根及び土工事	1 ② 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)	8 ⑧ 手すり (14.8.2)	7 ⑦ 網戸等 (16.2.3)	⑥ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1) (14.5.4)	② アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	8 マスチック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)	5 ⑤ 網戸等 (16.2.3)
2 ② 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)	② 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)	9 タラップ (14.8.3)	6 ⑥ 網戸等 (16.2.3)	⑦ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	9 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	9 セッコウ ⑨ プラスター塗り (15.8.2) (15.8.3)	6 ⑥ 網戸等 (16.2.3)
3 ③ 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) (表13.4.1)	③ 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) (表13.4.1)	10 天井見切線 (14.8.4)	7 ⑦ 網戸等 (16.2.3)	⑧ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	10 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	10 しっくい塗り (15.10.1) (15.10.2) (15.10.3) (表15.10.1) (表15.10.2)	7 ⑦ 網戸等 (16.2.3)
④ ④ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	④ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	11 点検口 (14.8.5)	8 ⑧ 網戸等 (16.2.3)	⑨ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	11 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	11 こまい壁塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	8 ⑧ 網戸等 (16.2.3)
⑤ ⑤ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑤ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	12 点検口 (14.8.6)	9 ⑨ 網戸等 (16.2.3)	⑩ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	12 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	12 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	9 ⑨ 網戸等 (16.2.3)
⑥ ⑥ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑥ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	13 点検口 (14.8.7)	10 ⑩ 網戸等 (16.2.3)	⑪ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	13 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	13 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	10 ⑩ 網戸等 (16.2.3)
⑦ ⑦ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑦ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	14 点検口 (14.8.8)	11 ⑪ 網戸等 (16.2.3)	⑫ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	14 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	14 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	11 ⑪ 網戸等 (16.2.3)
⑧ ⑧ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑧ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	15 点検口 (14.8.9)	12 ⑫ 網戸等 (16.2.3)	⑬ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	15 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	15 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	12 ⑫ 網戸等 (16.2.3)
⑨ ⑨ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑨ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	16 点検口 (14.8.10)	13 ⑬ 網戸等 (16.2.3)	⑭ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	16 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	16 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	13 ⑬ 網戸等 (16.2.3)
⑩ ⑩ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑩ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	17 点検口 (14.8.11)	14 ⑭ 網戸等 (16.2.3)	⑮ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	17 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	17 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	14 ⑭ 網戸等 (16.2.3)
⑪ ⑪ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑪ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	18 点検口 (14.8.12)	15 ⑮ 網戸等 (16.2.3)	⑯ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	18 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	18 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	15 ⑮ 網戸等 (16.2.3)
⑫ ⑫ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑫ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	19 点検口 (14.8.13)	16 ⑯ 網戸等 (16.2.3)	⑰ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	19 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	19 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	16 ⑯ 網戸等 (16.2.3)
⑬ ⑬ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑬ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	20 点検口 (14.8.14)	17 ⑰ 網戸等 (16.2.3)	⑱ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	20 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	20 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	17 ⑰ 網戸等 (16.2.3)
⑭ ⑭ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑭ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	21 点検口 (14.8.15)	18 ⑱ 網戸等 (16.2.3)	⑲ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	21 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	21 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	18 ⑱ 網戸等 (16.2.3)
⑮ ⑮ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑮ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	22 点検口 (14.8.16)	19 ⑲ 網戸等 (16.2.3)	⑳ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	22 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	22 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	19 ⑲ 網戸等 (16.2.3)
⑯ ⑯ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑯ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	23 点検口 (14.8.17)	20 ⑳ 網戸等 (16.2.3)	㉑ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	23 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	23 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	20 ⑳ 網戸等 (16.2.3)
⑰ ⑰ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑰ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	24 点検口 (14.8.18)	21 ㉑ 網戸等 (16.2.3)	㉒ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	24 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	24 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	21 ㉑ 網戸等 (16.2.3)
⑱ ⑱ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑱ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	25 点検口 (14.8.19)	22 ㉒ 網戸等 (16.2.3)	㉓ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	25 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	25 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	22 ㉒ 網戸等 (16.2.3)
⑲ ⑲ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	⑲ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	26 点検口 (14.8.20)	23 ㉓ 網戸等 (16.2.3)	㉔ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	26 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	26 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	23 ㉓ 網戸等 (16.2.3)
㉑ ㉑ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉑ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	27 点検口 (14.8.21)	24 ㉔ 網戸等 (16.2.3)	㉕ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	27 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	27 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	24 ㉔ 網戸等 (16.2.3)
㉑ ㉑ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉑ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	28 点検口 (14.8.22)	25 ㉕ 網戸等 (16.2.3)	㉖ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	28 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	28 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	25 ㉕ 網戸等 (16.2.3)
㉓ ㉓ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉓ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	29 点検口 (14.8.23)	26 ㉖ 網戸等 (16.2.3)	㉗ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	29 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	29 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	26 ㉖ 網戸等 (16.2.3)
㉓ ㉓ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉓ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	30 点検口 (14.8.24)	27 ㉗ 網戸等 (16.2.3)	㉘ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	30 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	30 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	27 ㉗ 網戸等 (16.2.3)
㉕ ㉕ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉕ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	31 点検口 (14.8.25)	28 ㉘ 網戸等 (16.2.3)	㉙ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	31 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	31 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	28 ㉘ 網戸等 (16.2.3)
㉕ ㉕ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉕ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	32 点検口 (14.8.26)	29 ㉙ 網戸等 (16.2.3)	㉚ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	32 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	32 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	29 ㉙ 網戸等 (16.2.3)
㉗ ㉗ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉗ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	33 点検口 (14.8.27)	30 ㉚ 網戸等 (16.2.3)	㉛ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	33 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	33 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	30 ㉚ 網戸等 (16.2.3)
㉗ ㉗ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉗ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	34 点検口 (14.8.28)	31 ㉛ 網戸等 (16.2.3)	㉜ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	34 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	34 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	31 ㉛ 網戸等 (16.2.3)
㉙ ㉙ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉙ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	35 点検口 (14.8.29)	32 ㉜ 網戸等 (16.2.3)	㉝ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	35 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	35 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	32 ㉜ 網戸等 (16.2.3)
㉙ ㉙ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉙ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	36 点検口 (14.8.30)	33 ㉝ 網戸等 (16.2.3)	㉞ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	36 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	36 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	33 ㉝ 網戸等 (16.2.3)
㉛ ㉛ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉛ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	37 点検口 (14.8.31)	34 ㉞ 網戸等 (16.2.3)	㉟ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	37 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	37 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	34 ㉞ 網戸等 (16.2.3)
㉛ ㉛ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉛ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	38 点検口 (14.8.32)	35 ㉟ 網戸等 (16.2.3)	㊱ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	38 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	38 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	35 ㉟ 網戸等 (16.2.3)
㉟ ㉟ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉟ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	39 点検口 (14.8.33)	36 ㊱ 網戸等 (16.2.3)	㊲ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	39 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1)	39 しっくい塗り (15.11.2) (15.11.3) (15.11.4) (15.11.5) (表15.11.2) (表15.11.8) (表15.11.9)	36 ㊱ 網戸等 (16.2.3)
㉟ ㉟ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	㉟ とい (13.5.2) (表13.5.1) (表13.5.2) (13.5.3) (表13.5.4)	40 点検口 (14.8.34)	37 ㊲ 網戸等 (16.2.3)	㊳ アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.			

16 建具工事 （続き）	10 木製建具	(16.7.2) (16.7.3) (16.7.4) (表16.7.1) (表16.7.3) (表16.7.6) (表16.7.7) (16.8.2) (表16.8.4) (表16.8.5)	17 カーテンウォール工事	1 種類 (17.1.1) (17.1.2)	・メタルカーテンウォール(種類) ・PCカーテンウォール	3 特殊機能床材	(19.2.2) (表19.2.2)	11 セッコウボード、 その他のボード 及び合板張り	(19.7.2) (表19.7.1) (19.7.3) (表19.7.3) (表19.7.5)																							
	11 建具用金物	(16.8.2) (表16.8.1) (16.8.3) (16.8.4) (表16.8.2) (表16.8.3) (表16.8.4)	2 性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)	2 性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)	耐風圧性() 耐震性() 水密性() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() 性能の確認・判定方法() シーリング材の種類 断熱材()	4 ビニル幅木	(19.2.2)	合板張り ・普通合板 表面の樹種名 ・(透明塗料塗り)ラワン ・(不透明塗料塗り)しな ・生地のまま() 板面の品質() 厚さ(mm) 接着の程度・1類(湿潤箇所) () 防虫処理 () ・天然化粧合板 化粧板の樹種名 () 厚さ(mm) 接着の程度・1類(湿潤箇所) () 防虫処理 () ・特殊加工合板 化粧加工の方法 ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 () 表面性能() 厚さ(mm) 接着の程度・1類(湿潤箇所) () 防虫処理 ()	12 自動ドア開閉装置	(表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3) (16.9.3) (表16.9.4) (16.9.2)	3 メタルカーテンウォール	(17.2.2) (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6) (表17.2.2) (表17.2.3)	5 施工	(19.2.3)	13 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3) (表16.10.1)	4 PCカーテンウォール	(17.3.2) (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (表17.3.1) (表17.3.2)	6 カーベツト敷き	(19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)	14 重量シャッター	(16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)
	12 自動ドア開閉装置	(表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3) (16.9.3) (表16.9.4) (16.9.2)	3 メタルカーテンウォール	(17.2.2) (17.2.3) (表17.2.1) (17.2.5) (17.2.6) (表17.2.2) (表17.2.3)	5 施工	(19.2.3)	13 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3) (表16.10.1)	4 PCカーテンウォール	(17.3.2) (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (表17.3.1) (表17.3.2)	6 カーベツト敷き	(19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)	14 重量シャッター	(16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)								
	13 自閉式上吊り引戸装置	(16.10.3) (表16.10.1)	4 PCカーテンウォール	(17.3.2) (17.3.3) (17.3.4) (17.3.5) (17.3.6) (表17.3.1) (表17.3.2)	6 カーベツト敷き	(19.3.2) (19.3.3) (表19.3.1) (表19.3.2)	14 重量シャッター	(16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)														
	14 重量シャッター	(16.11.2) (表16.11.1) (16.11.3)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)																				
	15 軽量シャッター	(16.12.2) (表16.12.1) (16.12.3) (16.12.4)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)																				
	16 オーバーヘッドドア	(16.13.2) (16.13.3)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)																				
	17 ガラス	(16.14.2) (16.14.3) (16.14.4)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)																				
	18 ガラスブロック積み	(16.14.5)	18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)																				
	※注記		18 塗装工事	(18.2.2) ~ (18.14.2)	7 合成樹脂塗床	(19.4.3) (表19.4.4) (表19.4.5) ~ (表19.4.8)	19 内装工事	(19.2.2) (表19.2.1)	9 畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	20 ユニット及びその他工事	(20.2.2)																				

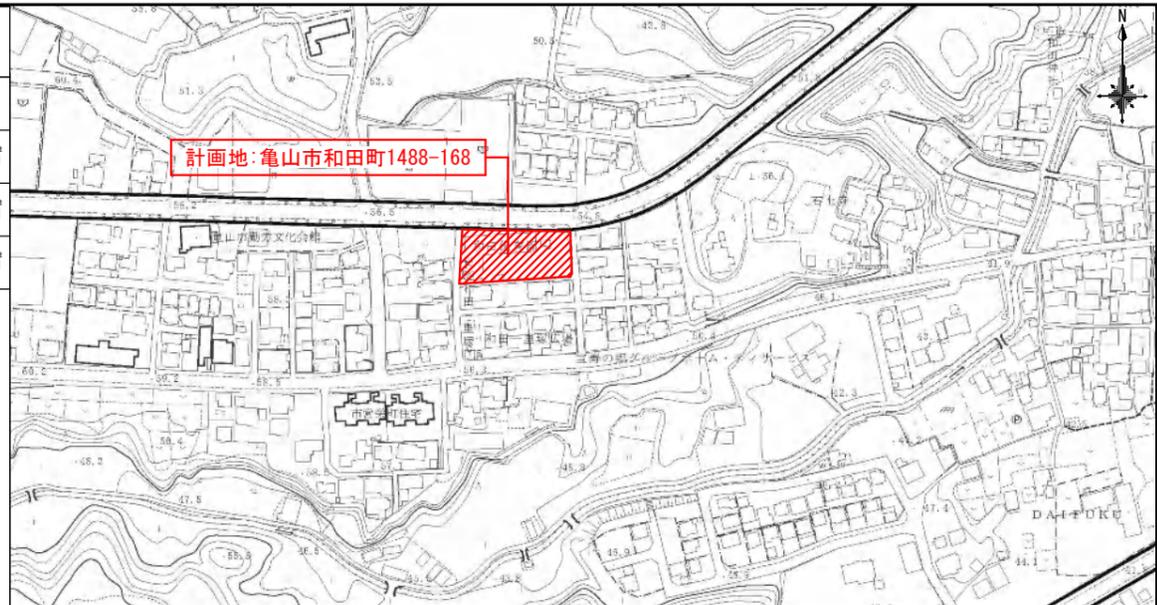
20 ユニ ユニット及びその他工事 （縦書き）	4 トイレブース (20.2.5)	表面仕上 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ・幅木 ・図示(図面番号: A-25) 扉小口の材質 ・ステンレス製 ・アルミ製	4 埋め戻し土 (21.2.1)	※ B種 ・ A種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)	舗装の種類 ・コンクリート ・普通平板 ・透水性平板 ・図示(図面番号:)	種類 ・普通ブロック ・透水性ブロック ・図示(図面番号:)	寸法(mm) ・300角 ・()	厚さ(mm) ・60 ・()	目地 ・砂 ・モルタル ・表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	備考 ・()
	5 階段滑り止め (20.2.6)	・ステンレスSUS304製 ・ビニルタイヤ入り(両端フラットエンド付き) ・() 寸法 ・約35mm ・図示(図面番号:) 工法 ・接着工法 ・埋込み工法	5 施工 (21.2.2)	運心力鉄筋コンクリート管 基礎の厚さ、種類 ・図示(図面番号:) 硬質ポリ塩化ビニル管 基礎の厚さ、種類 ・図示(図面番号:) 継手 ・接着剤 ・ゴム輪	7 舗装系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)	・インター ・ロック ・ブロック ・図示(図面番号:)	・普通ブロック ・透水性ブロック ・図示(図面番号:)	車道部 ・80 ・() 歩道部 ・60 ・()	表面加工 ・標準品 ・() 曲げ強度 ・()	備考 ・()	
6 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	・黒板 黒板の種類 ・焼付け ・() 黒板の色 ・緑 ・() ○ ホワイトボード(白)	6 街きよ、緑石、側溝 (21.3.1) (21.3.2)	コンクリート緑石、側溝 形状、寸法 ・図示(図面番号:) 地床 厚さ ※ 100mm ・図示(図面番号:)	7 舗装系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)	・舗石舗装 ・小舗石 ・花こう岩 ・()	・植生用ブロック ・5 ・80~100	・80~100	施工方法 ・うるこ張り ・() 基層 ・コンクリート舗装 ・アスファルト舗装	備考 ・()	備考 ・()	
7 鏡 (20.2.9)	厚さ ○ 5mm ・() mm	22 舗装工事 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)	1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)	路床の材料(厚さは図示(図面番号:)) ・遮断層 ・川砂 ・海砂又は良質な山砂 ・凍上抑制層 ・切込み砂利 ・砂 ・() ・フィルター層 ・砂 路床安定処理 ・行う 添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰()号 ・消石灰()号 添加量()kg/m ³ (目標CBR ・5以上 ・()) 盛土に用いる材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 C種の場合:建設発生土受入量()m ³ 片道の運搬距離()km 試験 ・路床土の支持力比(CBR)試験 ・路床締固め度の試験 ・現場CBR試験	8 砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1)	・通廊部 ※ A種 ・ B種 ・ () ・建物周囲 ※ B種 ・ A種 ・ ()	23 植栽及び屋上緑化工事 (23.1.3)	1 植栽地の確認等 (23.1.3)	試験 ・土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ・電気伝導度(EC)の試験 ・()の試験	備考 ・()	
8 表示 (20.2.10)	区分 ○ 室名札 ・() ・() ・案内板 ・() ・() 材質 ・亚克力 ・() ・亚克力 ・() 厚さ ○ 5mm ・() 寸法 ・() 印刷等の種類 ○ シルクスクリーン印刷 ・() ・シルクスクリーン印刷 ・() 取付方法 ○ 図示 (図面番号:A-28) ・()	2 路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)	2 路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)	舗装の種類 ・アスファルト舗装 ・カラー舗装 ・透水性アスファルト舗装 ・インターロッキング ・ブロック舗装 ・() 路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部 路盤材料 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・鉄鋼スラグ ・クラッシュラン ・()	23 植栽及び屋上緑化工事 (23.1.3)	2 植栽基盤 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)	植栽基盤整備工法 ・樹木 (※ A種 ・ ()) ・芝及び地被類 (※ B種 ・ ()) 有効土層 面積 ・図示(図面番号:) 厚さ ・図示(図面番号:) 排水設備 ・設ける (・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 ・ ()) 埋込み用土 ・現場発生土の改良土 ・客土 土壌改良材 ・()	3 植樹 (23.3.2) (23.3.3)	樹木の種類 ・図示(図面番号:) 寸法 ・図示(図面番号:) 株立数 ・図示(図面番号:) 刈込み ・あり ・なし 支柱材 ・丸太(防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理方法 ・ ()) ・() 支柱形式 ・鳥居形 ・ハツ掛け系 ・() 幹巻き用材料 ※ 幹巻きテープ ・わら ・こも	備考 ・()	
9 煙突ライニング (20.2.11)	・衝突防止表示 ・図示(図面番号:) ・非常用進入口表示 ・図示(図面番号:) 適用安全使用温度 ・() °C	3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6) (表22.4.1) ~ (表22.4.6)	3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6) (表22.4.1) ~ (表22.4.6)	舗装の構成及び厚さ ・A-5-15 ・図示(図面番号:) ・A-3-10 ・() 表層の種類 ・密粒度7A7A ¹ 混合物(13) ・() ・細粒度7A7A ² 混合物(13) ・() 基層の種類 ・粗粒度7A7A ³ 混合物(20) ・() 試験 ・アスファルト混合物等の抽出試験	4 新植樹木の枯補償 (23.3.4)	引渡しの日から ・1年 ・()	5 移植樹木の枯損処理 (23.3.6)	引渡しの日から ・1年 ・()	6 芝、吹付けは種及び地被類 (23.4.2) (23.4.3)	芝 種類 ※ コウライシバ ・ノシバ ・() 吹付けは種及び地被類 ・図示(図面番号:)	備考 ・()
10 ブラインド (20.2.12)	形式 ・横形ブラインド ・() ・縦形ブラインド ・() スラット ・アルミニウム 合金 ・() ・アルミニウム 合金 ・() 開閉方式 ・ギヤ式 ・コード式 ・() ・ギヤ式 ・コード式 ・() スラットの成形幅(mm) ・25 ・() ・80 ・100 ・() ヘッドボックス ボトムレールの種類 ² ・銅製 ・() ・()	4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	舗装の構成及び厚さ ・図示(図面番号:) 構造 ・標準仕様書 [表22.5.1] ・() 早強セメント ・使用する 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・高弾性タイプ 目地 ・種類 () ・間隔 () ・標準仕様書 [表22.5.3]	7 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) (23.5.4)	植栽基盤及び材料 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示(図面番号:) 排水層 ・軽質骨材(層の厚さ:) ・板状成形品 埋込み用土 ・改良土 ・人工軽量土 樹木の材種 図示(図面番号:) 寸法 図示(図面番号:) 株立数 図示(図面番号:) ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・図示(図面番号:) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・図示(図面番号:) 支柱 ・図示(図面番号:) かん水装置 ・図示(図面番号:) 風圧力に対応した工法 ・図示(図面番号:)	備考 ・()				
11 ロールスクリーン (20.2.13)	操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 寸法及び材質 ・図示(図面番号:)	5 カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)	5 カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)	種類 ・加熱系 構成及び厚さ () 混合物 ・アスファルト ・石油樹脂系(顔料の添加量:) 添加材 ・着色骨材 ・自然石 ・常温系 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	24 外構工事 (24.1.3)	1 旗竿 (24.1.3)	材種 ・アルミニウム製 ・() 形式 ・テーパー付き ・ロープ式 ・ハンドル式 脚部 ・埋込式 ・ベース式 高さ(m) ・5 ・6 ・7	2 フェンス (24.1.3)	・ネットフェンス ・網材種(・ ビニル被覆鉄線 ・ ()) ○ メッシュフェンス 網材種(○ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ()) ・格子フェンス 網材種(・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())	備考 ・()	
12 カーテン及びカーテンレール (20.2.14)	カーテンの形式等 きれ地 ひだの種類 形式 開閉操作 ・ドレープ ・レース ・図示() ・() ・() ・() ・() ・() ひだの種類 ・フランシスひだ ・箱ひだ ・つまひだ ・ブレーンひだ ・片ひだ 形式 ・引分け 開閉操作 ・手引き ・ひも引き ・電動 カーテンレール ・アルミ製 ○ ステンレス製 強さによる区分 ・10-90 ・() 形状 ・シングル ・ダブル 断面形状 ・角形 ・C形 ・D形	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (22.7.6) (表22.7.1)	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) (22.7.6) (表22.7.1)	舗装材料及び厚さ ストレートアスファルト 厚さ(mm) ・() ・図示(図面番号:) 試験 ・開粒度アスファルト混合物の抽出試験	21 排水工事 (21.2.1) (表21.2.1)	1 排水管 (21.2.1) (表21.2.1)	排水管用材料 材質 管の種類 呼び径 備考 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 75-65	2 排水樹等 (21.2.1)	・排水樹 種類及び寸法 ・図示(図面番号:) ・適用荷重 () ・排水溝 種類及び寸法 ・図示(図面番号:) ・ふた/グレーチングの種類 材質 用途 適用荷重 メインバーピッチ ※ 部固定	備考 ・()	
13 ブレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)	補強鉄線の径 ・3.2mm ・() 補強鉄線の綱目寸法 ・() 設計基準強度F _c ・図示(図面番号:) 配筋 ・図示(図面番号:) 取付方法 ・図示(図面番号:)	13 ブレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)	13 ブレキャストコンクリート工事 (20.3.2) (20.3.3) (20.3.4)	種類 ・() 種類及び質量区分 ・図示(図面番号:) 積み方 ・谷積み ・布積み 目塗り ・() 伸縮調整目地 ・材種 () ・厚さ (mm)	21 排水工事 (21.2.1) (表21.2.1)	3 地床の材料 (21.2.1)	○ 再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石 ・砂の粒度試験	備考 ・()			



凡例
 [Grey Box] : 改修範囲外を示す
 設計GL=56.56 (KBM+505)
 増築棟FL=設計GL+560

設計概要

■工事名称	和田保育園園舎増築工事						
■建築主	亀山市						
■建築主住所	亀山市本丸町577番地						
■敷地名	亀山市和田町1488-168						
■敷地面積	2,336.97㎡						
■敷地区域	・用途地域-第2種住居地域 ・法22条地域 ・防火地域-指定なし						
■延床面積	249.98㎡(増築)	535.47㎡(既設)					
■建築面積	254.88㎡(増築)	643.18㎡(既設)					
■最高軒高	5.685m						
■最高高さ	6.080m						
■構造	鉄骨造 平屋建						
		増築園舎	既設園舎	屋外倉庫1	屋外倉庫2	屋外倉庫3	合計
敷地面積							2,336.97㎡
建築面積		254.88㎡	643.18㎡	5.49㎡	7.75㎡	10.44㎡	921.74㎡
床面積		249.98㎡	535.47㎡	5.49㎡	7.75㎡	10.44㎡	809.13㎡
特記事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・内装材料の種別は規制対象外かF☆☆☆☆とする。 ・天井裏、収納スペース、床下、壁下地などの建材は全てF☆☆☆☆とする。 ・接着剤はF☆☆☆☆とする。 ・クロロピリホス・アスベストが添加された材料を使用しない事。 ・メーカー名・指定品番は全て同等品とする。 ・△は同上を示す。 							
※1: 114条区画壁: LGS100+PB t15両面張り 天井裏まで達せしめる。							

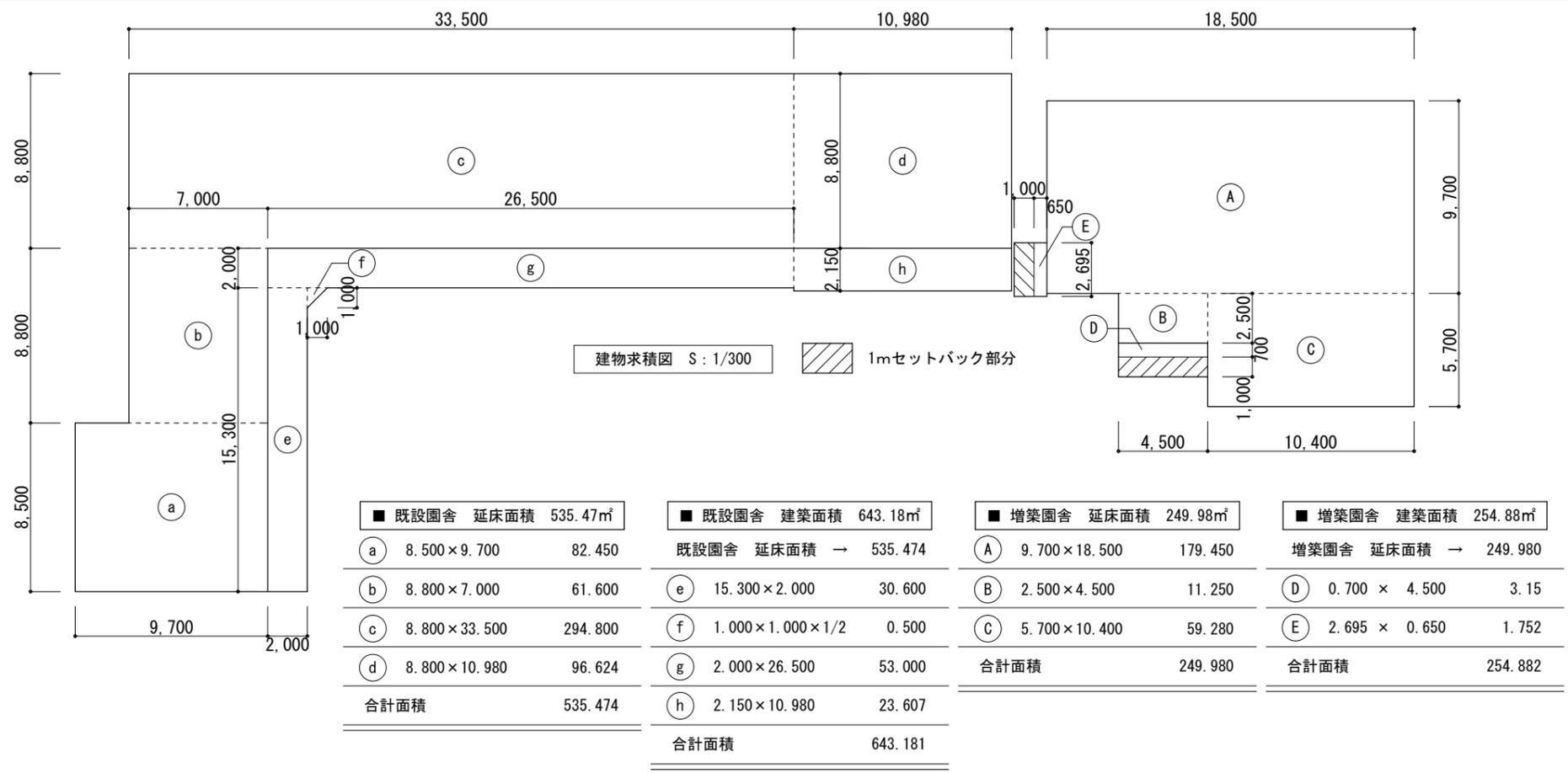


外部仕上表

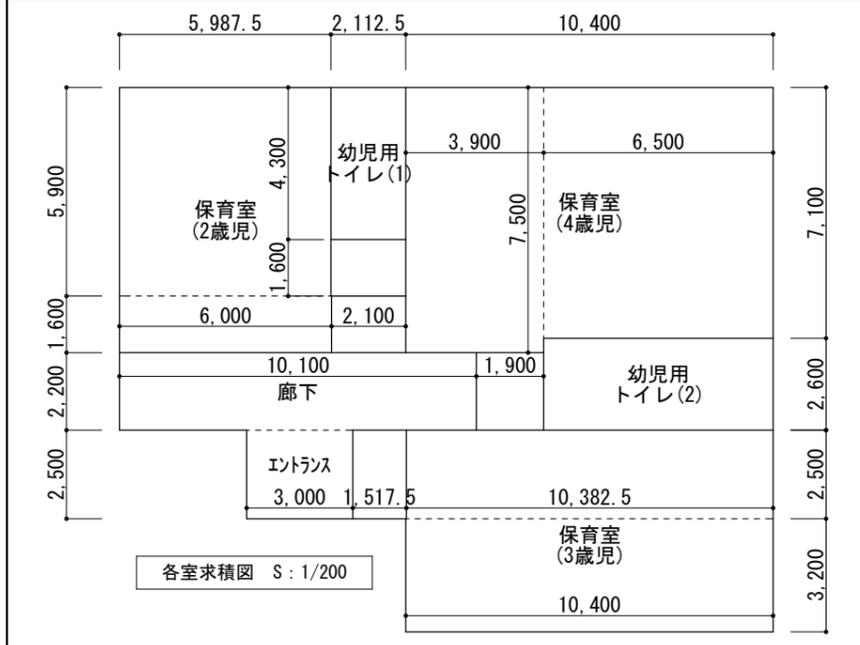
屋根	カラーガルバリウム鋼板t0.8 折板葺きH166 ハゼ式 裏張り材:無機質ガラス繊維シート t5.0	外壁	外壁:窯業系サイディングt16横張り(塗装品) 通気金具留め 防水シート張り 鉄骨縦胴縁@606下地	スロープ	コンクリート直均し(塗床ノンスリップ) 手摺:スチールメッキ仕上げ
軒樋	硬質塩ビカラー 前高130W 吊り金具@500共	外部建具	アルミ製建具(ビル用サッシ)		
縦樋	縦樋(1):硬質塩ビカラー75φ 支持金物:SUS製@1,200 縦樋(2):硬質塩ビカラー65φ 支持金物:SUS製@1,200	巾木	コンクリート打放し補修	断熱材	外壁面(全周):グラスウールt=100充填(24kg/m3) 屋根に面する天井面:グラスウールt=50敷込(24kg/m3)
軒天	折板屋根現し エントランス前:軒天用サイディングt12	ポーチ	コンクリート直均し仕上 刷毛引き		
		土台水切	カラーガルバリウム鋼板t0.5曲げ加工		
		渡り廊下 屋根	カラーガルバリウム鋼板t0.8 折板葺きH90ハゼ式		

内部仕上表

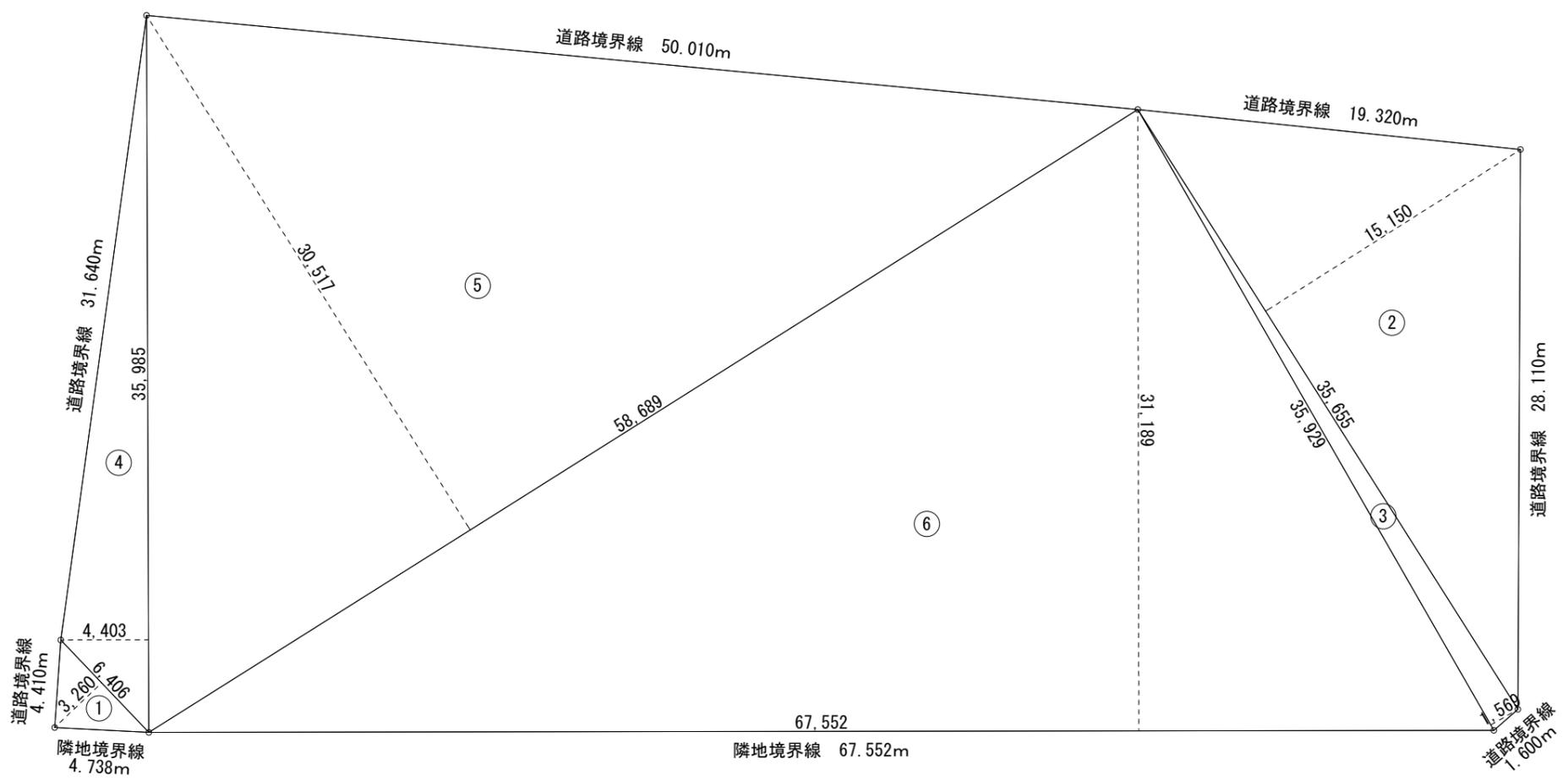
室名	床高	床	巾木	H	壁(※1)	天井	廻縁	天井高	備考
エントランス廊下	FL±0 FL-20	複層ビニル床シートt2.0 磁器質100角タイル	塩ビ	60 80	石膏ボードt12.5 ビニルクロス張り(AA級)(LGS下地)	化粧石膏ボードt9.5 (LGS下地)	塩ビ	2,700 2,720	廊下手洗い
保育室(2歳児)	FL±0	ネダフォームt40+捨貼合板t12+合板t5.5 +複層ビニル床シートt2.0(抗ウイルス仕様) ネダフォームt33+捨貼合板t12+合板t5.5+ビニル床下地用シートt4.5 +複層ビニル床シートt2.0(抗ウイルス仕様)	塩ビ	60	石膏ボードt12.5 ビニルクロス張り(AA級)(LGS下地) 一部:石膏ボードt12.5 / 掲示クロス張り(LGS下地)	△	△	△	収納棚
保育室(3歳児)	△	ネダフォームt40+複合フローリングt12	△	△	△	△	△	△	収納棚、ホワイトボード
保育室(4歳児)	△	△	△	△	△	△	△	△	収納棚、ホワイトボード
幼児用トイレ(1)	△	複層ビニル床シートt2.0	△	△	石膏ボードt12.5 ビニルクロス張り(AA級)(LGS下地) 腰:耐水石膏ボードt12.5 / ケイ酸カルシウム板t6.0 EP塗装(LGS下地)	△	△	2,400	
幼児用トイレ(2)	△	△	△	△	△	△	△	△	トイレブース
教材庫(1)	△	△	△	△	石膏ボードt12.5 ビニルクロス張り(AA級)(LGS下地)	△	△	△	掃除具用フック
教材庫(2)	△	△	△	△	△	△	△	△	掃除具用フック
教材庫(3)	△	△	△	△	△	△	△	△	掃除具用フック
倉庫	△	△	△	△	△	△	△	△	



■ 既設園舎 延床面積 535.47㎡		■ 既設園舎 建築面積 643.18㎡		■ 増築園舎 延床面積 249.98㎡		■ 増築園舎 建築面積 254.88㎡		
①	8.500×9.700	82.450	既設園舎 延床面積 →	535.474	①	9.700×18.500	179.450	
②	8.800×7.000	61.600	②	15.300×2.000	30.600	②	2.500×4.500	11.250
③	8.800×33.500	294.800	③	1.000×1.000×1/2	0.500	③	5.700×10.400	59.280
④	8.800×10.980	96.624	④	2.000×26.500	53.000	合計面積	249.980	
合計面積	535.474		⑤	2.150×10.980	23.607	合計面積	254.882	
			合計面積	643.181				

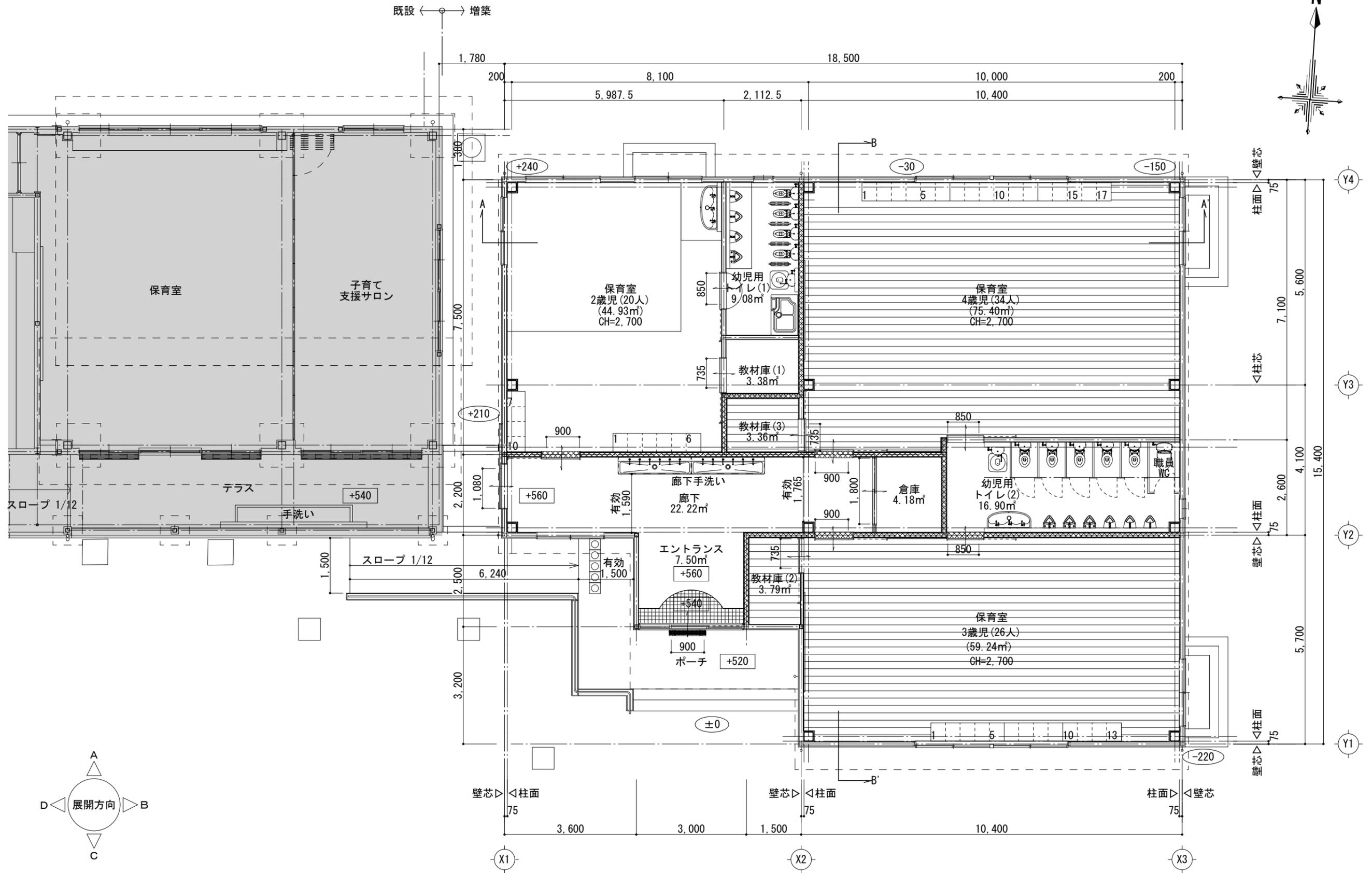
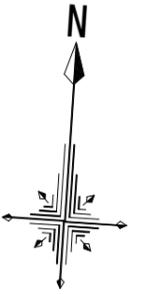


室名	計算式	面積(㎡)	天井高(m)	室容積(m3)
保育室(2歳児)	5.900×5.9875=35.32625 1.600×6.000=9.600 35.32625+9.600=44.92625	44.926	2.70	121.300
保育室(3歳児)	2.500×10.3825=25.95625 3.200×10.400=33.280 25.95625+33.280=59.23625	59.236	2.70	159.937
保育室(4歳児)	7.500×3.900=29.250 7.100×6.500=46.150 29.250+46.150=75.400	75.400	2.70	203.580

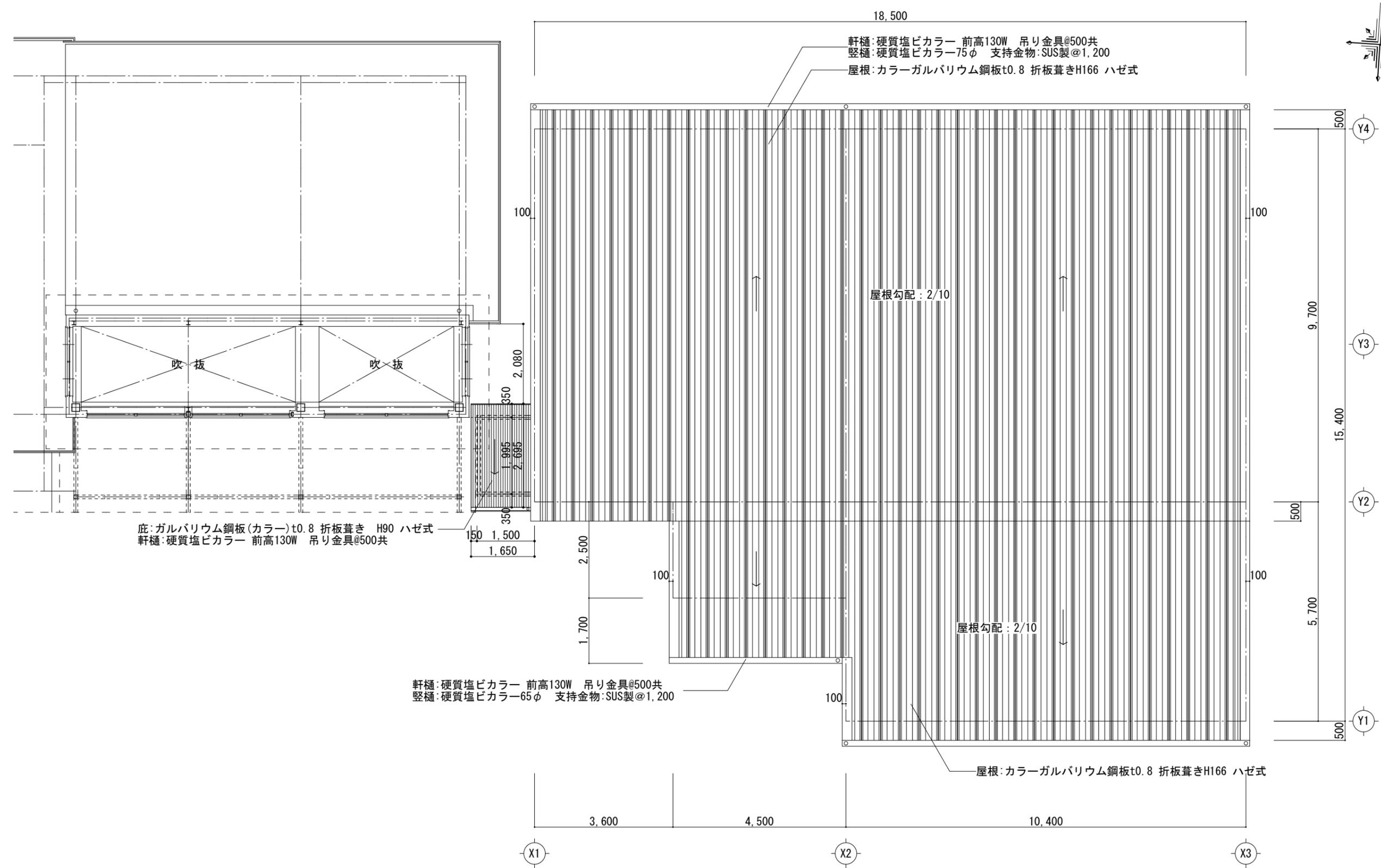


■ 敷地面積 2,336.97㎡

記号	計算式(mm)	倍面積(㎡)
①	6,407 × 3,261	20.89
②	35,655 × 15,150	540.17
③	35,930 × 1,570	56.41
④	35,986 × 4,403	158.45
⑤	58,689 × 30,518	1,791.07
⑥	67,552 × 31,190	2,106.95
倍面積合計		4,673.94
合計面積		2,336.97



: 既設園舎を示す
 : 114条区画壁を示す

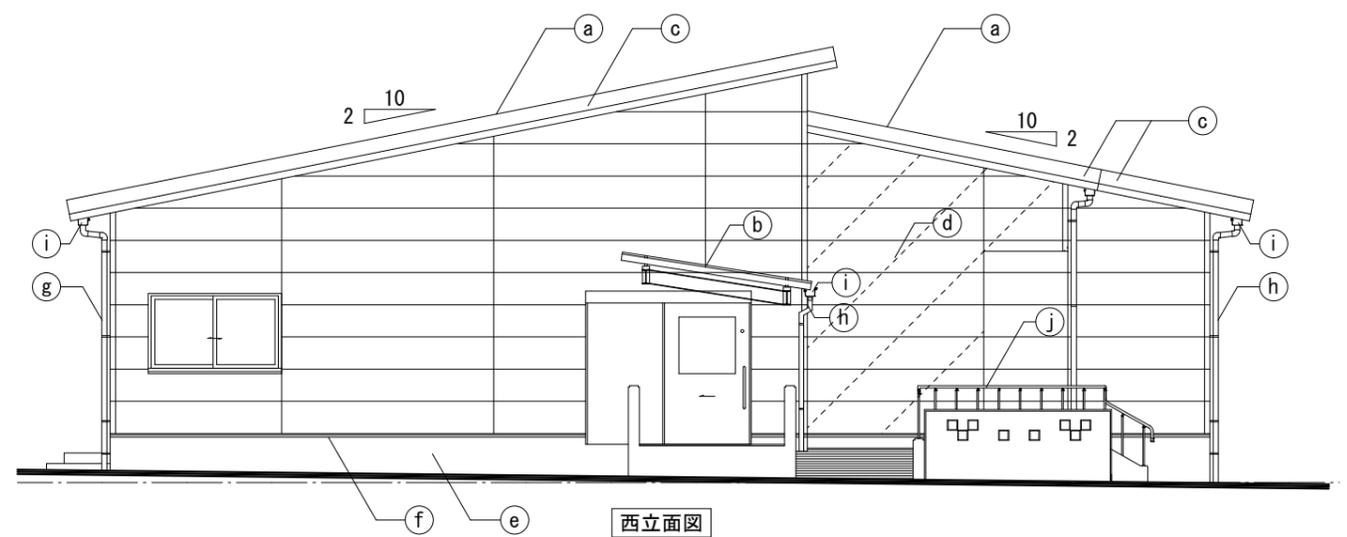
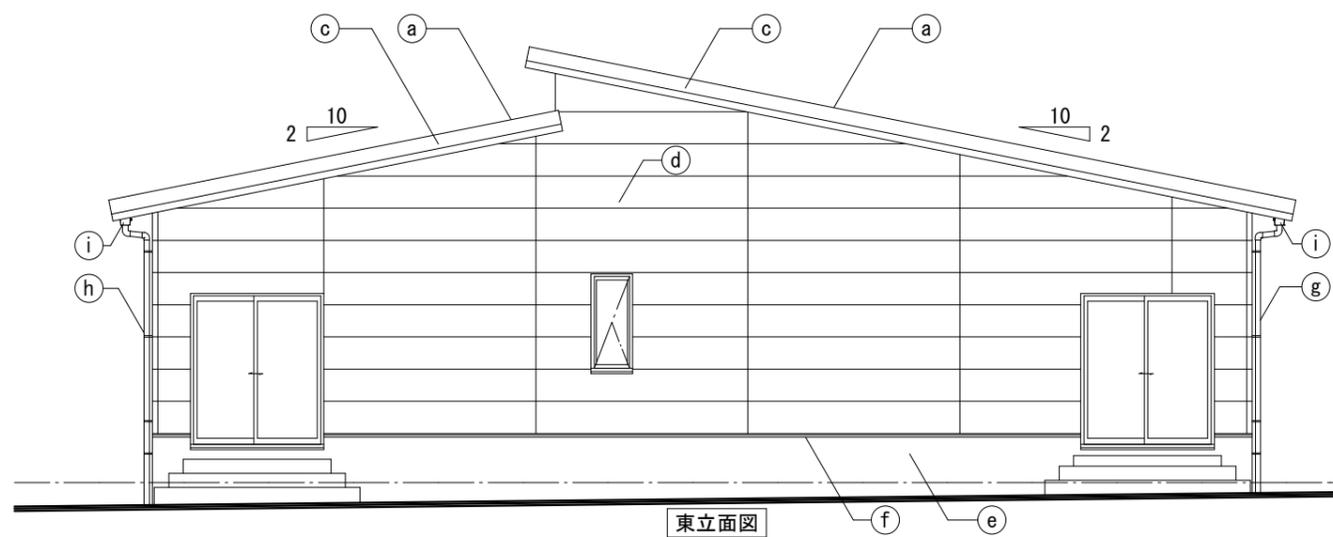
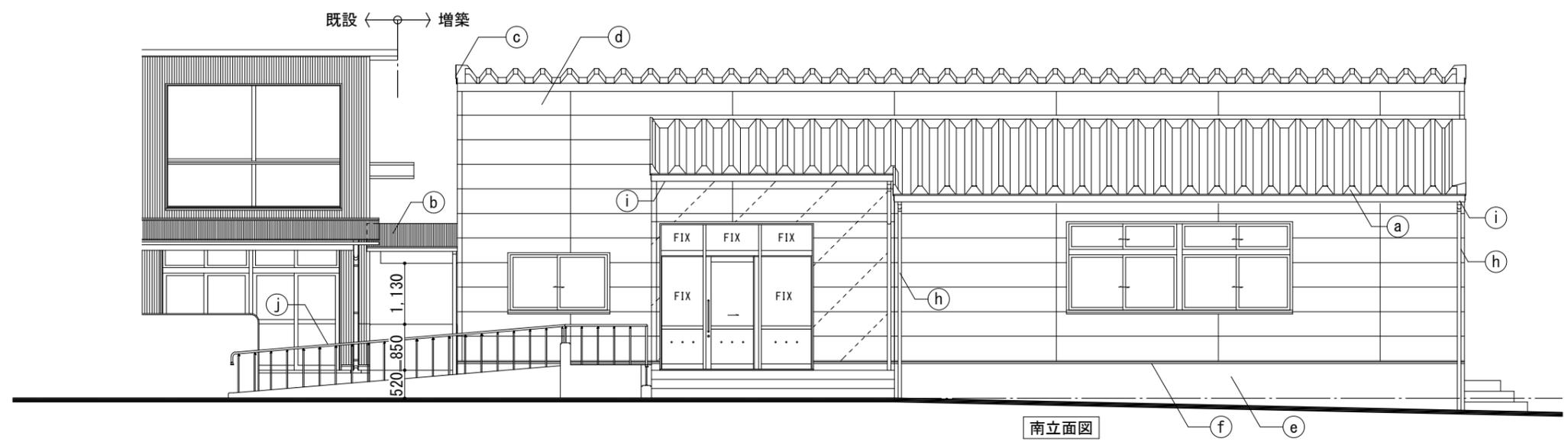
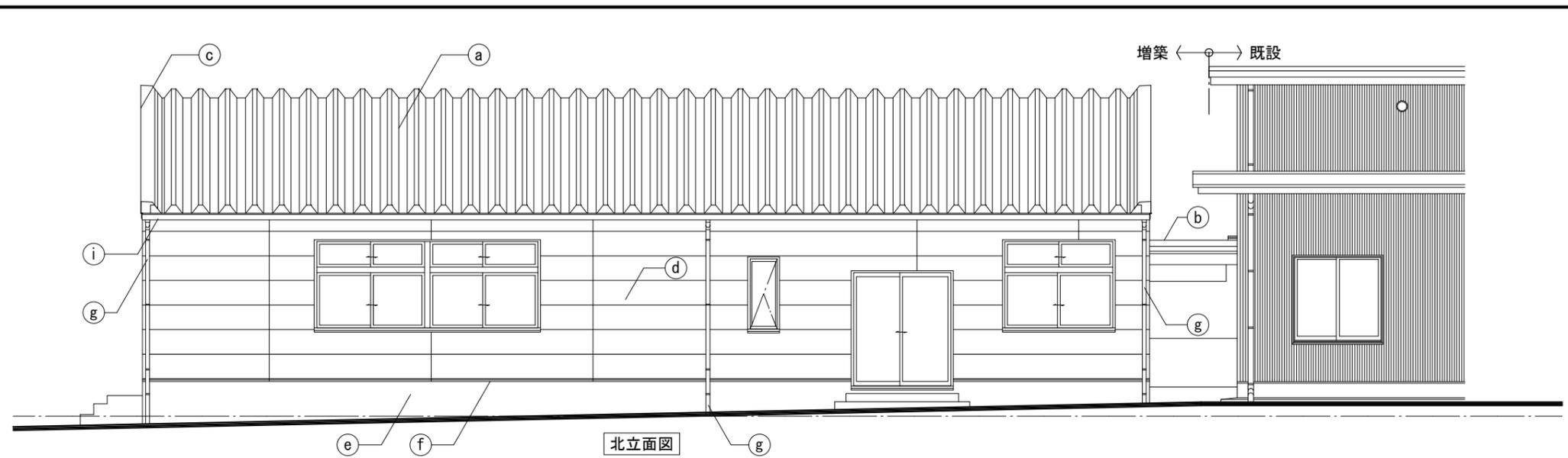


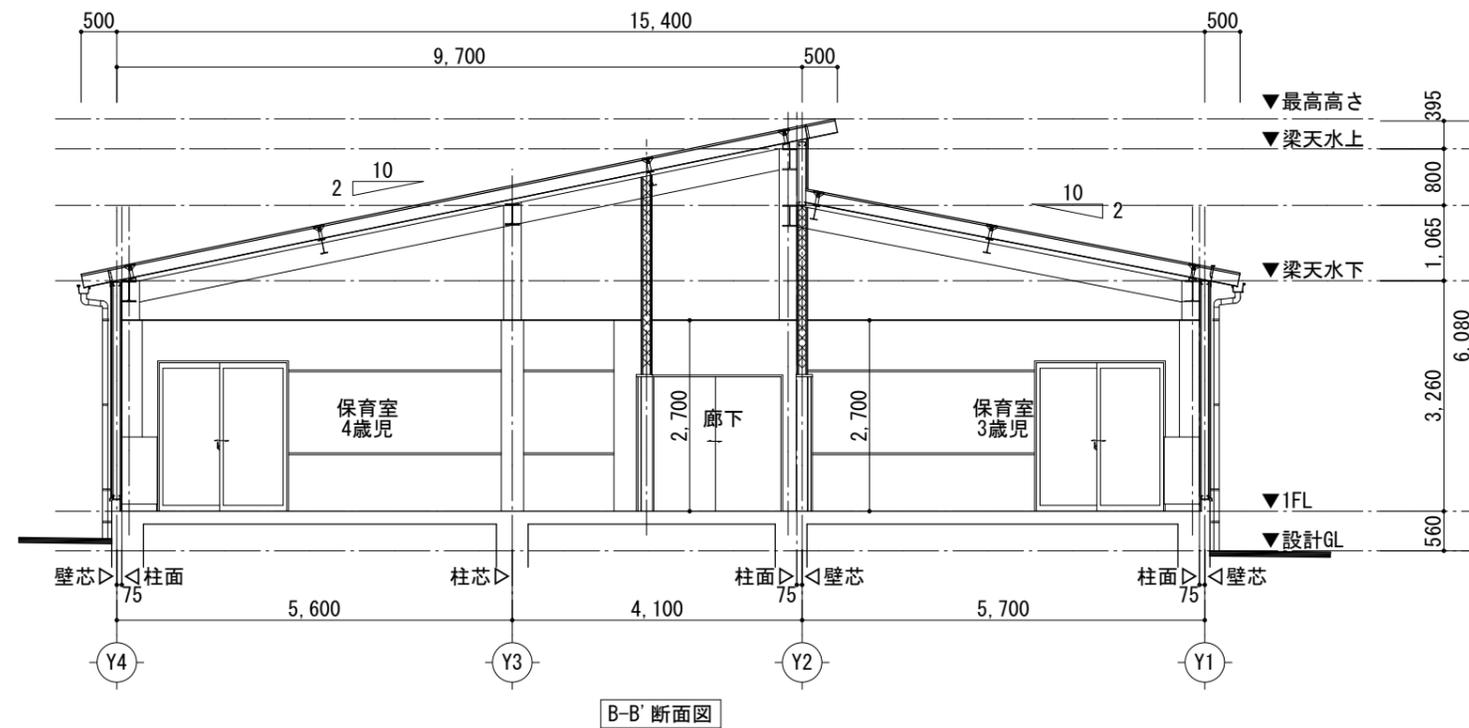
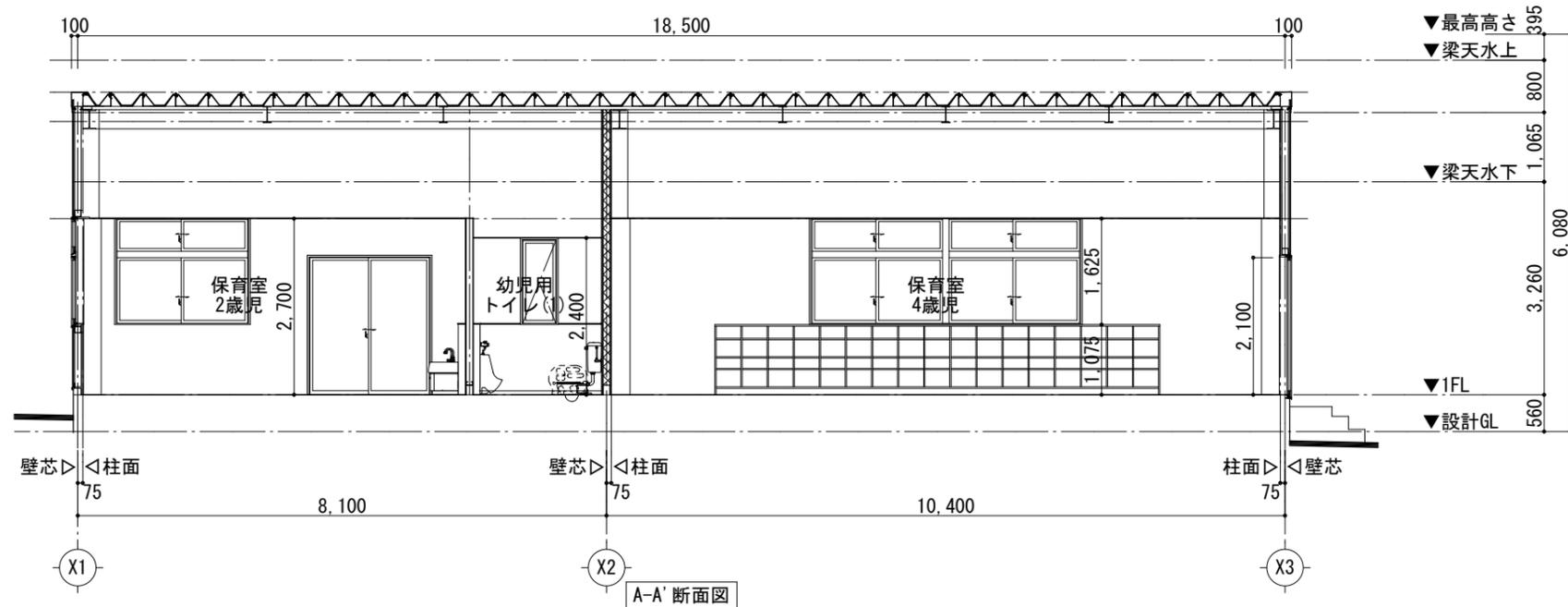
※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号			工事名	
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-6115 伊藤 公			和田保育園園舎増築工事	
日付	担当	承認	縮尺	図面番号
			A3:S=1/100	A-12
			屋根伏図	

(a)	屋根1: カラーガルバリウム鋼板t0.8 折板葺きH166 ハゼ式 裏張り材: 無機質高充填フォームプラスチック t5.0
(b)	屋根2: カラーガルバリウム鋼板t0.8 折板葺きH90 ハゼ式
(c)	ケラバ包み: カラーガルバリウム鋼板t0.5
(d)	外壁: 窯業系サイディングt16横張り(塗装品) 通気金具留め 防水シート張り 鉄骨縦胴縁@606下地
(e)	外部巾木: コンクリート打放し補修
(f)	土台水切: カラーガルバリウム鋼板t0.5曲げ加工
(g)	縦樋(1): 硬質塩ビカラー-75φ 支持金物: SUS製@1,200
(h)	縦樋(2): 硬質塩ビカラー-65φ 支持金物: SUS製@1,200
(i)	軒樋: 硬質塩ビカラー 前高130W 吊り金具@500共
(j)	スロープ手摺: スチールメッキ仕上げ

 : 色分け範囲(木目調)を示す





☒ : 114条区画壁を示す

※注記

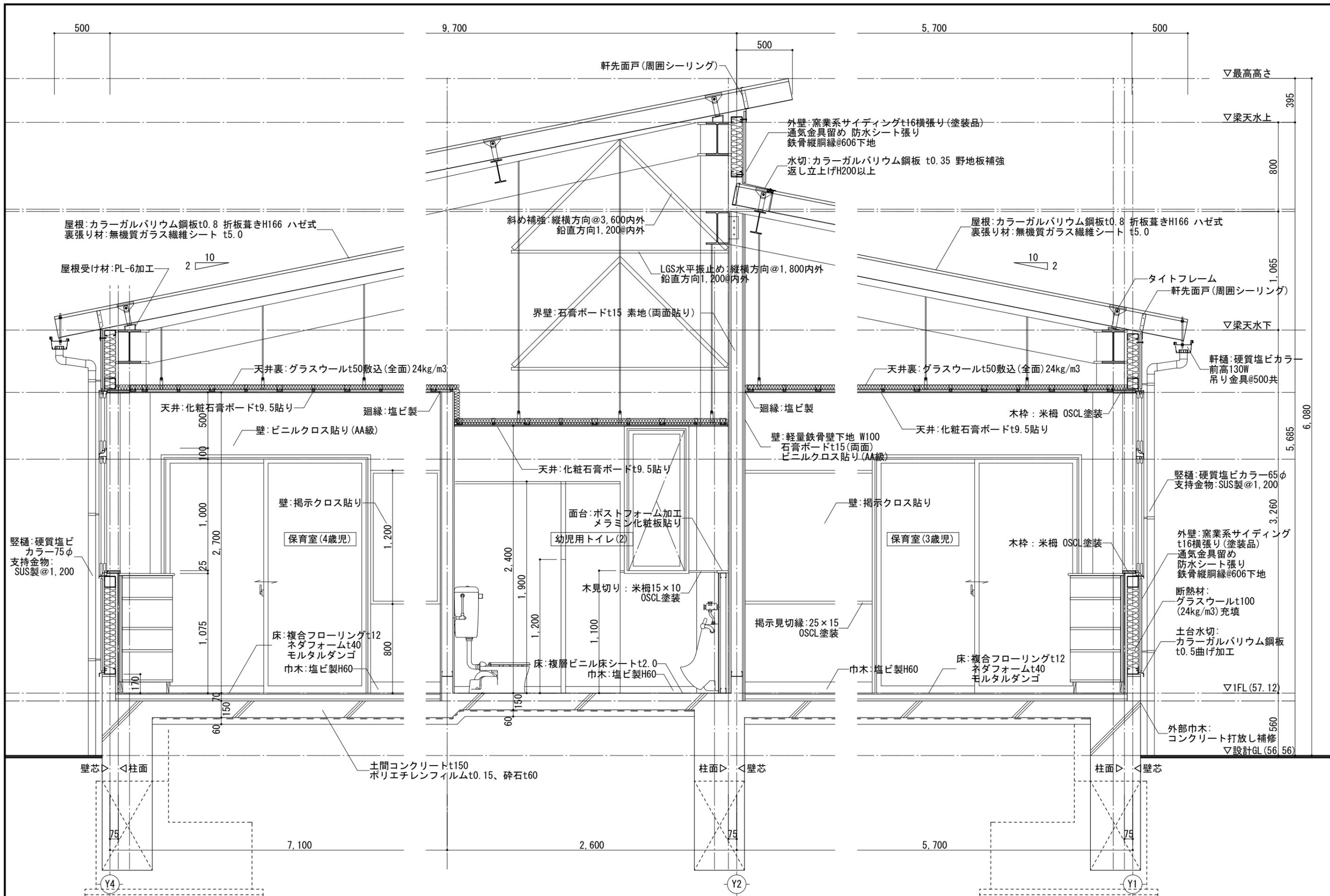
株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-6115 伊藤 公

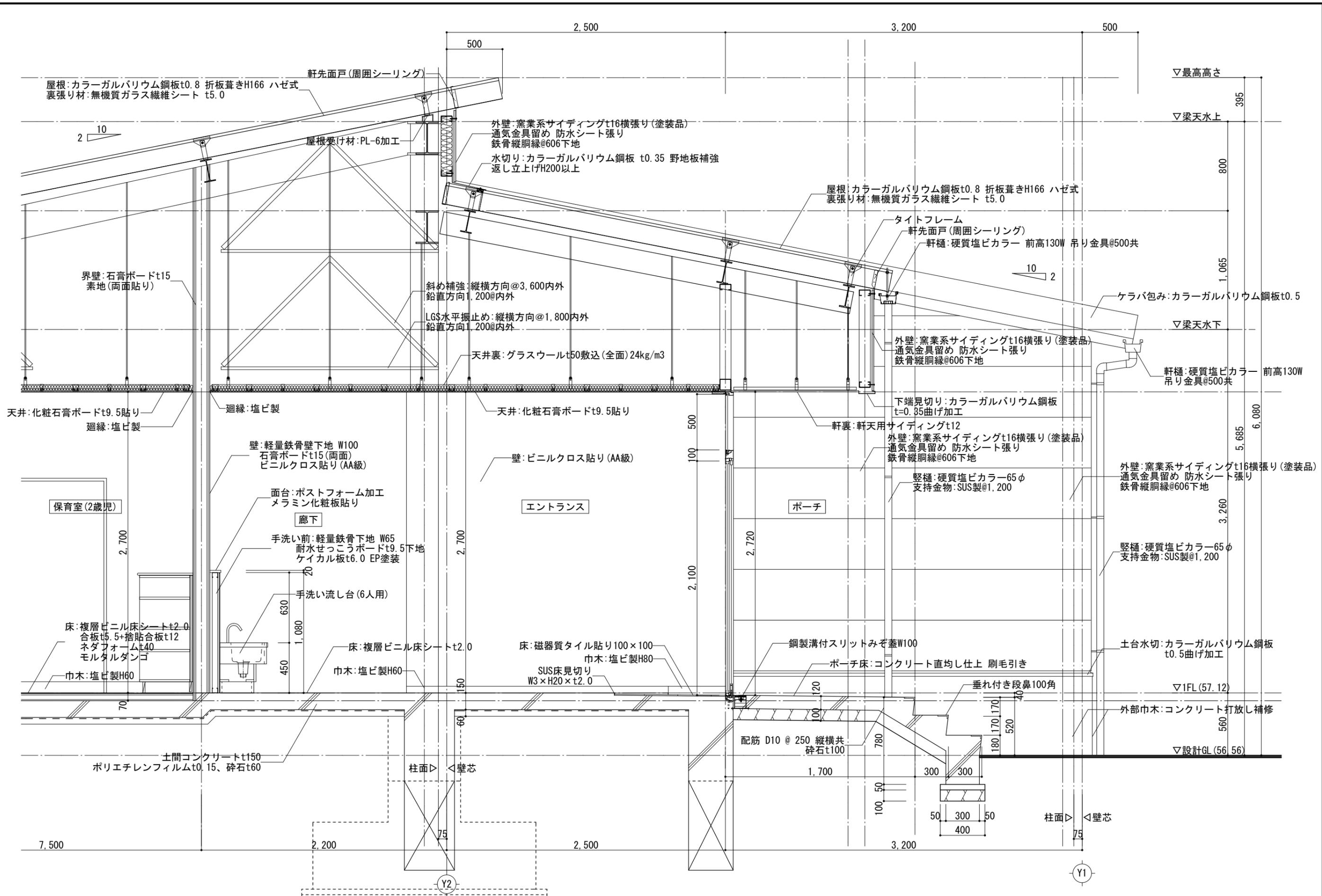
工事名 和田保育園舎増築工事

日付 担当 承認

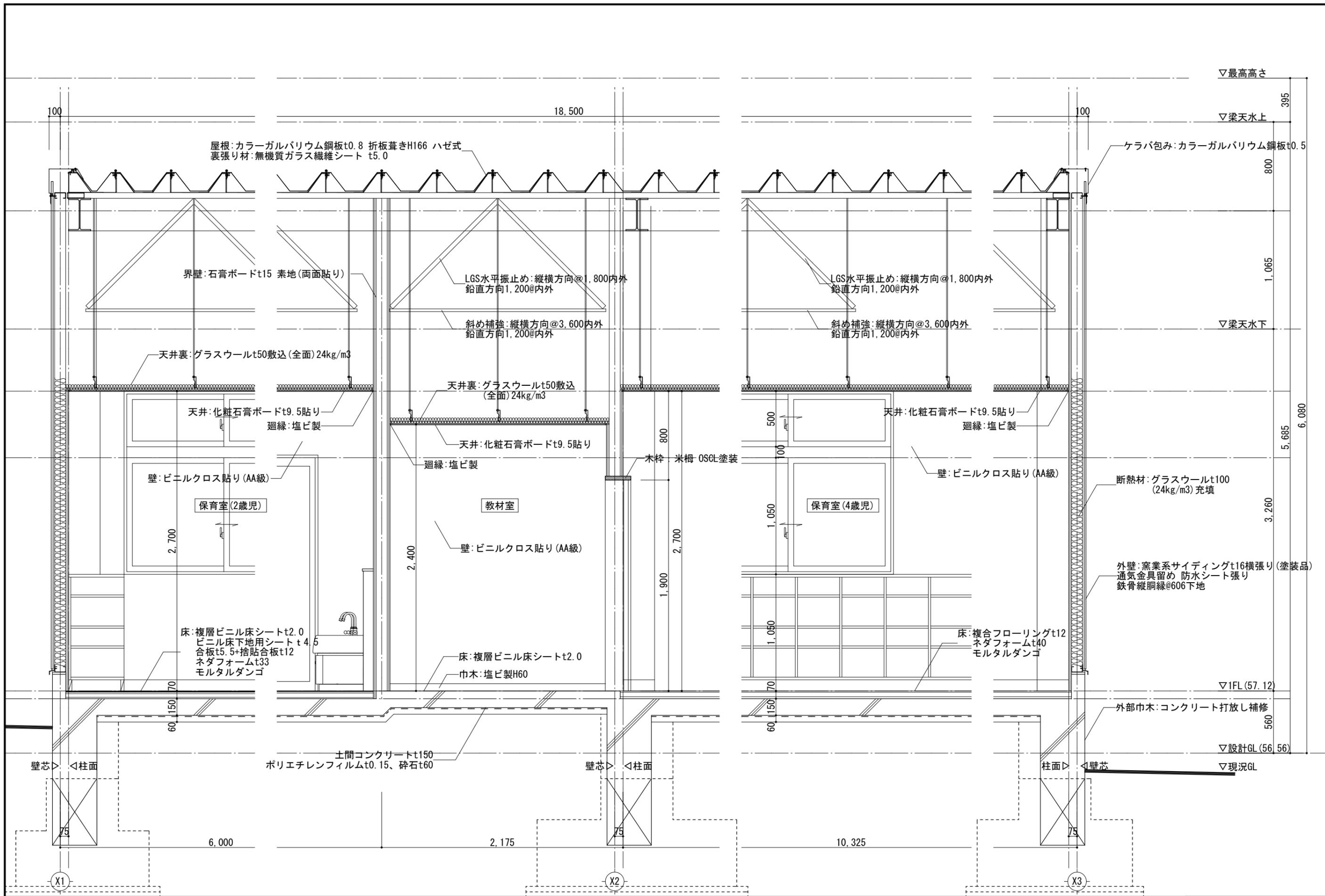
図面名 断面図

縮尺 A3:S=1/100 図面番号 A-14



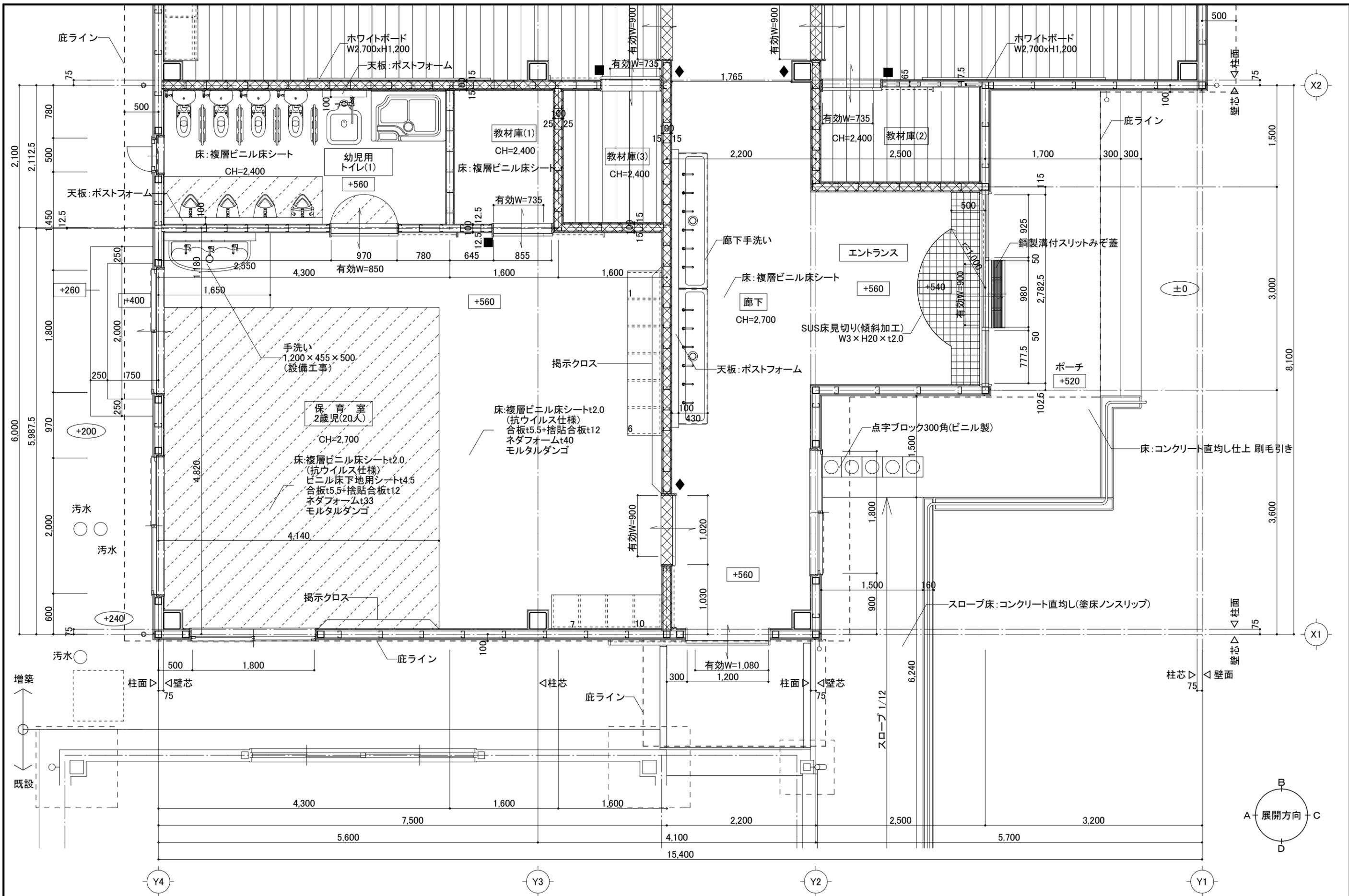


※注記	株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号 TEL.059-226-0139 FAX.059-226-6115 伊藤 公	工事名 和田保育園園舎増築工事
	日付	縮尺
	断面詳細図(2)	A3:S=1/30 A-16



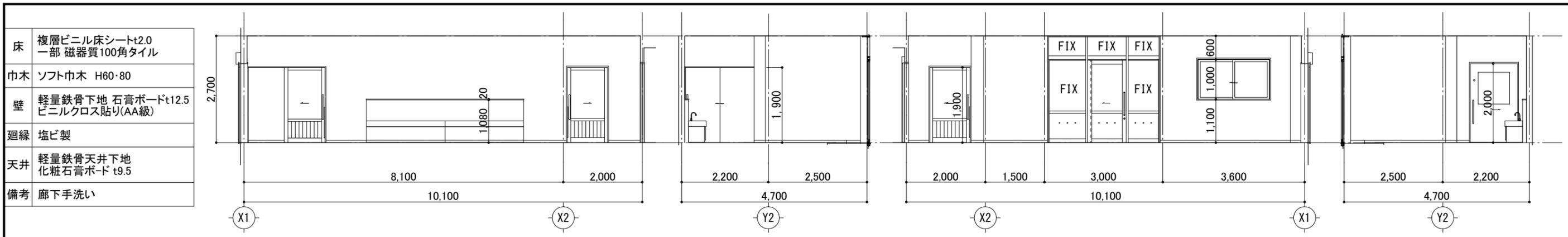
※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-6115		一級建築士登録番号 第143379号 伊藤 公	工事名 和田保育園舎増築工事
日付	担当	承認	縮尺 図面番号
			断面詳細図(3) A3:S=1/30 A-17

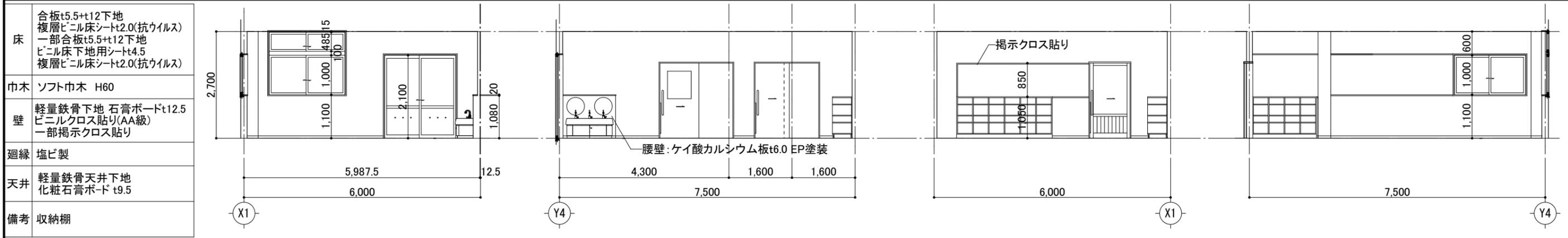


- 凡例
- : 床材色分け範囲を示す
 - : 硬質塩ビカラーφ65 SUS受金物@1,200
 - : 室名札位置を示す
 - : 硬質塩ビカラーφ75 SUS受金物@1,200
 - : ピクトサイン位置を示す

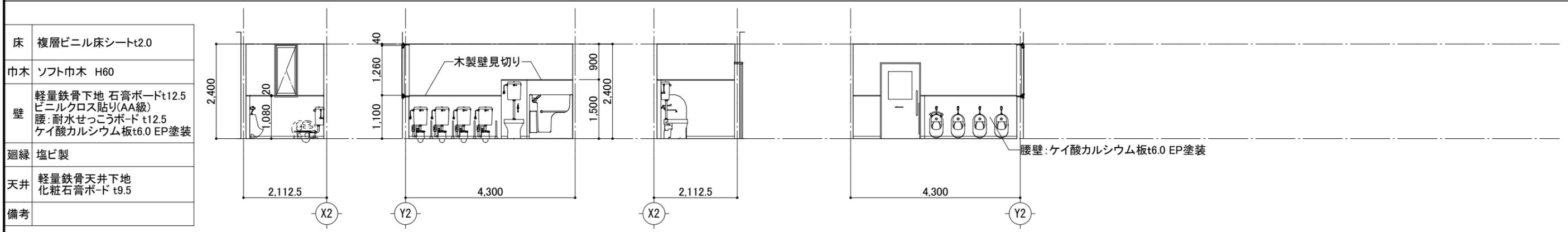
株式会社 中部都市建築設計事務所		一般建築士登録番号 第143379号	工事名
TEL.059-226-0139 FAX.059-226-6115		伊藤 公	和田保育園園舎増築工事
日付	担当	承認	図面名
			平面詳細図(1)
			縮尺 図面番号
			A3:S=1/50 A-18



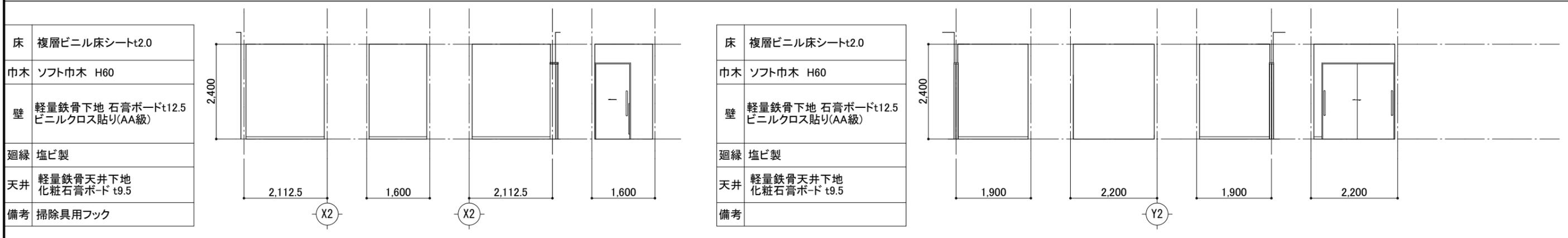
エントランス・廊下 A面 B面 C面 D面



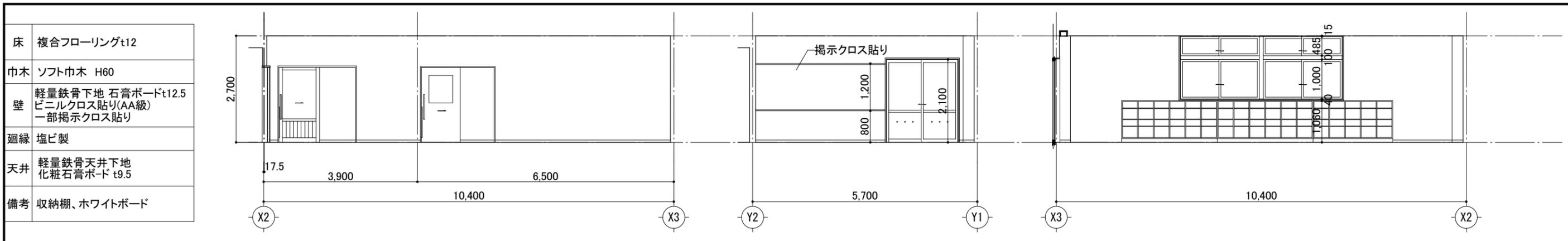
保育室(2歳児) A面 B面 C面 D面



幼児用トイレ(1) A面 B面 C面 D面



教材庫(1) A面 B面 C面 D面 倉庫 A面 B面 C面 D面

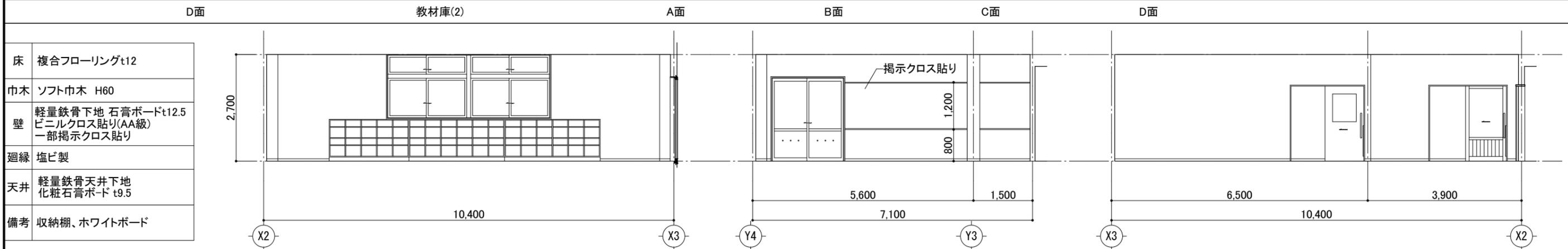
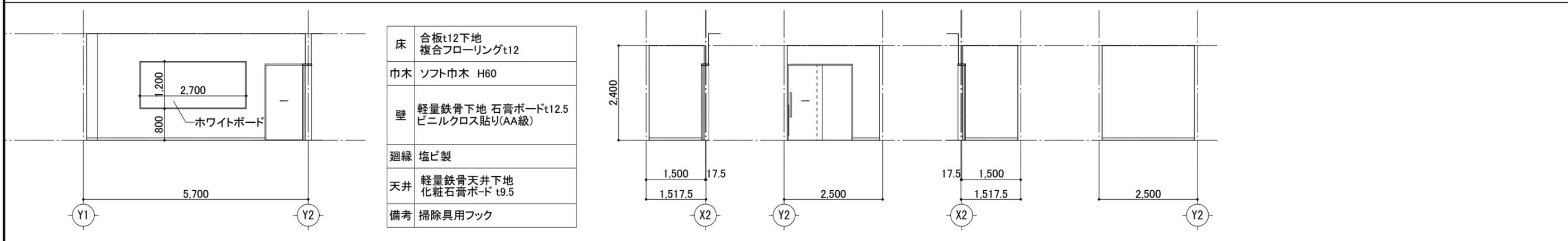


保育室(3歳児)

A面

B面

C面

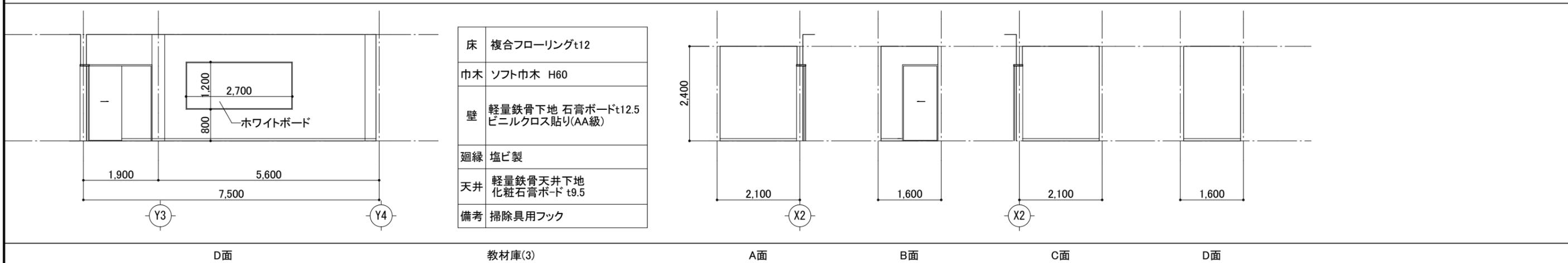


保育室(4歳児)

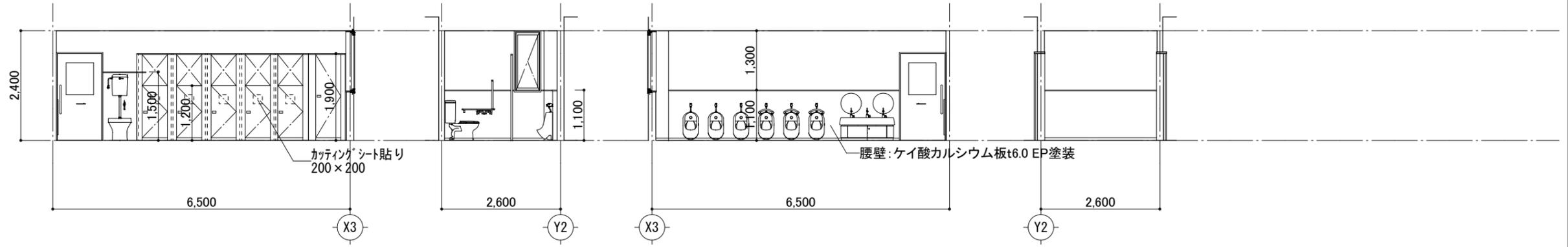
A面

B面

C面



床	複層ビニル床シートt2.0
巾木	ソフト巾木 H60
壁	軽量鉄骨下地 石膏ボードt12.5 ビニルクロス貼り(AA級) 腰:耐水せっこうボード t12.5 ケイ酸カルシウム板t6.0 EP塗装
廻縁	塩ビ製
天井	軽量鉄骨天井下地 化粧石膏ボード t9.5
備考	トイレブース



幼児用トイレ(2)

A面

B面

C面

D面

※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-6115 伊藤 公

工事名
和田保育園園舎増築工事

日付
担当
承認

図面名
展開図(3)

縮尺
A3:S=1/100

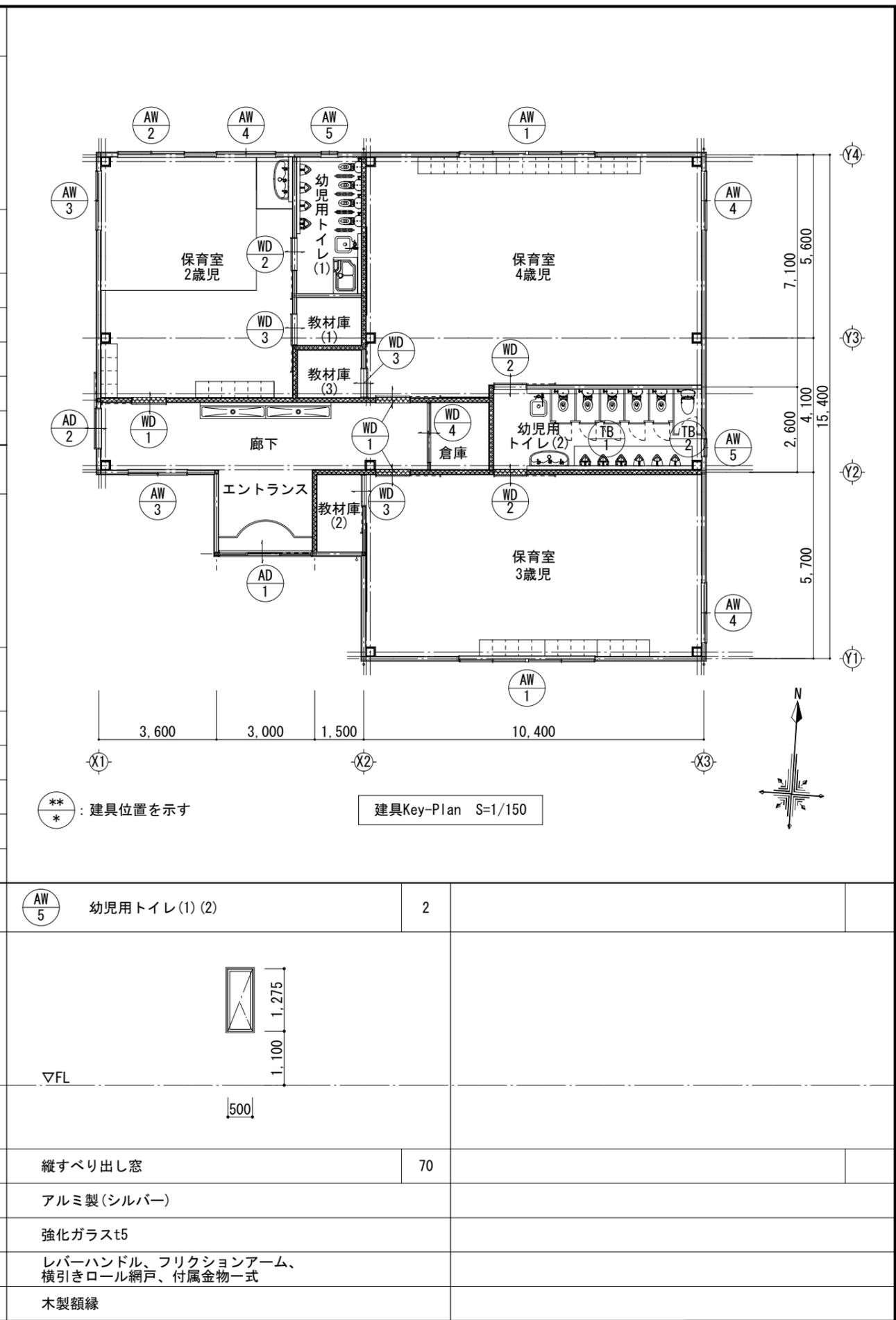
図面番号
A-22

凡 例	
記号	仕 上
(a)	軽量鉄骨下地 化粧石膏ボードt9.5(455×910)
(b)	軒天用サイディングt12 塗装品
(c)	折板屋根現し
(d)	下端見切り:カラーガルバリウム鋼板t=0.35曲げ加工
☒	天井点検口450×450(額縁タイプ)7か所



※注記

建具番号 数量	AD 1 エントランス	1	AD 2 廊下	1
姿 図				
形式 見込寸法	欄間FIX付き片引きかまちハンガードア	70	片引きハンガードア(アウトセット)	70
材 料	アルミ製(シルバー)		アルミ製(シルバー)	
ガ ラ ス	強化ガラスt5		強化ガラスt5	
付 属 金 物	SUS製引棒(L=600)、シリンダー錠(内部サムターン) 衝突防止マークSUS製30φ、付属金物一式		SUS製引棒(L=600)、シリンダー錠(内部サムターン)、網戸 アルミ水切り、SUS沓摺、ノンレールタイプ、付属金物一式	
特 記 事 項	木製額縁 障子:指詰め防止タイプ		木製額縁 障子:指詰め防止タイプ	
建具番号 数量	AW 1 保育室3・4歳児	2	AW 2 保育室2歳児	1
姿 図				
形式 見込寸法	2連引違い窓+ランマ2連引違い窓	70	引違い窓+ランマ引違い窓	70
材 料	アルミ製(シルバー)		アルミ製(シルバー)	
ガ ラ ス	強化ガラスt5		強化ガラスt5	
付 属 金 物	クレセント錠、網戸、付属金物一式		クレセント錠、網戸、付属金物一式	
特 記 事 項	木製額縁 障子:指詰め防止タイプ		木製額縁 障子:指詰め防止タイプ	
建具番号 数量	AW 3 保育室2歳児・廊下	2	AW 4 保育室2・3・4歳児	3
姿 図				
形式 見込寸法	引違い窓	70	引違い窓	70
材 料	アルミ製(シルバー)		アルミ製(シルバー)	
ガ ラ ス	強化ガラスt5		強化ガラスt5	
付 属 金 物	クレセント錠、網戸、付属金物一式		クレセント錠、網戸、付属金物一式	
特 記 事 項	木製額縁 障子:指詰め防止タイプ		木製額縁 障子:指詰め防止タイプ	

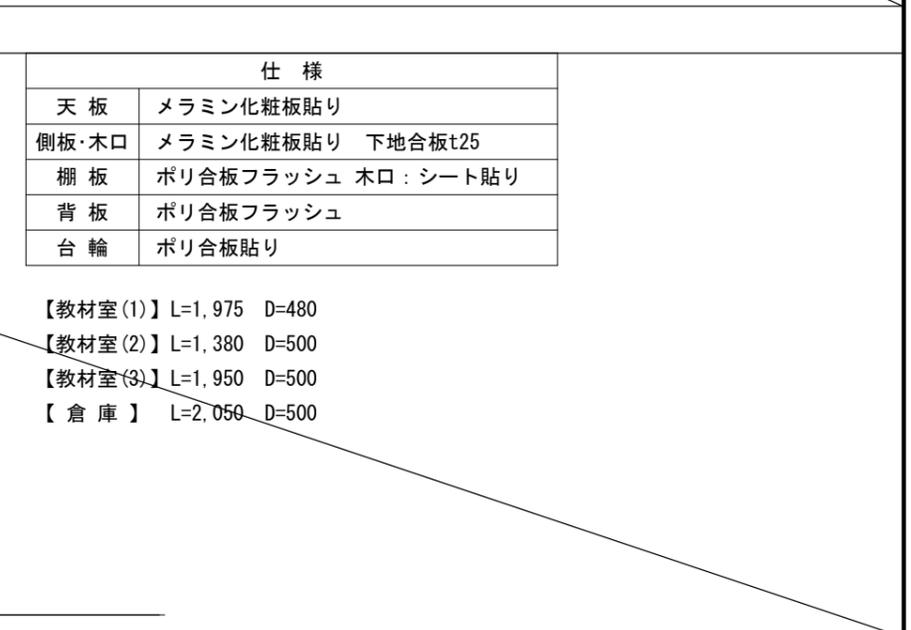
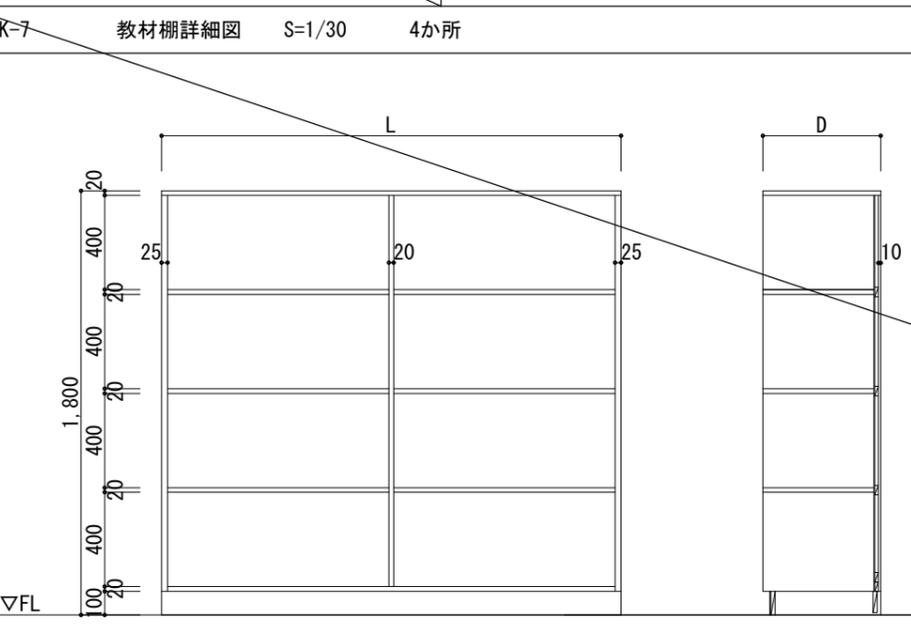
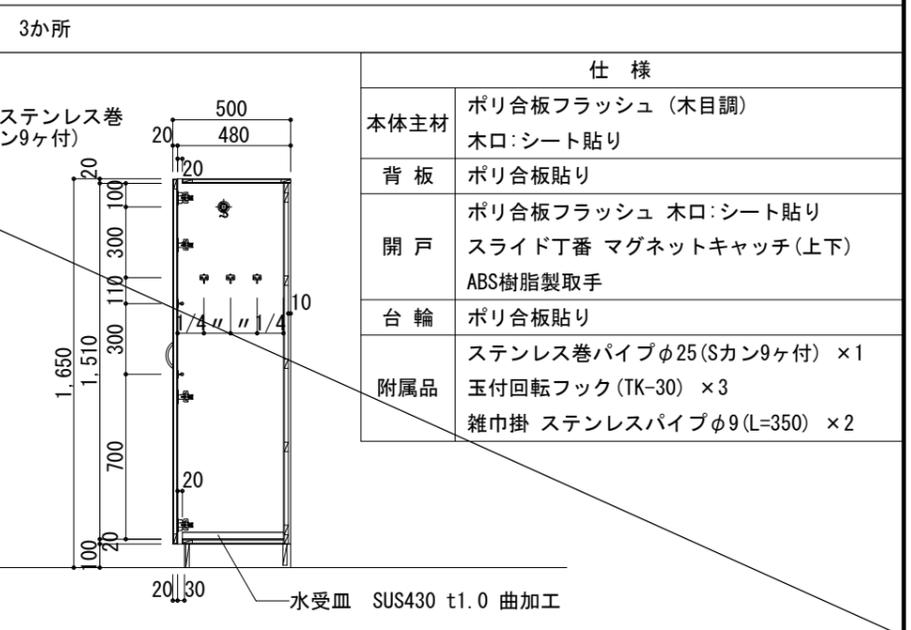
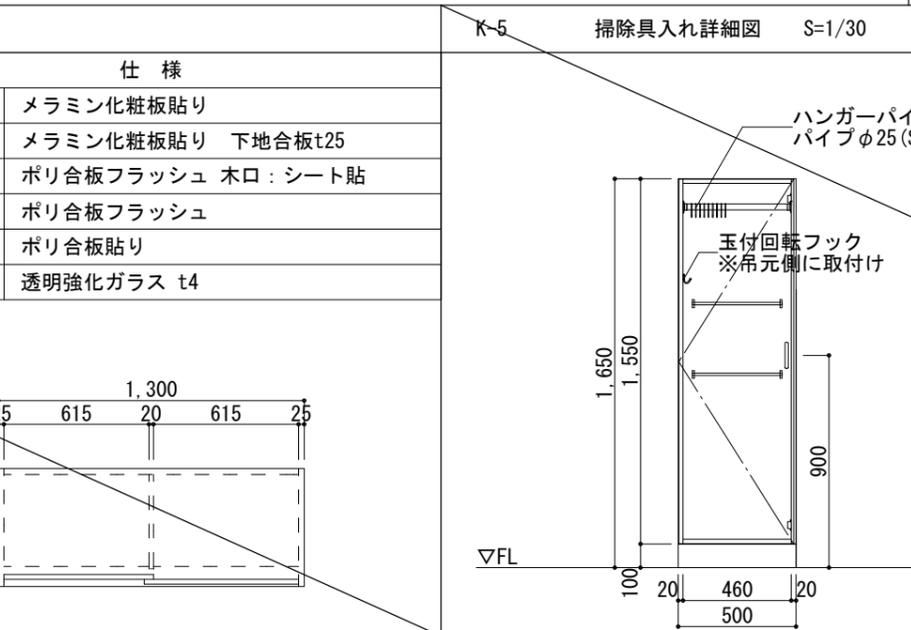
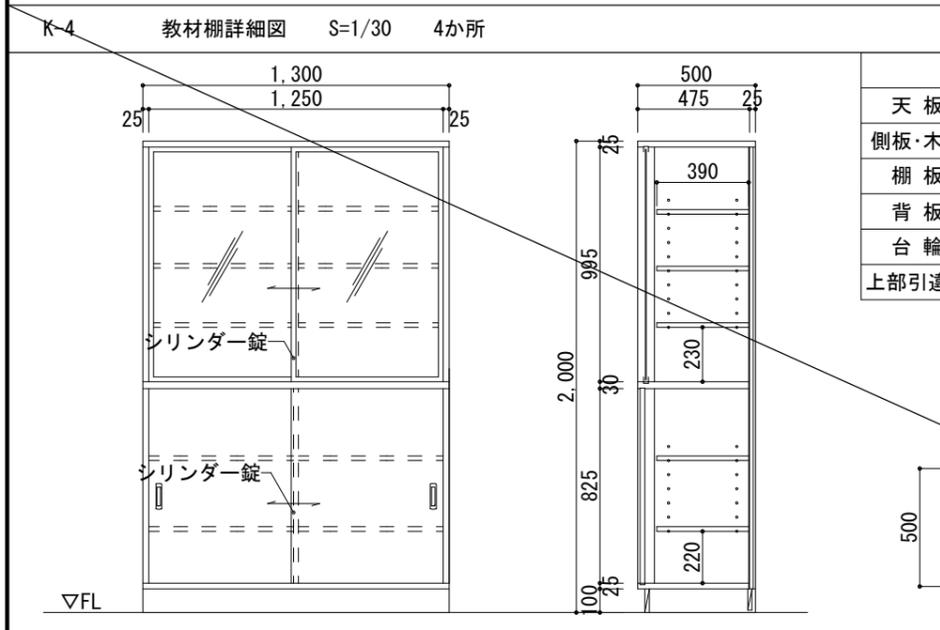
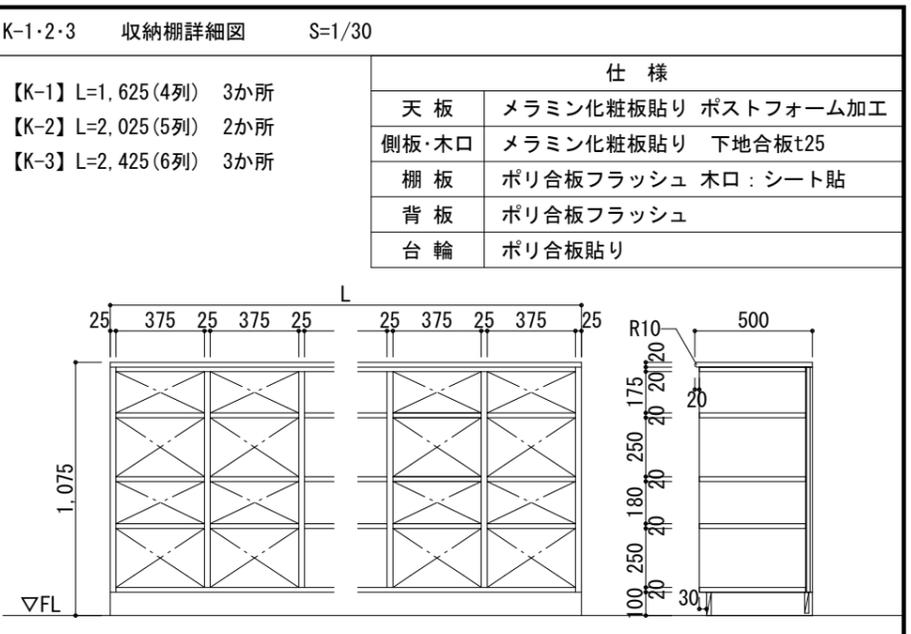
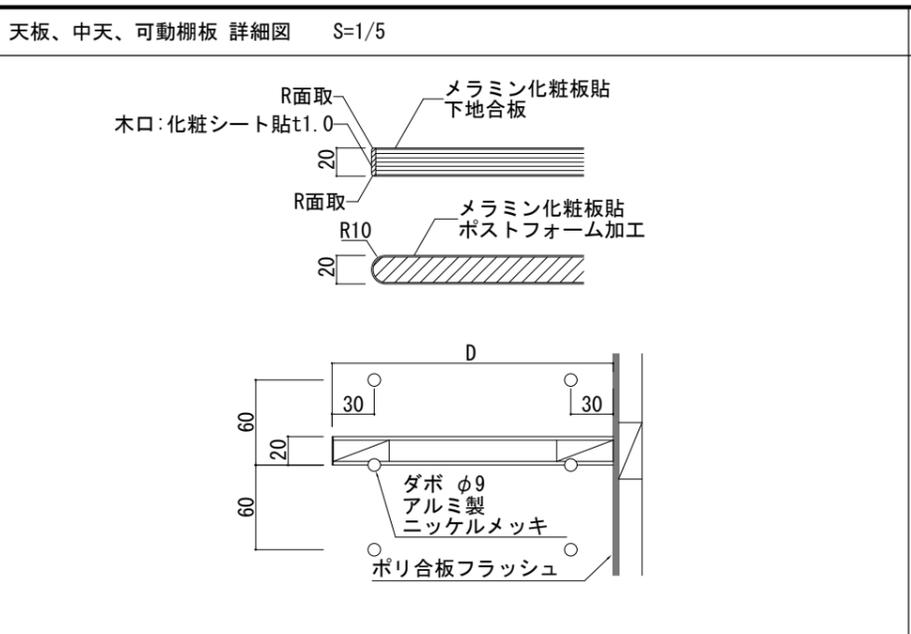
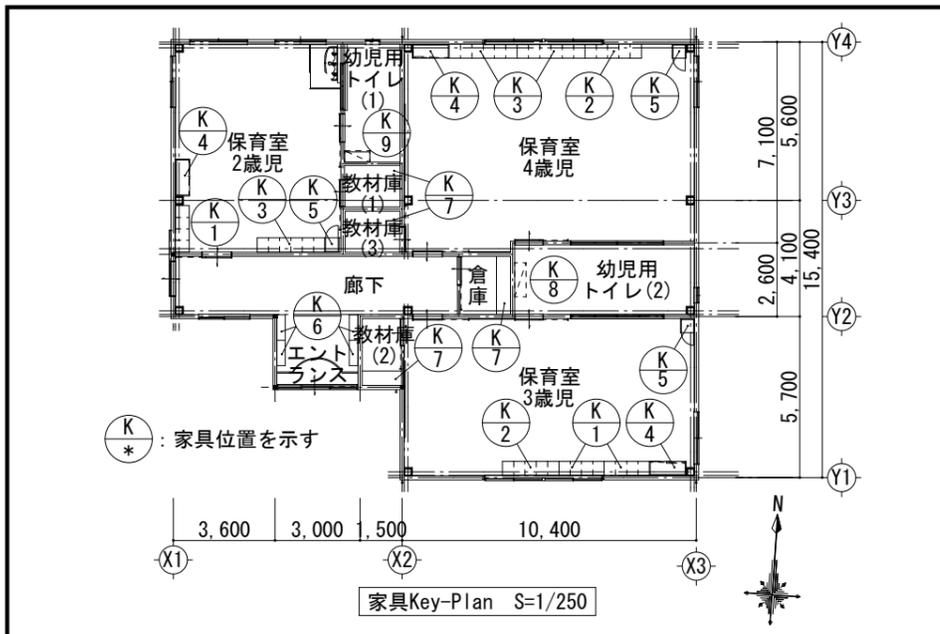


** : 建具位置を示す
* : 建具位置を示す

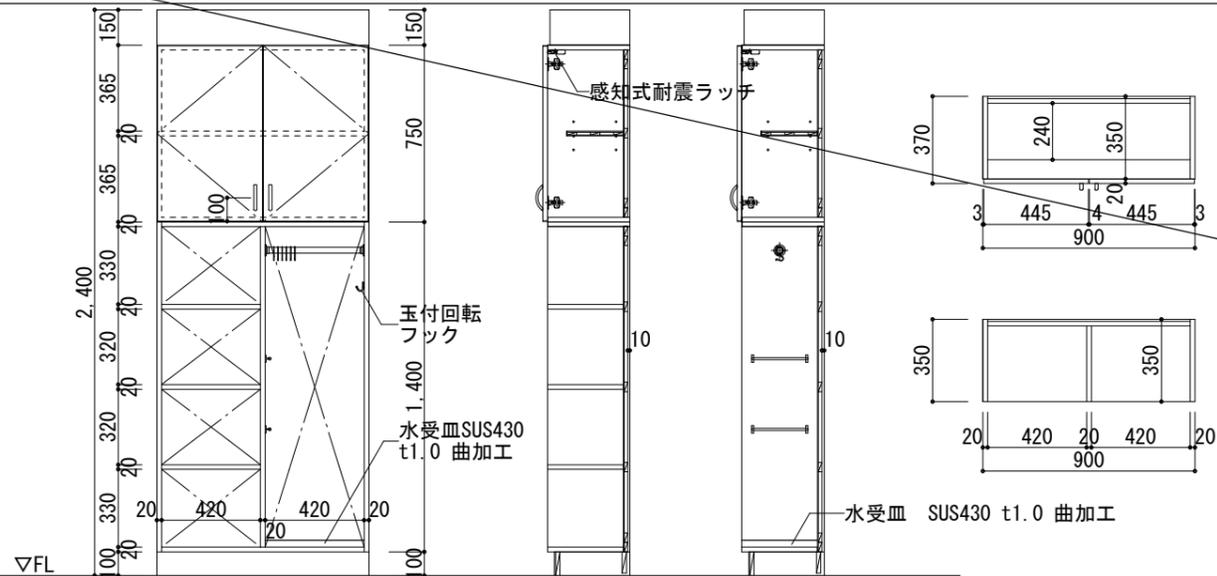
建具Key-Plan S=1/150

建具番号 数量	WD 1 保育室2・3・4歳児 3	WD 2 幼児用トイレ(1)(2) 3	WD 3 教材庫(1)(2)(3) 3	WD 4 倉庫 1
姿 図				
形式 見込寸法	片引き木製框戸 40	片引きフラッシュ戸 40	片引きフラッシュ戸 40	引違い戸 40
材 料	米松 OSCL塗装	ポリ合板	ポリ合板	ポリ合板
ガ ラ ス	強化ガラスt4	フロート板ガラスt5	-	-
付 属 金 物	押棒、戸車、V型フラットレール(SUS)、付属金物一式	押棒、戸車、V型フラットレール(SUS)、付属金物一式	押棒、戸車、V型フラットレール(SUS)、付属金物一式	押棒、戸車、V型フラットレール(SUS)、付属金物一式
特 記 事 項	木枠:スプルー ス OSCL塗装、指詰め防止用切欠き加工	木枠:スプルー ス OSCL塗装、指詰め防止用切欠き加工	木枠:スプルー ス OSCL塗装、指詰め防止用切欠き加工	木枠:スプルー ス OSCL塗装、指詰め防止用切欠き加工
建具番号 数量	TB 1 幼児用トイレ(2) 1	TB 2 幼児用トイレ(2) 1		
姿 図				
形式 見込寸法	幼児用トイレベース 40	トイレベース 40		
材 料	芯材:ペーパーコア、表面材:メラミン化粧材	芯材:ペーパーコア、表面材:メラミン化粧材		
ガ ラ ス	-	-		
付 属 金 物	グレピティヒンジ、表示スライドボルト 戸当りゴム、付属金物一式	グレピティヒンジ、アルミ笠木、表示スライドボルト 戸当り帽子掛け、付属金物一式		
特 記 事 項	巾木:SUS製H60、小口:アルミ押出型材(キャップ付)	巾木:SUS製H60、アルミRエッジ		
建具番号 数量				
姿 図				
形式 見込寸法				
材 料				
ガ ラ ス				
付 属 金 物				
特 記 事 項				

※注記

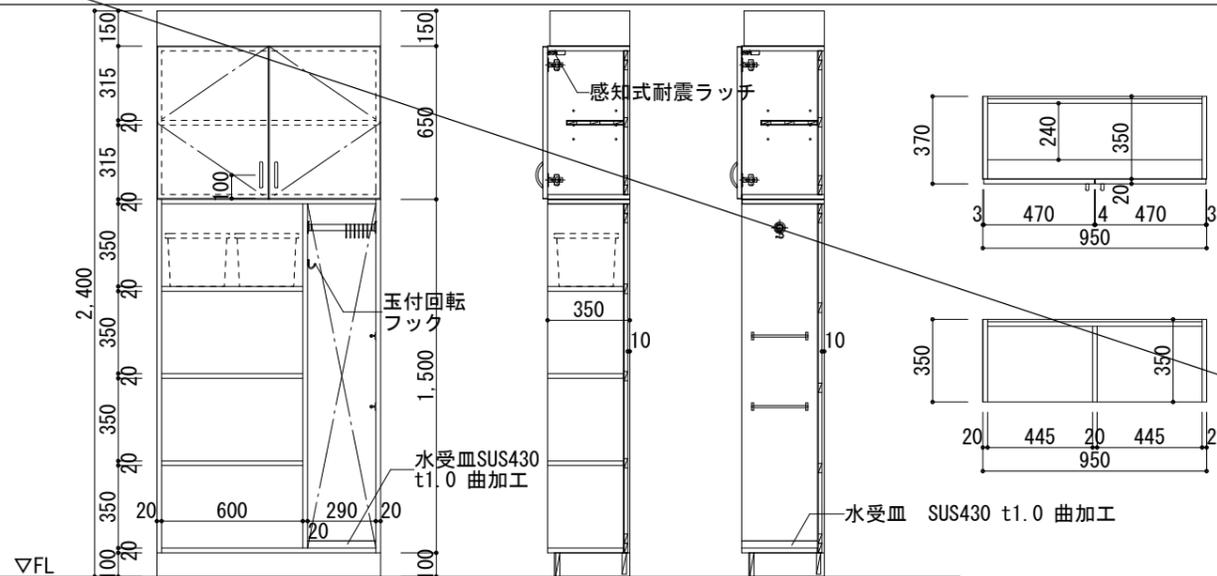


K-8 収納棚詳細図 S=1/30 1ヶ所



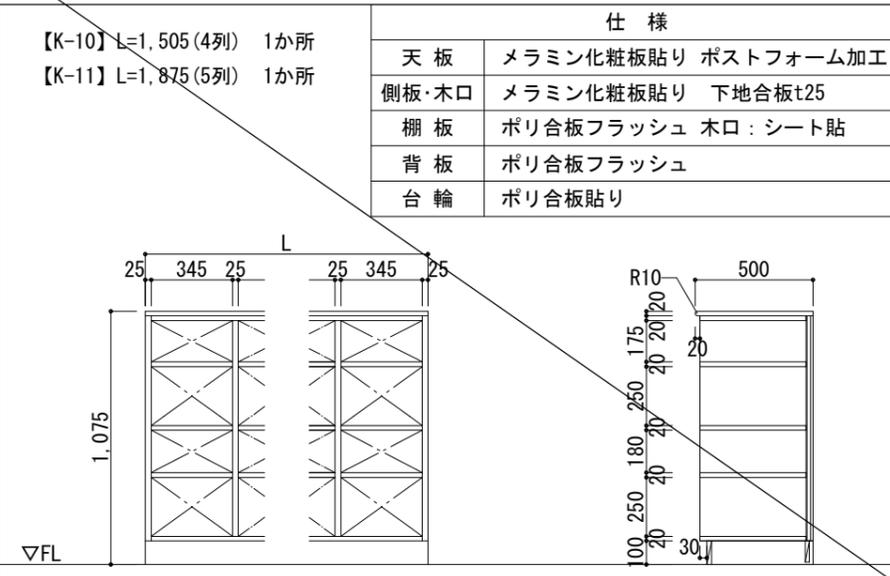
仕様	
側板・木口	メラミン化粧板貼り 下地合板t25
棚板	ポリ合板フラッシュ 木口:シート貼 棚ダボφ9 (3段)
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード、スライド丁番(キャッチ付)、ABS樹脂製ハンドル(白)、木口:シート貼、感知式耐震ラッチ
背板	ポリ合板フラッシュ
幕板・台輪	ポリ合板貼
附属品	ステンレス巻パイプφ25(Sカン6ヶ付) ×1 玉付回転フック(TK-30) ×2 雑巾掛 ステンレスパイプφ9(L=250) ×2

K-9 汚物棚詳細図 S=1/30 1ヶ所



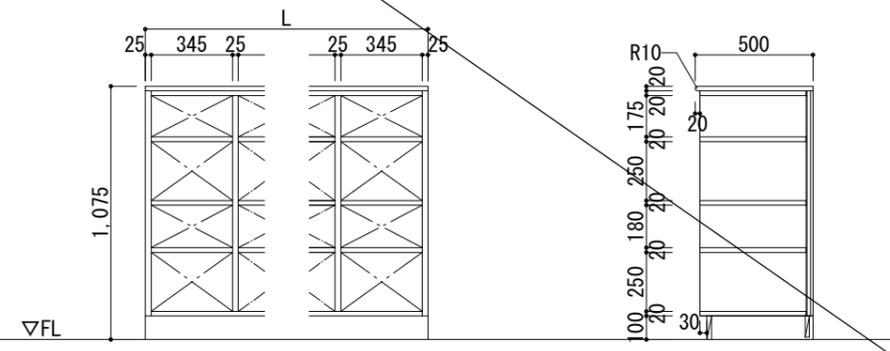
仕様	
側板・木口	メラミン化粧板貼り 下地合板t25
棚板	ポリ合板フラッシュ 木口:シート貼 棚ダボφ9 (3段)
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード、スライド丁番(キャッチ付)、ABS樹脂製ハンドル(白)、木口:シート貼、感知式耐震ラッチ
背板	ポリ合板フラッシュ
幕板・台輪	ポリ合板貼
附属品	ステンレス巻パイプφ25(Sカン6ヶ付) ×1 玉付回転フック(TK-30) ×2 雑巾掛 ステンレスパイプφ9(L=250) ×2

K-10-11 収納棚詳細図(既設園舎) S=1/30

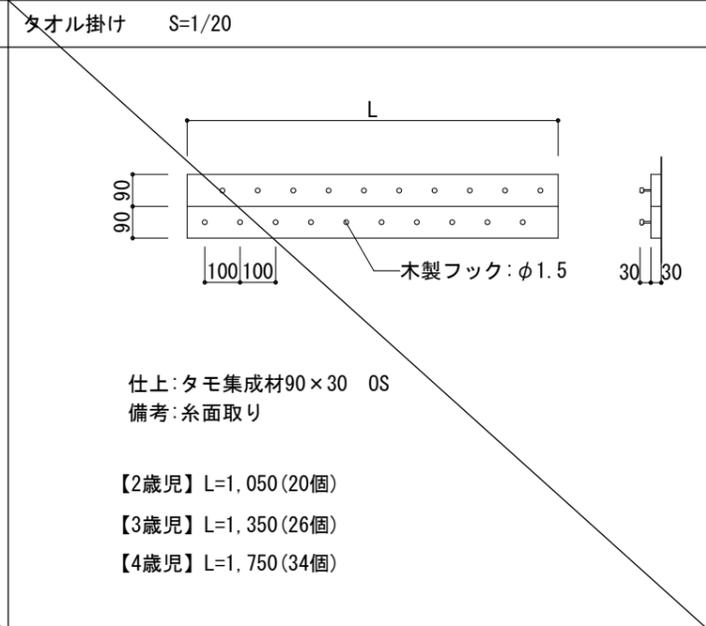
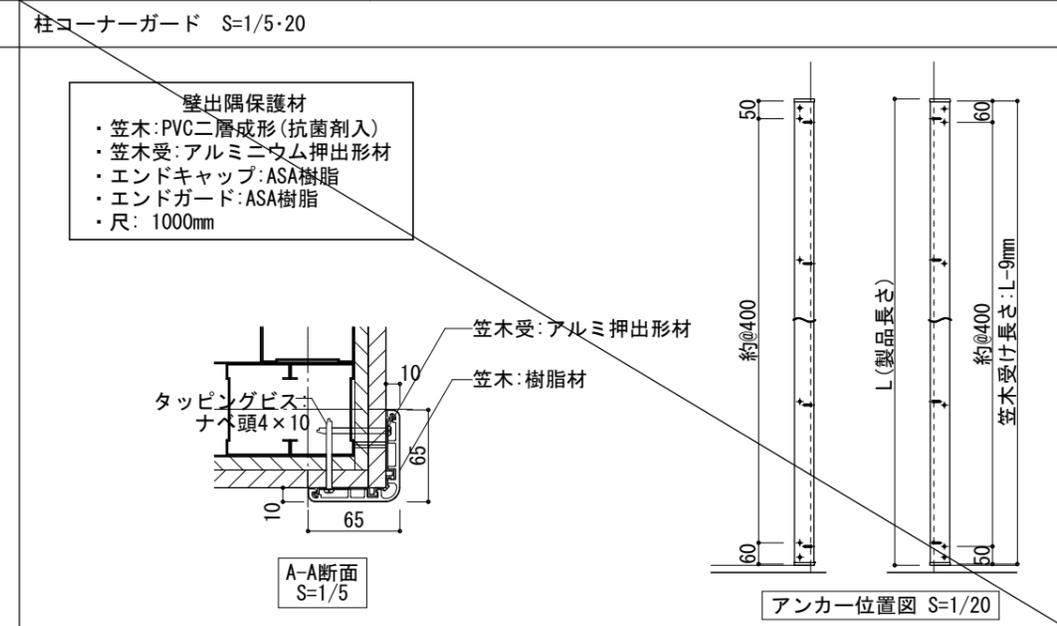
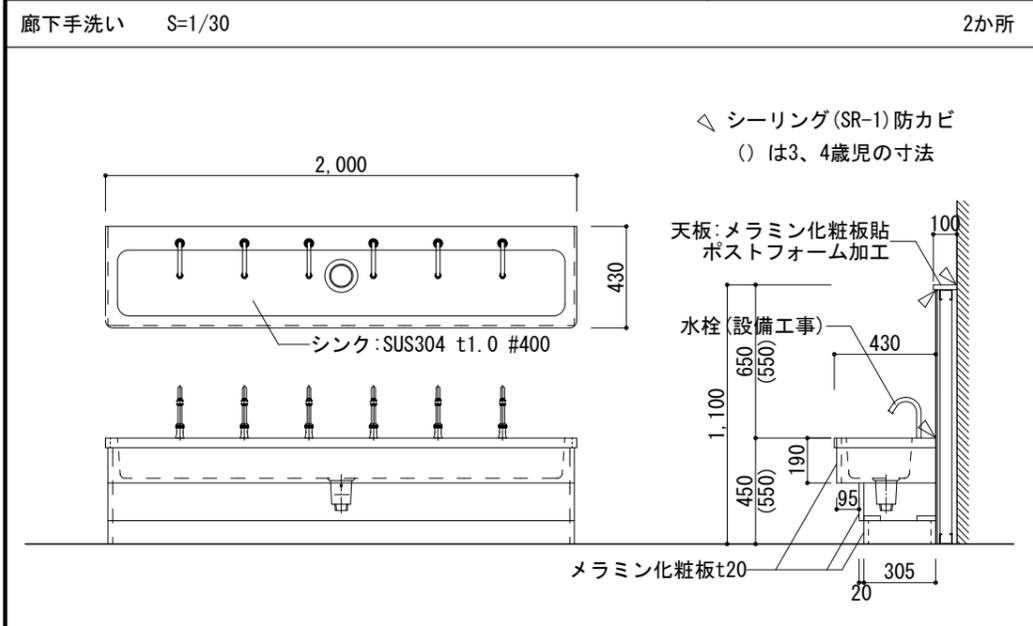
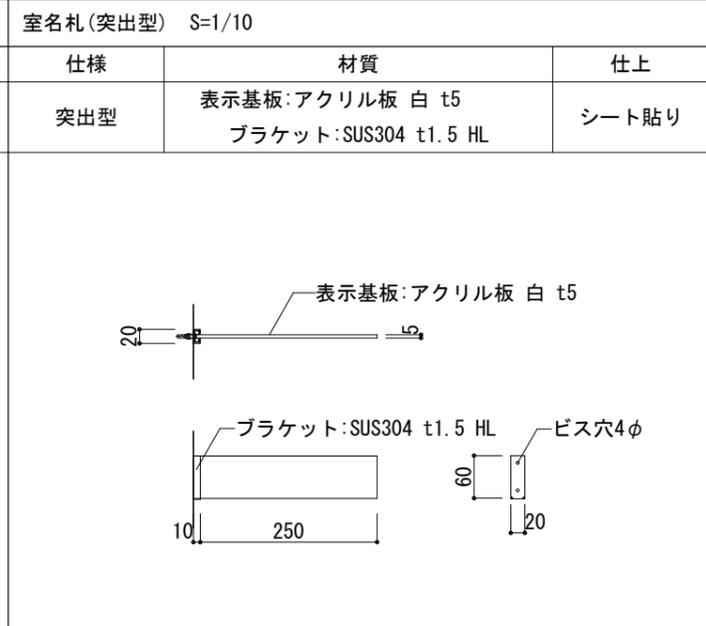
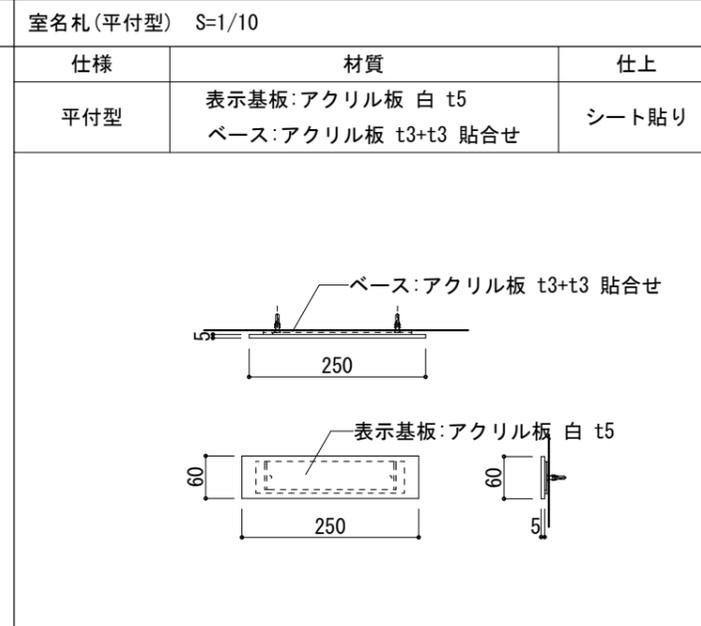
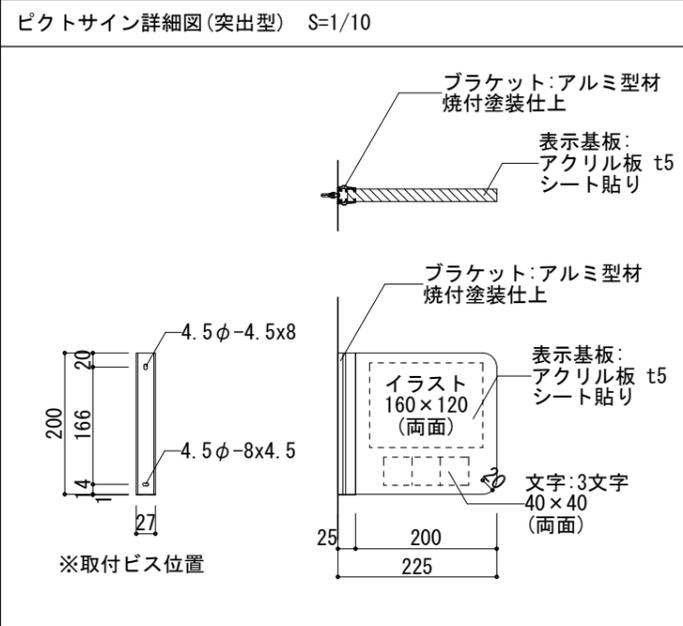
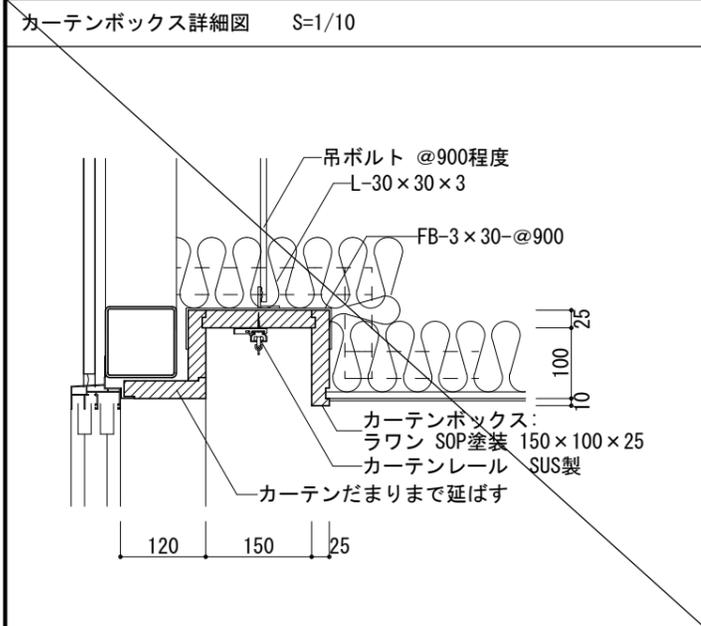
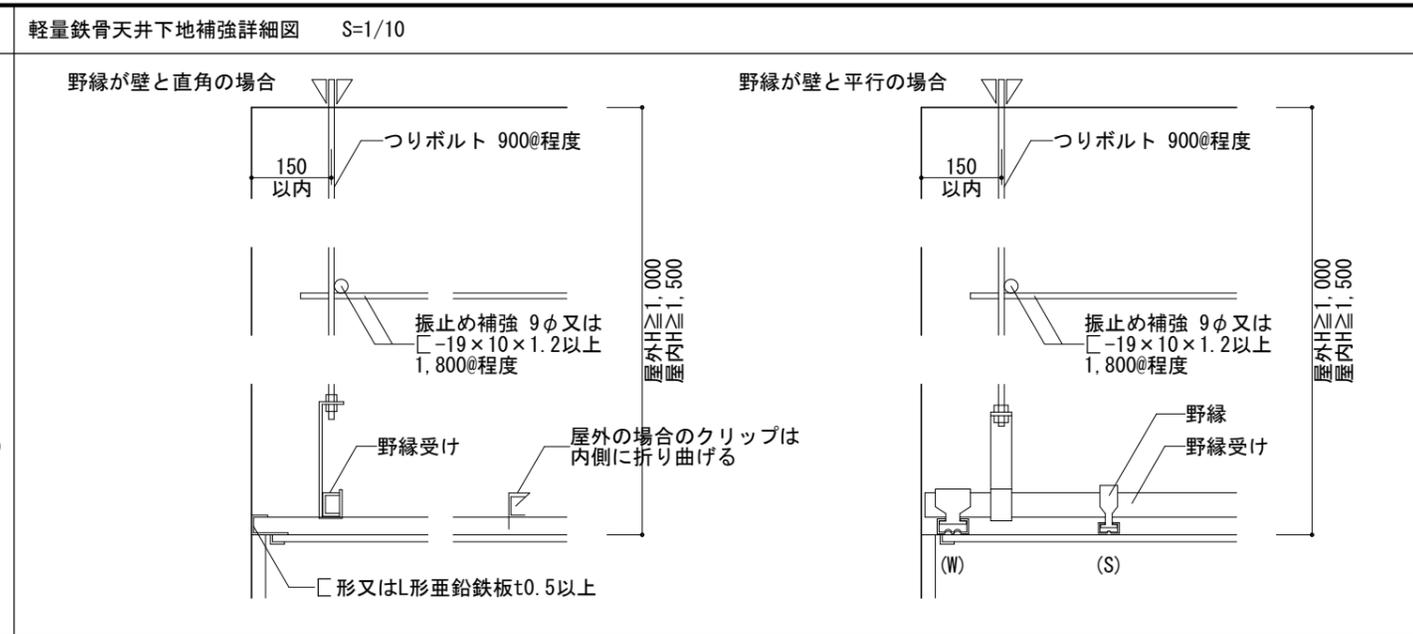
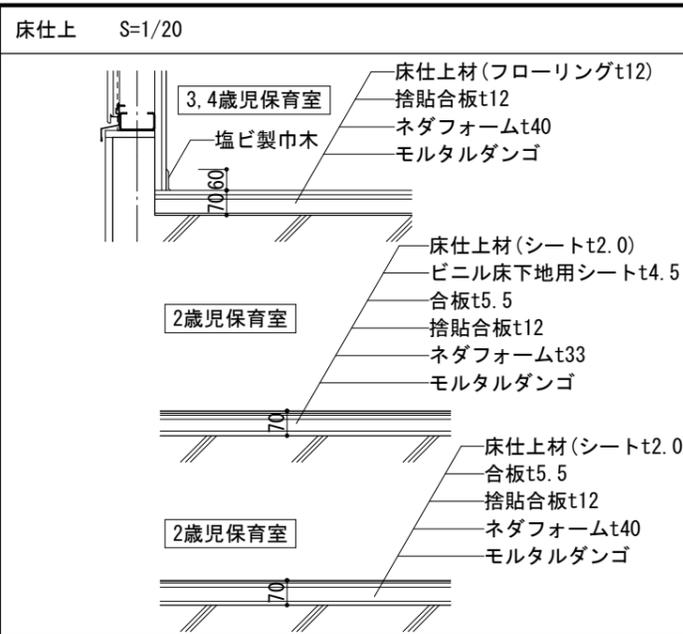
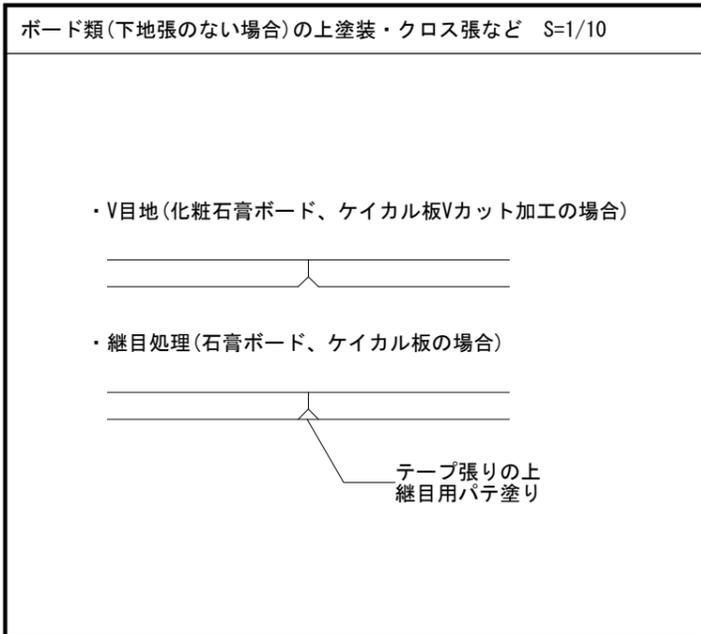


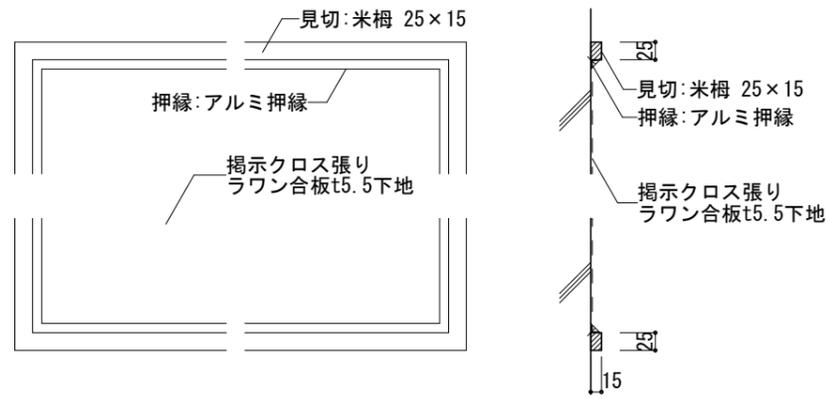
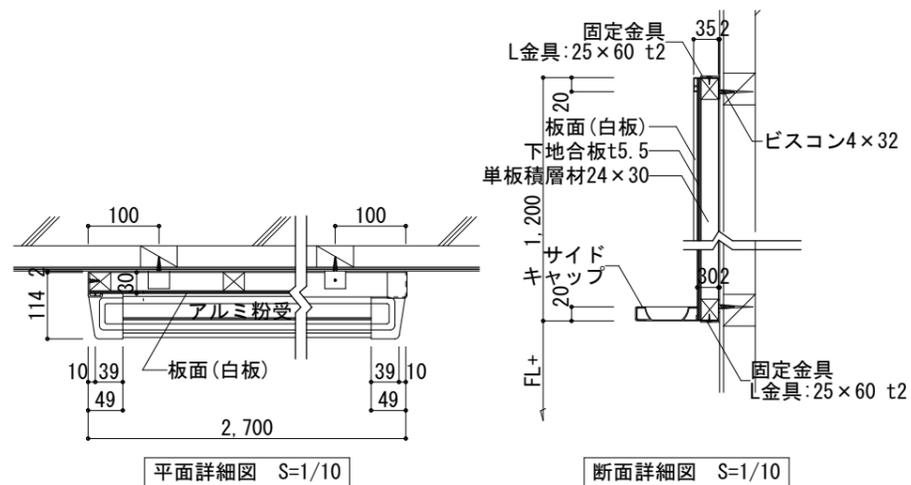
【K-10】L=1,505(4列) 1か所
【K-11】L=1,875(5列) 1か所

仕様	
天板	メラミン化粧板貼り ポストフォーム加工
側板・木口	メラミン化粧板貼り 下地合板t25
棚板	ポリ合板フラッシュ 木口:シート貼
背板	ポリ合板フラッシュ
台輪	ポリ合板貼り



※注記





※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-6115 伊藤 公

工事名
和田保育園園舎増築工事

日付

担当

承認

図面名

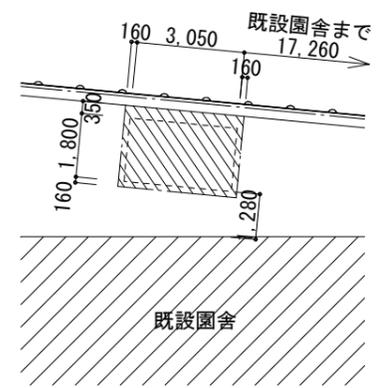
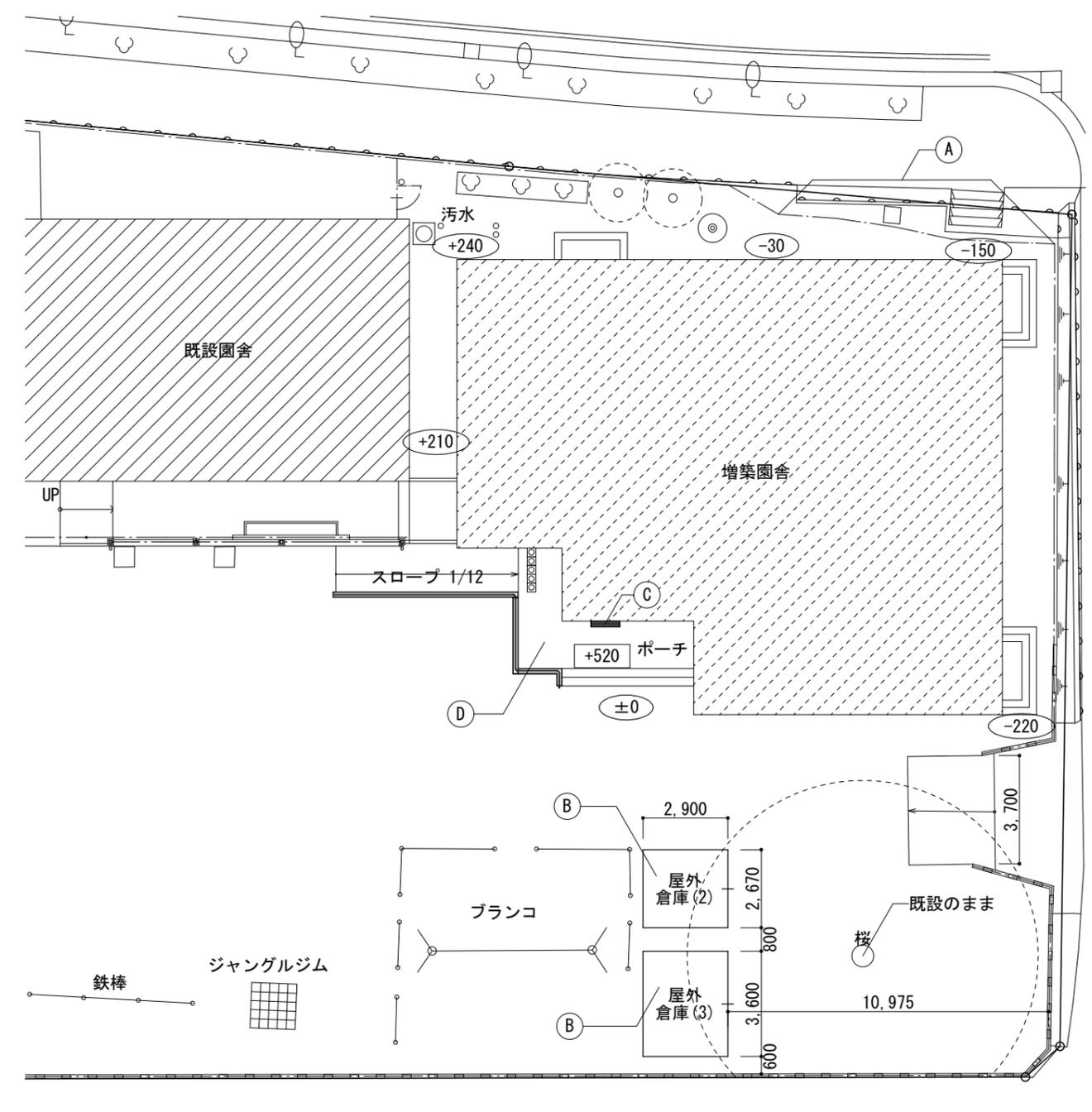
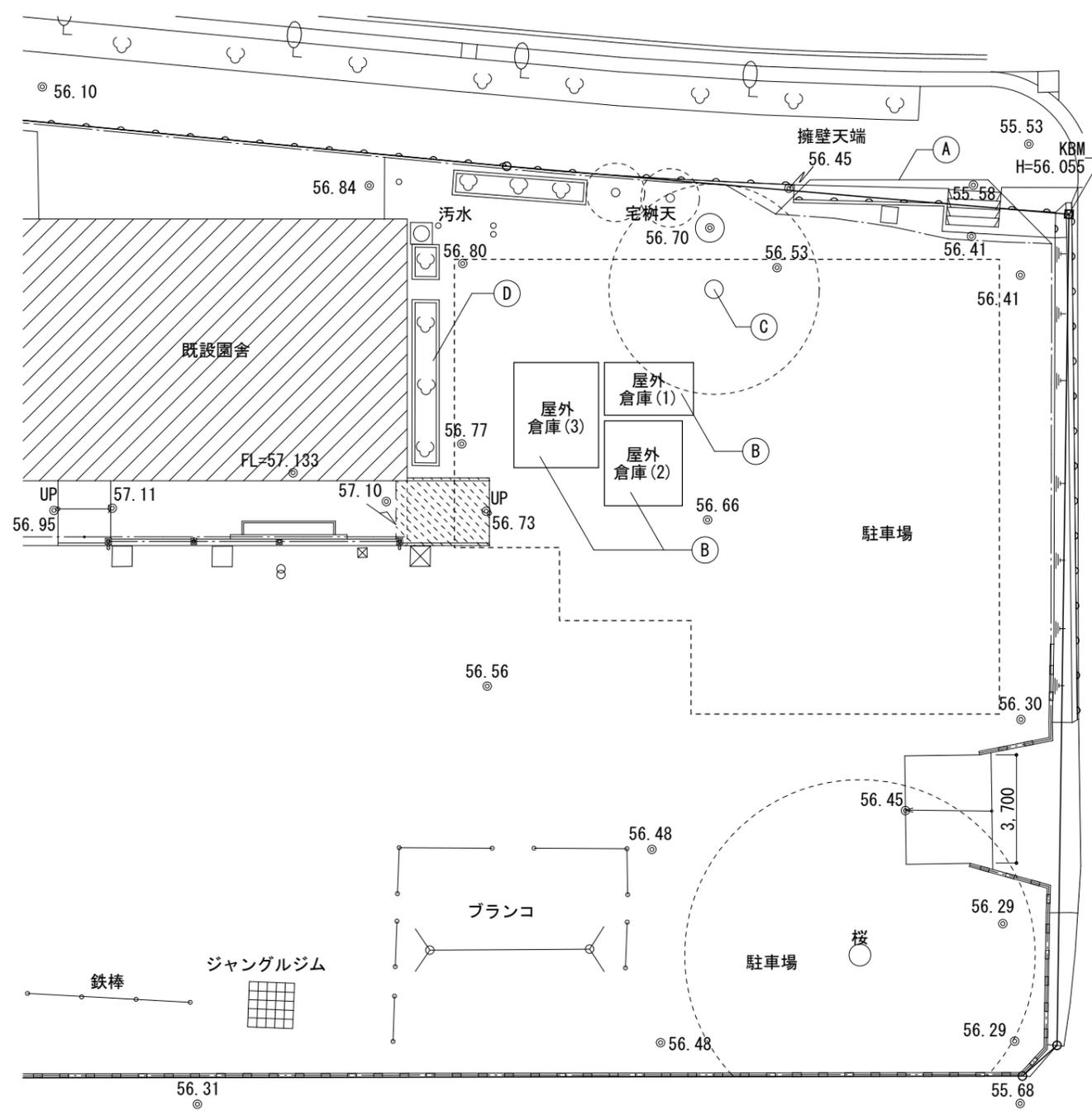
縮尺

図面番号

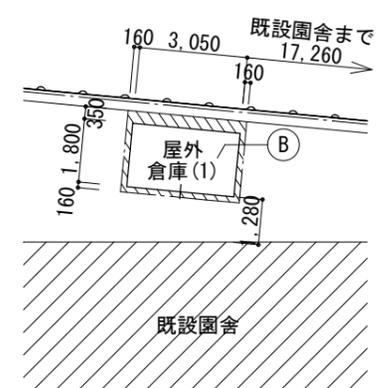
部分詳細図(2)

A3:S=1/4-30

A-29



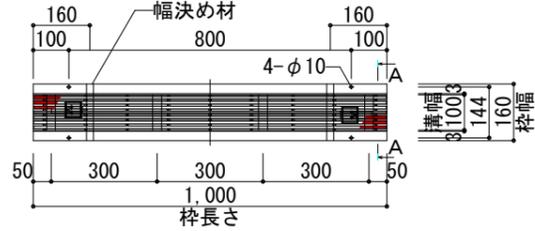
凡例	
(A)	メッシュフェンスH=1,200 撤去(基礎共)
(B)	屋外倉庫 H=2,500 移設
(C)	樹木 撤去(伐根共) 幹径:0.64m/高さ:7.0m/枝張り7.2m/1本
(D)	花壇ブロック撤去 t100×H200
	既設園舎を示す
	スロープ撤去範囲を示す
	コンクリート舗装撤去範囲を示す
- -	カッター切り位置を示す(コンクリート蓋付き)



凡例	
(A)	メッシュフェンスH=1,200 取外し復旧(基礎共)【詳細図参照】
(B)	屋外倉庫 移設(基礎新設)【詳細図参照】
(C)	渡り廊下 新設【詳細図参照】 鋼製溝付スリットみぞ蓋 新設【詳細図参照】
(D)	ポーチ・スロープ・足洗い 新設【詳細図参照】
	既設園舎を示す
	新設園舎を示す
	コンクリート舗装新設範囲を示す

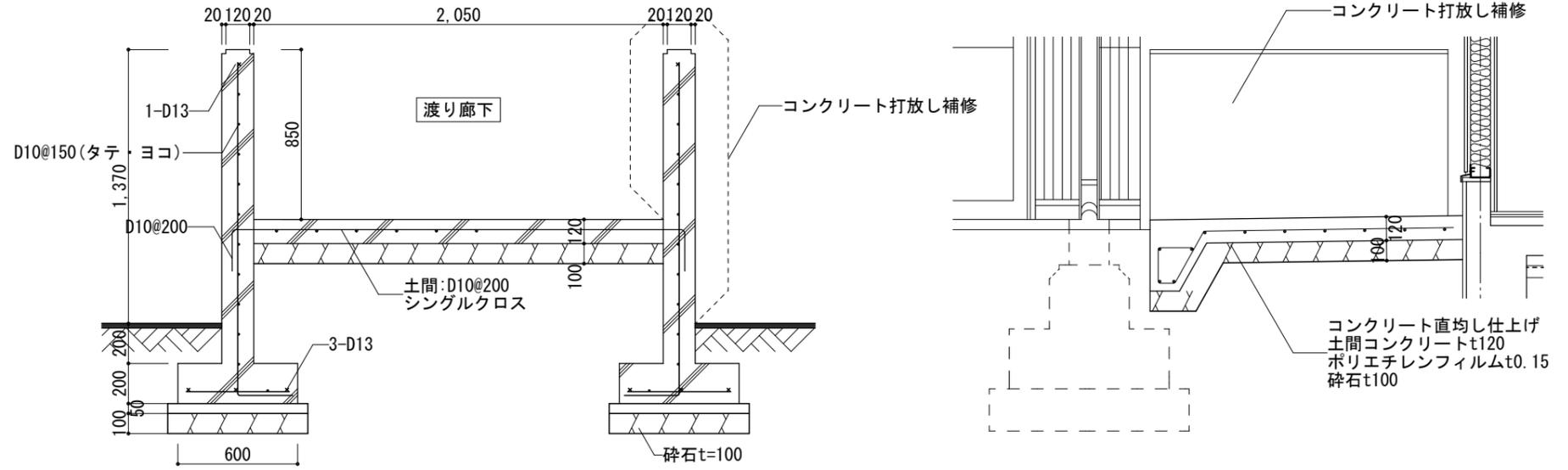
鋼製溝付スリットみぞ蓋詳細図 S=1/20

側溝寸法	みぞ幅: 100mm みぞ深さ: 枠天端より65~100mm
スリット蓋	ステンレス製 SUS304 滑り止め模様付 すきま 6mm 跳ね上がり・騒音防止用ロック金具付 寸法 幅98×長さ998×高さ15
枠	ステンレス製 SUS304 寸法 幅160×長さ1000×高さ120

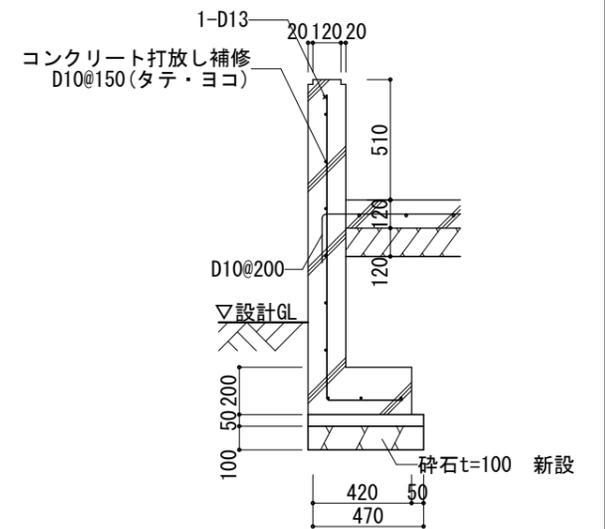
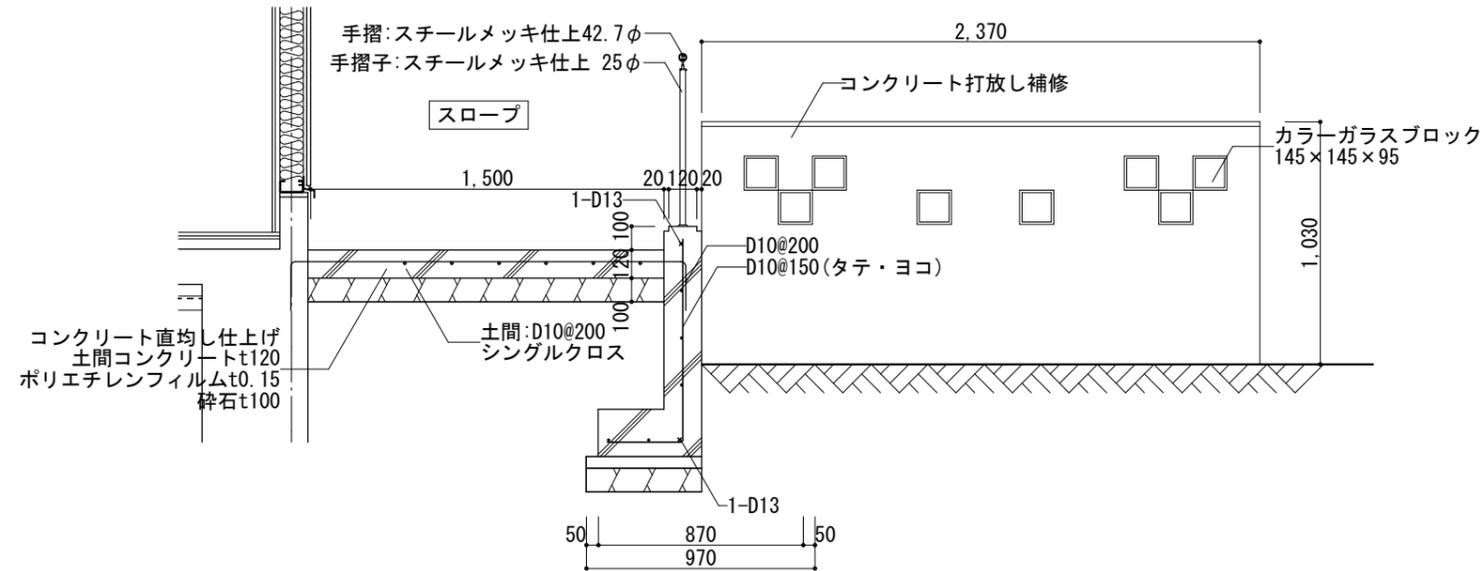
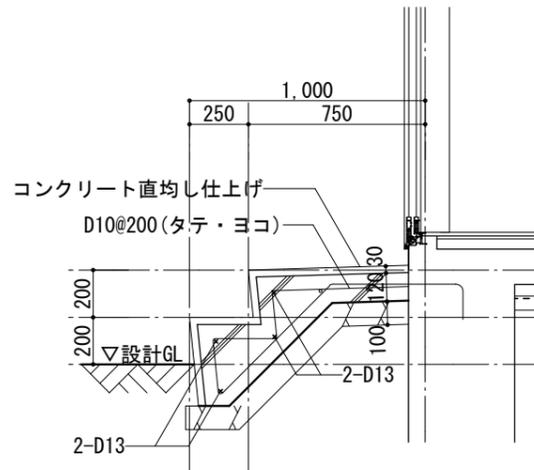
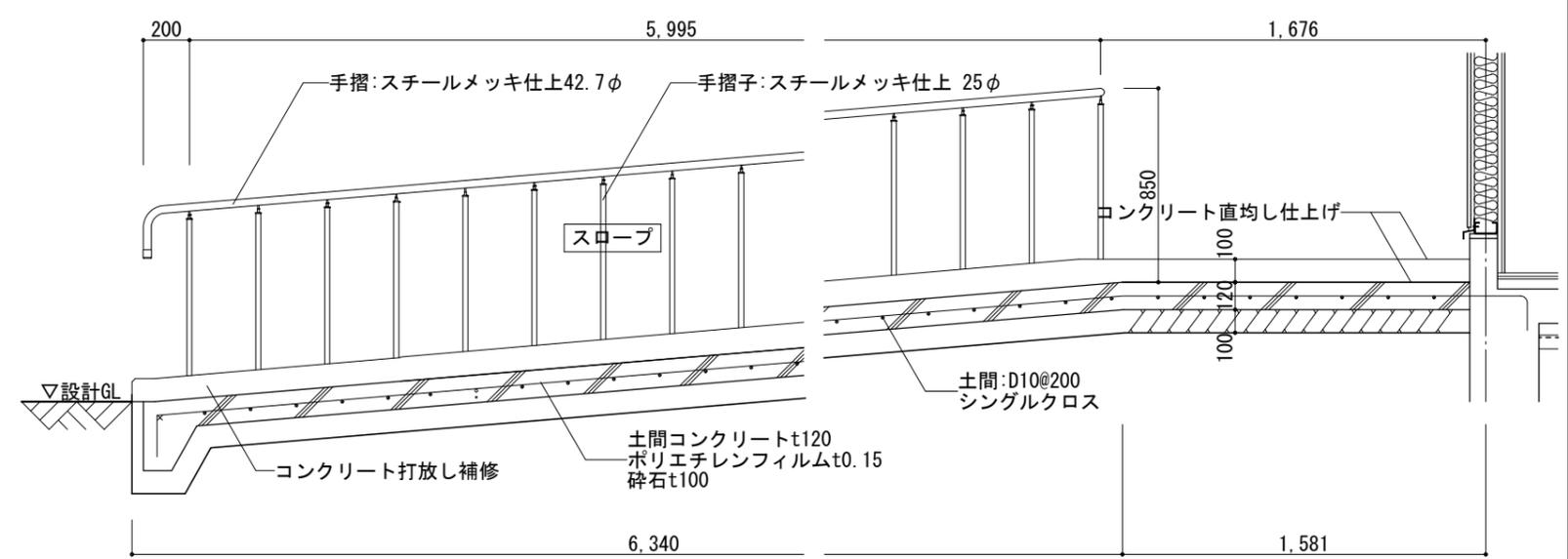
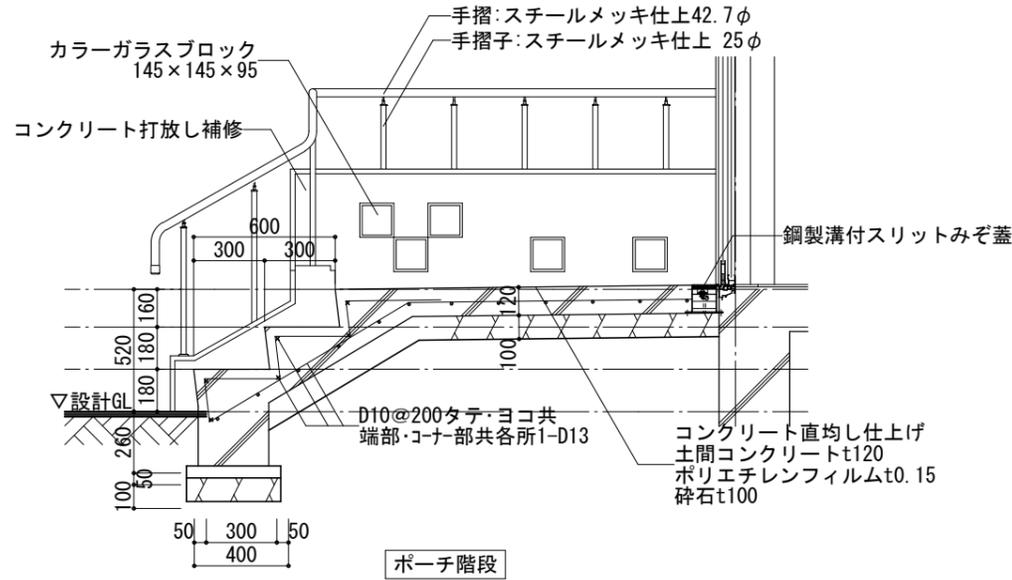


平面図 S=1/20

渡り廊下詳細図 S=1/30

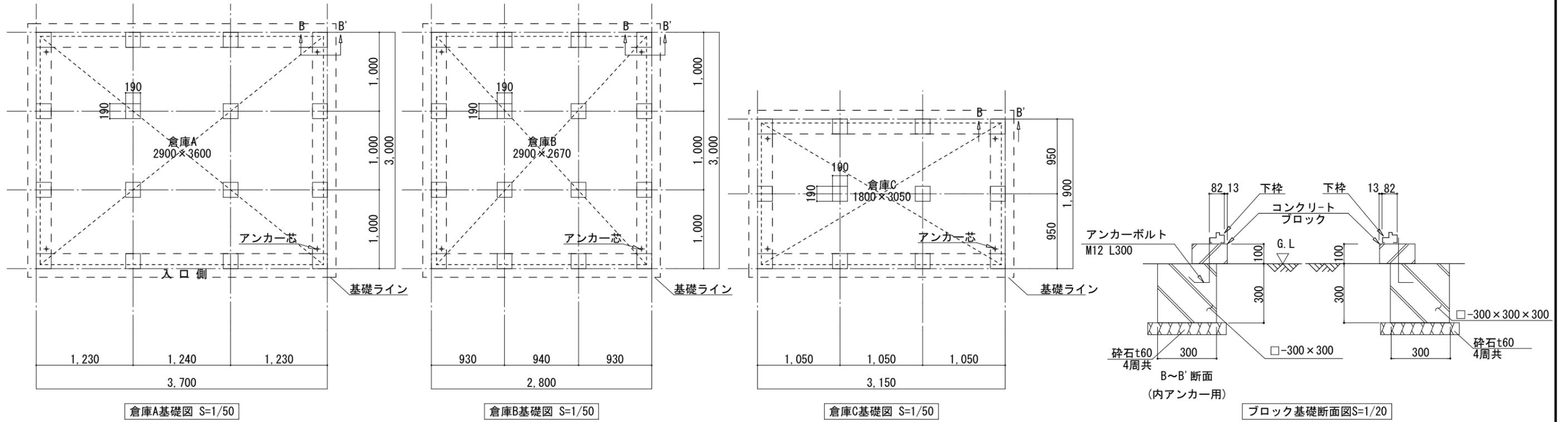


スロープ詳細図 S=1/30

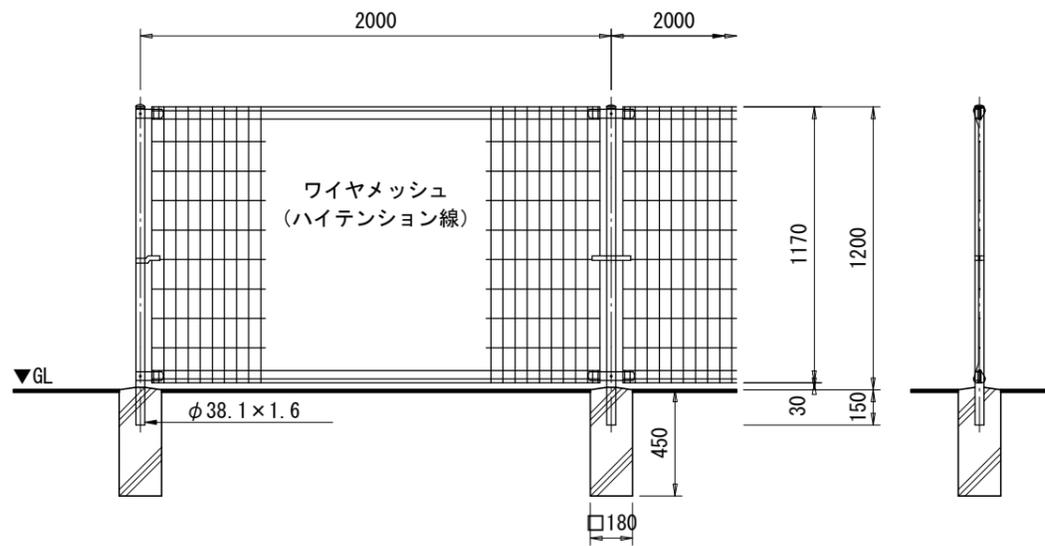


※注記

基礎新設 詳細図(既設屋外倉庫) S=1/50

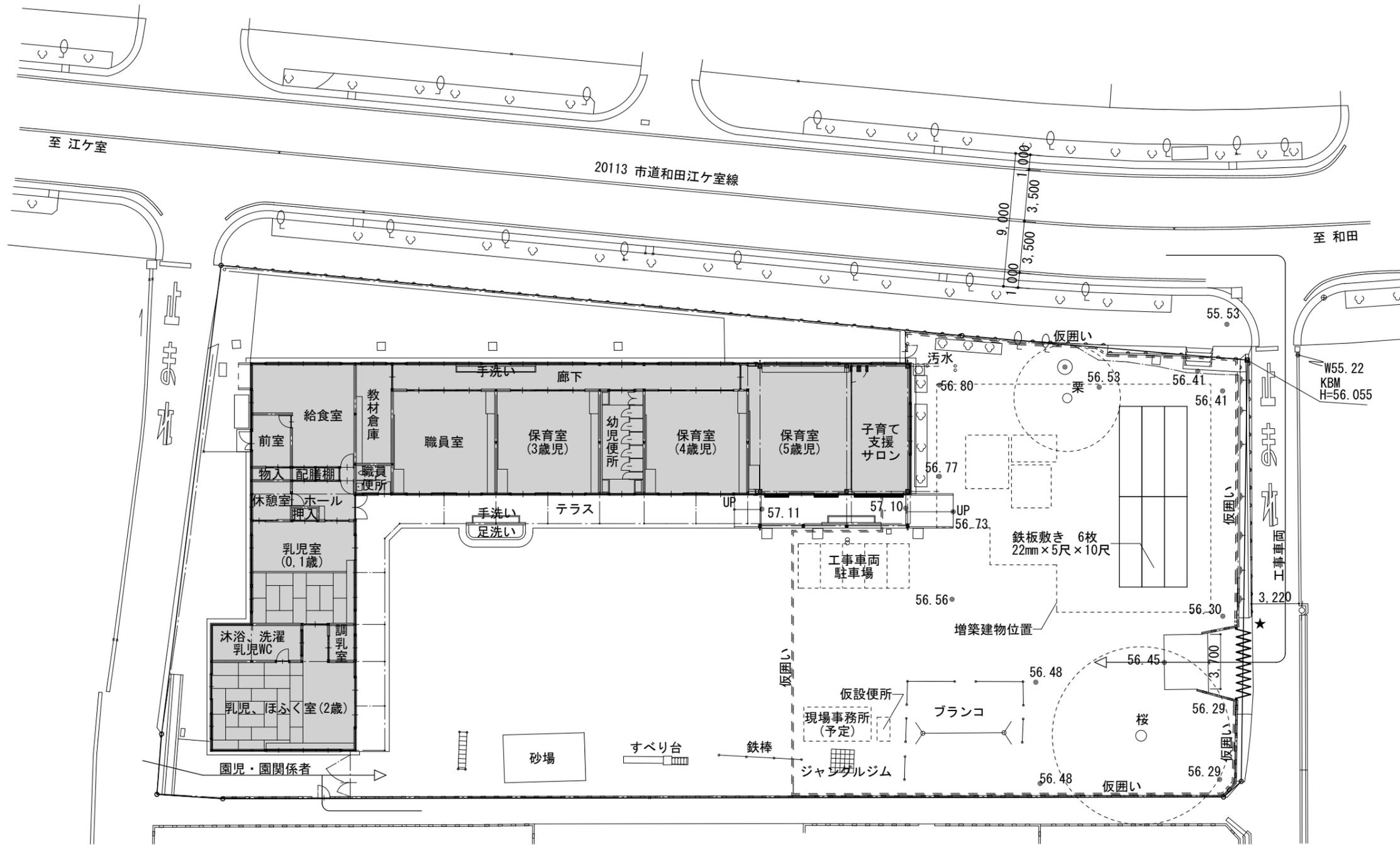


メッシュフェンス詳細図 S=1/30



※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号 TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-6115 伊藤 公		工事名 和田保育園園舎増築工事	
日付	担当	承認	縮尺 図面番号
			外構詳細図(2) 図示 A-32



凡例	
	工事範囲外示す
	仮囲い (H1800)
	ジャバラゲート (W6000 x H1800) を示す
	工事車両・搬入経路を示す
	交通誘導員を示す

構造設計特記仕様書

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 三重県亀山市和田町1488-16
(2) 工事種別 新築
(3) 構造設計一般建築士の関与
(4) 構造種別
(5) 階数
(6) 主要用途
(7) 屋上付属物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 構造計算ルート

2. 使用構造材料

Table with 5 columns: 適用場所, 種類, 設計基準強度, 品質基準強度, スランプ, 備考. Contains concrete and reinforcement material specifications.

Table with 5 columns: 種類, 径, 使用箇所, 継手方法. Contains specifications for reinforcement bars and mesh.

Table with 5 columns: 種類, 使用箇所, 製造標準, JIS規格・認定番号. Contains specifications for reinforcement mesh and plates.

Table with 5 columns: 種類, 形式, 厚さ, 使用箇所, 仕様・構造. Contains specifications for reinforcement plates and mesh.

Table with 5 columns: 種類, 形式, 厚さ, 使用箇所, 仕様・構造. Contains specifications for reinforcement mesh and plates.

3. 地盤

Table for soil investigation results with columns for depth, soil type, and test results. Includes a note about the borehole location and soil conditions.

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
(2) 地盤改良
(3) 杭基礎

Table with 5 columns: 杭種, 材料, 施工法, 備考. Contains specifications for pile foundations.

Table with 5 columns: 杭径, 設計支持力, 杭の先端の深さ, 本数, 特記事項. Contains specifications for pile foundations.

5. 鉄筋コンクリート (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様書はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36N/mm^2 以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

- (1) コンクリート
(2) 鉄筋

Table for reinforcement specifications with columns for bar type, diameter, and placement details.

(3) 型枠

材料 合板厚 12mmを標準とする。 施工 JASS 5 による。

Table for formwork specifications with columns for concrete strength, temperature, and curing time.

- 注1 片持り、庇、スパン9.0m以上のり下は、監理者の指示による。
注2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。
注3 支柱盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注4 盛りかえ後の支柱頂部には、薄い受板、角材または、これに代わるものも置く。
注5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
注6 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合には、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛りかえを行わないこと。
注7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
(3) 工事監理者が行う検査項目
(4) 接合部の溶接は下記によること
(5) 接合部の検査

Table for steel joint inspection with columns for inspection location, method, and results.

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

- (6) 防錆塗装
(7) 耐火被覆の材料

7. 設備関係

- 建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
(1) 建築設備 (昇降機を除く)
(2) 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するもの
(3) 支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、接続すること。
(4) 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、9.0m以下とする。
(5) 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
(6) 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備を除く) は、
(7) 高圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
(8) 建築物の部分を貫通して配管する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
(9) 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
(10) 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水櫃等については、平成12年建設省告示第1389号により、高圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
(11) 給湯設備等は、高圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
(12) 洪水時の水量が15Kgを越える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第8に規定する構造方法によること。
*「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水櫃等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

8. その他

- 検査庁へ提出書類は遅滞なく提出すること。
各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
必要に応じて記録写真を適宜保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号
 d・・・異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D・・・部材の径 R・・・半径
 @・・・間隔 r・・・半径 C・・・中心線 L・・・部材間の内法距離
 ho・・・部材間の内法高さ ST・・・あばら筋 HOOP・・・帯筋
 S..HOOP・・・補強帯筋 φ・・・直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部又はスラブと同時に打ち込むT型及びL型梁のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上、スラブ筋、壁筋に丸鋼は使用しない。				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状、鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スライル筋	SR235、SR295	16φ以下	3d以上
		SD295A・B	19φ以上	4d以上
		SD345	D19以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B	D16以下	4d以上
		SD345	D19～D25	6d以上
		SD390	D29～D41	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね接手の長さ

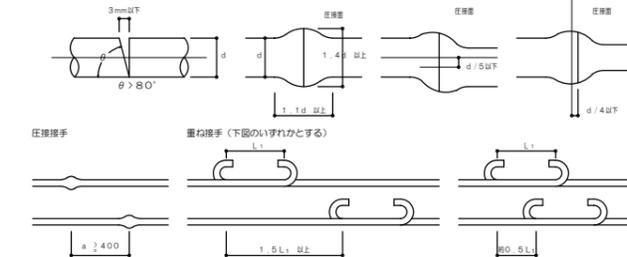
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね接手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ば筋(L3)	
SD295A SD295B	18	40dまたは30dフック付	20dまたは10dフック付	45dまたは35dフック付 40dまたは30dフック付 35dまたは25dフック付 50dまたは35dフック付 45dまたは30dフック付 40dまたは30dフック付 35dまたは25dフック付
	21	35dまたは25dフック付		
	24～36	30dまたは20dフック付		
SD345	18	40dまたは30dフック付	10dフック付	45dまたは30dフック付 40dまたは30dフック付 35dまたは25dフック付
	21	35dまたは25dフック付		
	24、27	35dまたは25dフック付		
	30、33、36	30dまたは20dフック付		

[注] 許容応力度等計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする。

継手

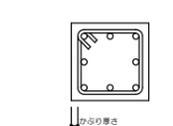
1. 末端のフックは、定着及び重ね接手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね接手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



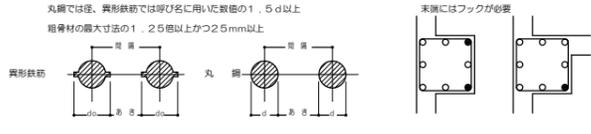
(1) かぶり厚さ(単位:mm)

ひびわれ誘発し易い部分と鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

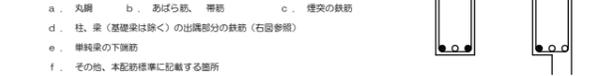


- | 部 | 部 | 設計かぶり厚さ(mm) | 最小かぶり厚さ(mm) |
|----------|------------------------------|-------------------|----------------------------------|
| 工に接しない部分 | 普通スラブ | 30 | 20 |
| | 変形スラブ | 40 ⁽¹⁾ | 30 ⁽²⁾ |
| | 耐力壁 | 40 | 30 |
| | 耐力柱 | 50 ⁽²⁾ | 40 ⁽¹⁾ ⁽³⁾ |
| 工に接する部分 | 普通 | 50 ⁽³⁾ | 40 ⁽⁴⁾ |
| | 柱・梁・梁137 ⁽⁴⁾ ・耐力壁 | 50 | 40 ⁽⁴⁾ |
| | 基礎・床 | 70 | 60 ⁽⁴⁾ |
- [注] 1. 耐久性上有利な仕上げのある場合、工事監督者の承認を受けて30mmとすることができる。
 2. 耐久性上有利な仕上げのある場合、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
 3. コンクリートの品質及び施工方法に依り、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
 4. 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 5. () 内は仕上げがある場合。
 6. 工に接する部分のかぶりは増加する等必要を打ち壊しとする。

(5) 鉄筋のあき

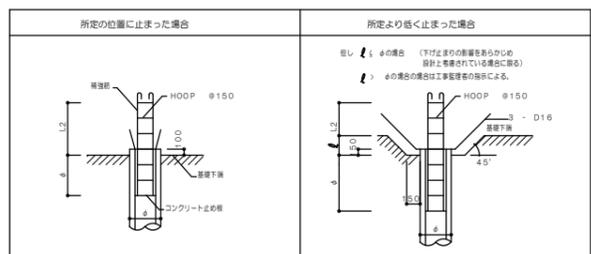


(6) 鉄筋のフック



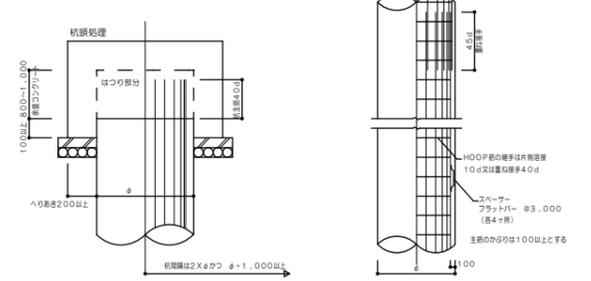
3. 杭(地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う



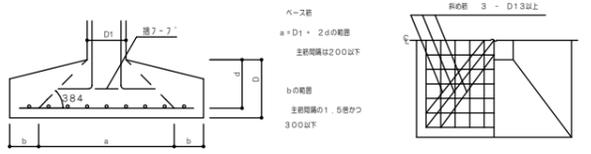
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10 - φ150				

(2) 現場打ちコンクリート杭

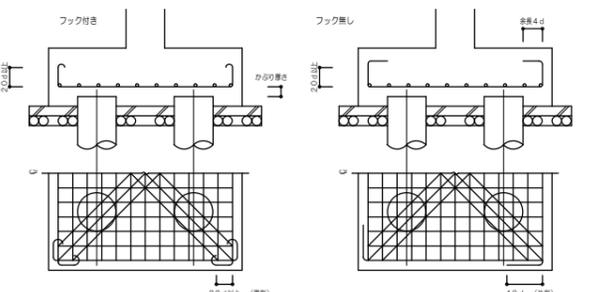


4. 基礎

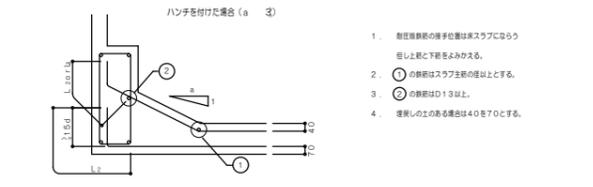
(1) 直接基礎



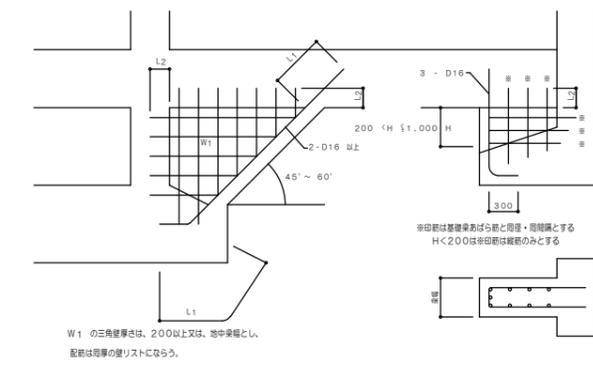
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

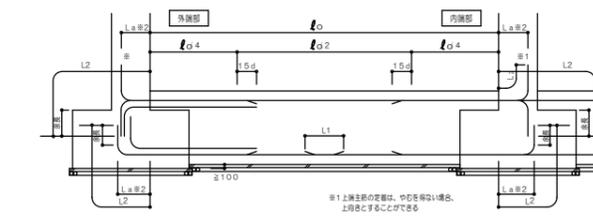


(4) 基礎接合部の補強

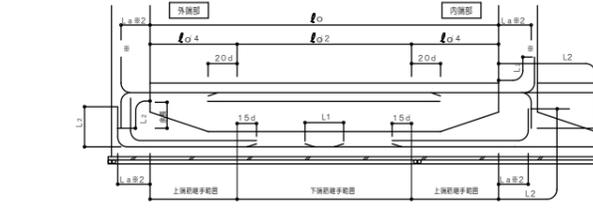


5. 地中梁

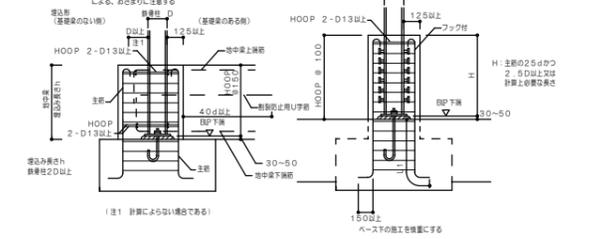
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、接手)



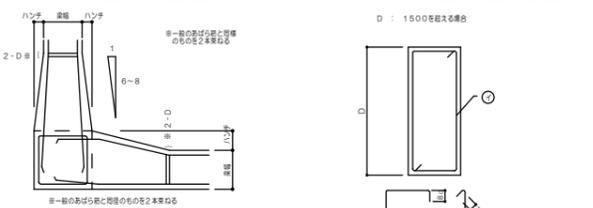
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、接手)



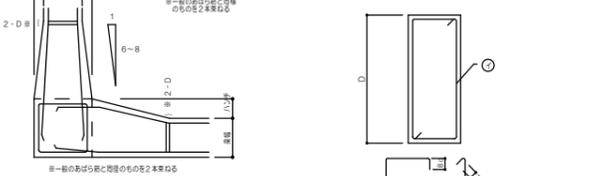
(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

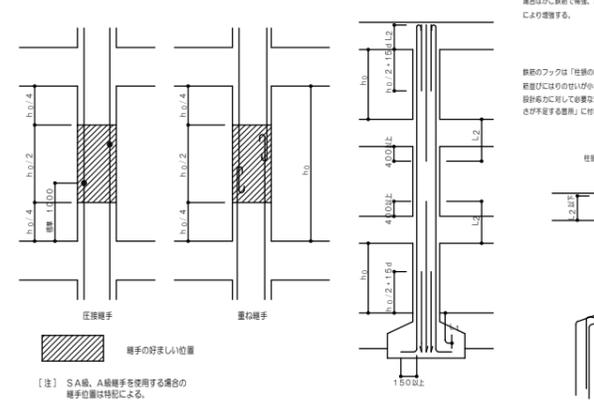


(5) せいの高い梁の場合のあばら筋加工要領

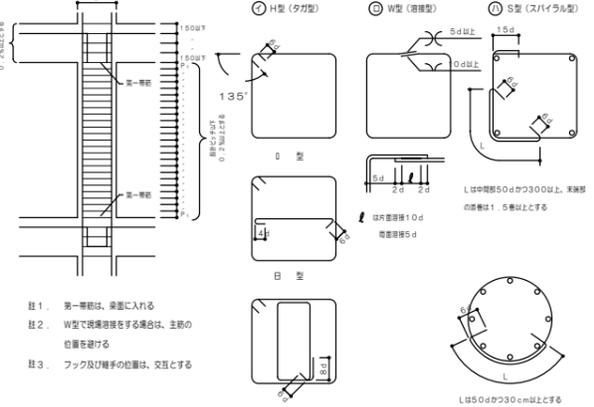


6. 柱

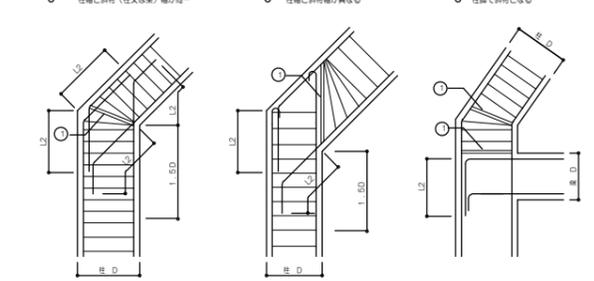
(1) 柱主筋の継手



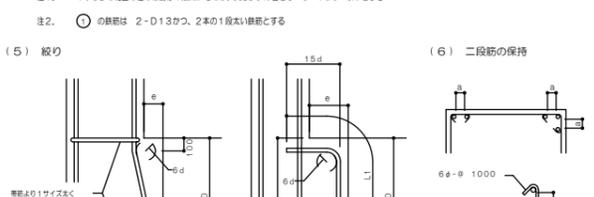
(2) 柱主筋の定着



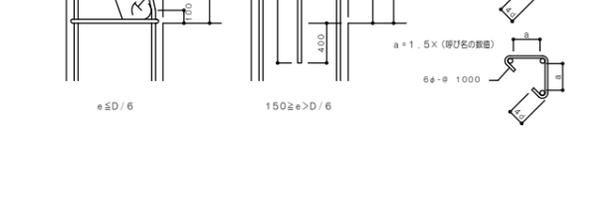
(3) 帯筋



(4) 斜め柱、斜め梁



(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋 標準図 (1) の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手 (S.A筋、A筋継手を使用する場合の継手位置は特記による)

(3) あばら筋、腹筋、幅止筋の位置

(4) あばら筋の型

(5) 幅止筋の本数、加工

幅止筋	D < 600未満
縦筋	600 ≤ D < 900 2 - D10 (9#) 1 冊
	900 ≤ D < 1200 4 - D10 (9#) 2 冊
	1200 ≤ D 4 - D10 (9#) 300出筋
幅止筋	D10 (9#) 1000出筋で割ける

8. 床版

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅補強

(4) 床版開口部の補強 (開口部の径500程度の場合)

床版厚さ D	筋径	冊数
D ≤ 150	筋 2 - D13	冊 1 - D13
150 < D ≤ 200	筋 2 - D13	冊 2 - D13
200 < D ≤ 300	筋 2 - D19	冊 2 - D16

(5) 床版段差

(6) 土間コンクリート

① 継手の土間

② 間仕切り壁との交差部

(7) 端壁

(8) 打ち継ぎ補強 (5m以内打ち継ぎについて)

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に (平面図)

③ 床に (非耐力壁とスラブが接合する場合)

④ 壁と壁 (平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

(3) 手摺、ハラベット

(4) コンクリートブロック積壁

10. 柱、梁増し打ちコンクリート補強

(1) 柱

(2) 梁

増し打ち部面積 (A _{cm²)}	A < 500	500 ≤ A < 1000	1000 ≤ A < 1500
補強筋	3 - D16	4 - D16	6 - D16

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

(2) 鉄筋標準配筋

80 ≤ d ≤ 100	100 < d ≤ 150	150 < d ≤ 250
筋 2 - (2 - D13)	筋 2 - (2 - D13)	筋 4 - (2 - D13)
冊 2 - D13	冊 ST 2 - D13 - #50	冊 ST 2 - D13 - #50
	冊 2 - (2 - D13)	冊 2 - (2 - D13)
	冊 2 - D13 - #50	冊 ST 2 - D13 - #50

12. 増築予定

(1) 柱、梁

(2) 地中梁

(3) 床版、壁

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
 - (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本編に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機
(イ) 交流アーク溶接機 300A ~ 500A (ロ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ハ) アークエアークラウジング機 (直流) (ニ) 溶接電流を測定する電流計
(ヘ) サブマージアーク溶接機 1式 (ホ) 溶接種乾燥機
- (c) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアークラウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
-
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
-
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
-
- (f) 溶接施工
(イ) エンドタブ
1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端面に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
2) エンドタブの材質は、母材と同質とする
3) エンドタブの長さ、MC : 35mm以上
NGC、GC : 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度短く切断して、グラインダー仕上げとする
4) プレス鋼板タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る
-
- (ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
(ハ) スカーラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルールとする
-
- (ニ) 裏はつり
標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を助行し、部材に確認マークをつける
(ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接標準図 (注) f: 余盛 G: ルート間隙 R: フェース S: 脚長 (単位: mm)

(1) スミ肉溶接

t ≤ 16mm			
t	7以下	8~10	11~13
s	6	7	10
t	14~16	17~19	20~22
s	12	13	15

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所) に注意

1/4 ≤ S ≤ 10mm	
t	t > 16mm
溶接姿勢	F、V

(3) 突合せ溶接 (平継手 T型継手)

(イ) 平継手

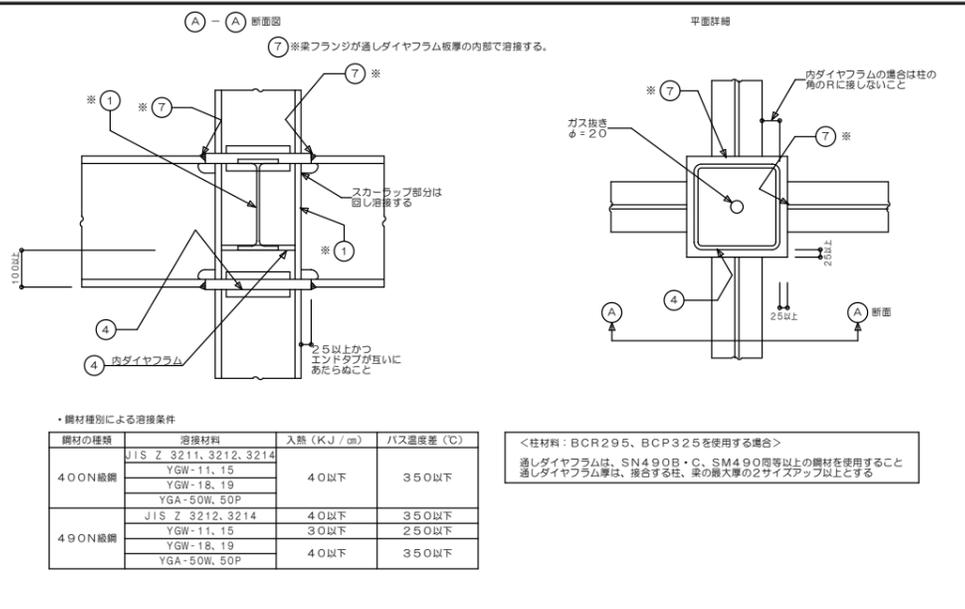
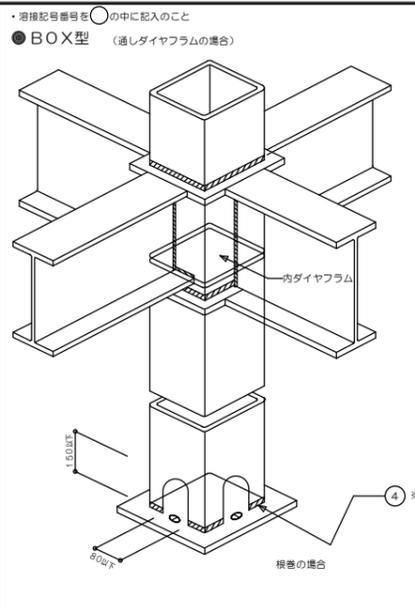
f = t/4	
t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F、V

(ロ) T型継手

f = t/4	
t	12 ≤ t ≤ 19mm
溶接姿勢	F、V

(4) フレア溶接

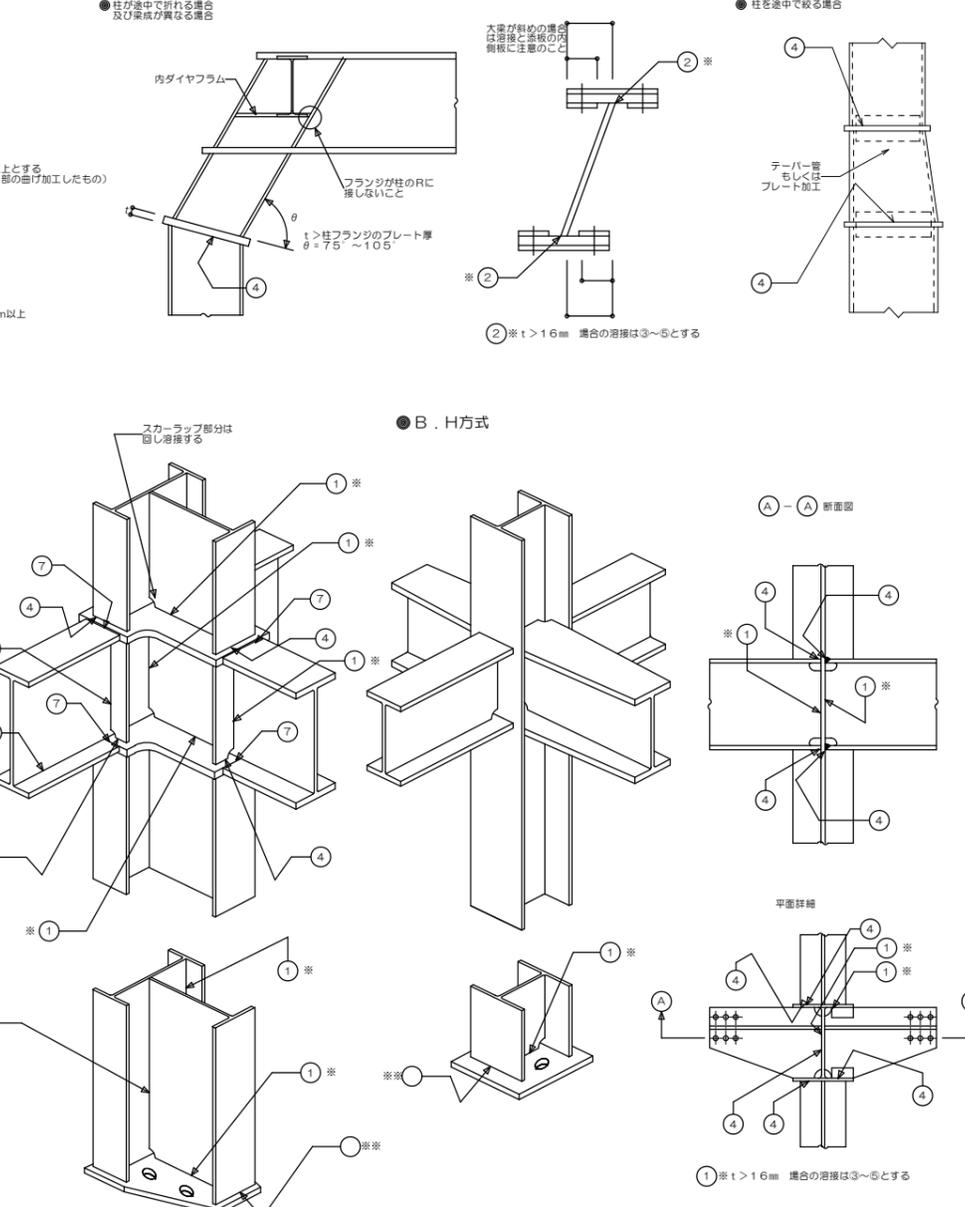
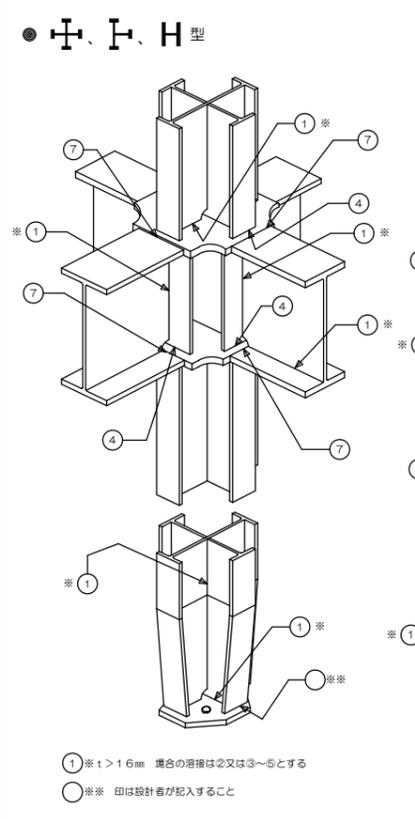
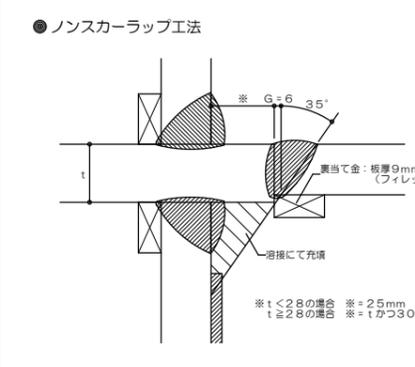
寸法 (mm)	
φ	B
9	7
13	8
16	9
19	10
22	11
25	12



● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		

<柱材料: BCR295、BCP325を使用する場合>
通しダイヤフラムは、SN490B・C、SM490同等以上の鋼材を使用すること
通しダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップ以上とする



ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ) 1/3

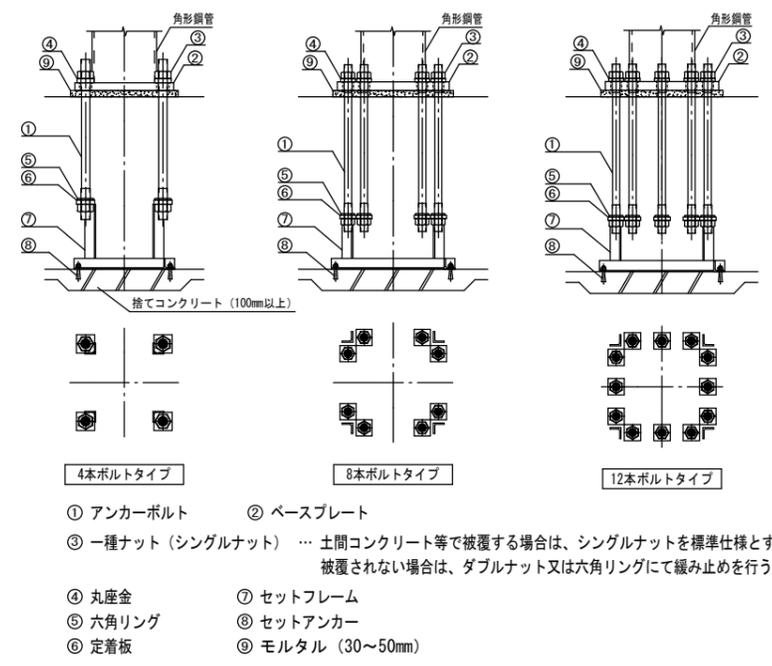
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCG評定-ST0282-01 (2019年9月20日)

国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット) ※ () はミルメーターと加工工場を示す。			
MBLT-0116	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0180	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0144	M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0181	M30~M48 (JFE条鋼・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0164	M52~M76 (JFE条鋼・アイエスケ-前橋工場)		

適用柱材	
F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²	
2020年8月作成	

アイエスケ-株式会社
 (大阪本社) TEL 06-6449-0881 FAX 06-6449-0877
 (東京支店) TEL 03-5251-5545 FAX 03-5251-5226

1. 構造概要



3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト
 材料：大臣認定材料 (ISB740C, ISB740E, ISB800B)

品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	-	-	595	100
A21	M30	3.5	28.0	-	-	605	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	-	675	130
A34						825	
A41	M42	4.5	38.92	38.8	-	745	145
A42						845	
A43						945	
A44						1045	
A52	M48	5.0	45.0	-	-	1015	160
A53						1115	
A61	M52	5.0	-	49.0	-	1100	185
A62						1200	
A71	M56	5.5	-	52.0	-	1165	195
A72						1265	
A81	M60	5.5	-	56.0	-	1230	205
A91						1295	
A92	M64	6.0	-	60.0	-	1395	215
AA1						1360	
AA2	M68	6.0	-	64.0	-	1460	225
AB1						1425	
AC1	M76	6.0	-	71.8	-	1490	245
						245	

3-2. ナット
 種類：1種六角ナット JIS B 1181
 強度区分：JIS B 1052 8 (M48以下)
 強度区分：JIS B 1052 10 (M52以上)

3-3. 丸座金
 材質：一般構造用圧延鋼材 SS400

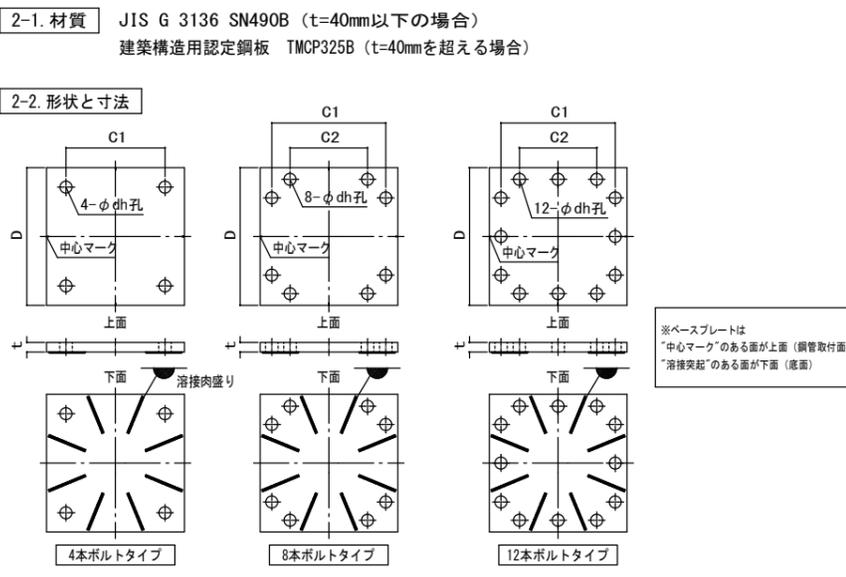
3-4. 定着板
 材質：一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
 溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)

呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

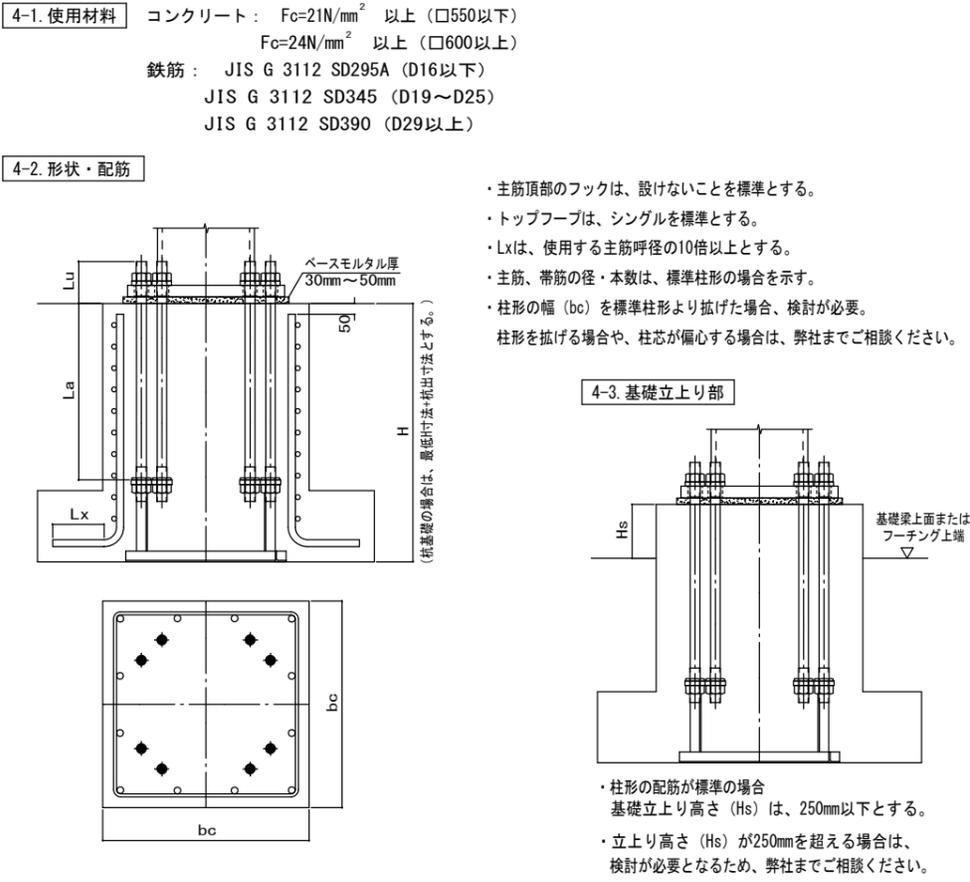
3-5. 六角リング
 材質：JIS G3131 SPHC

呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

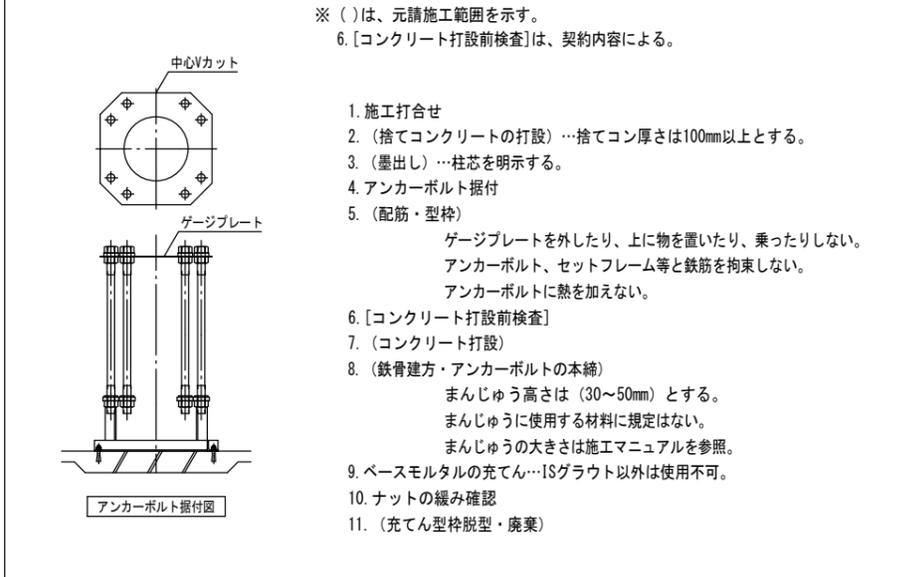
2. ベースプレート



4. コンクリート柱形



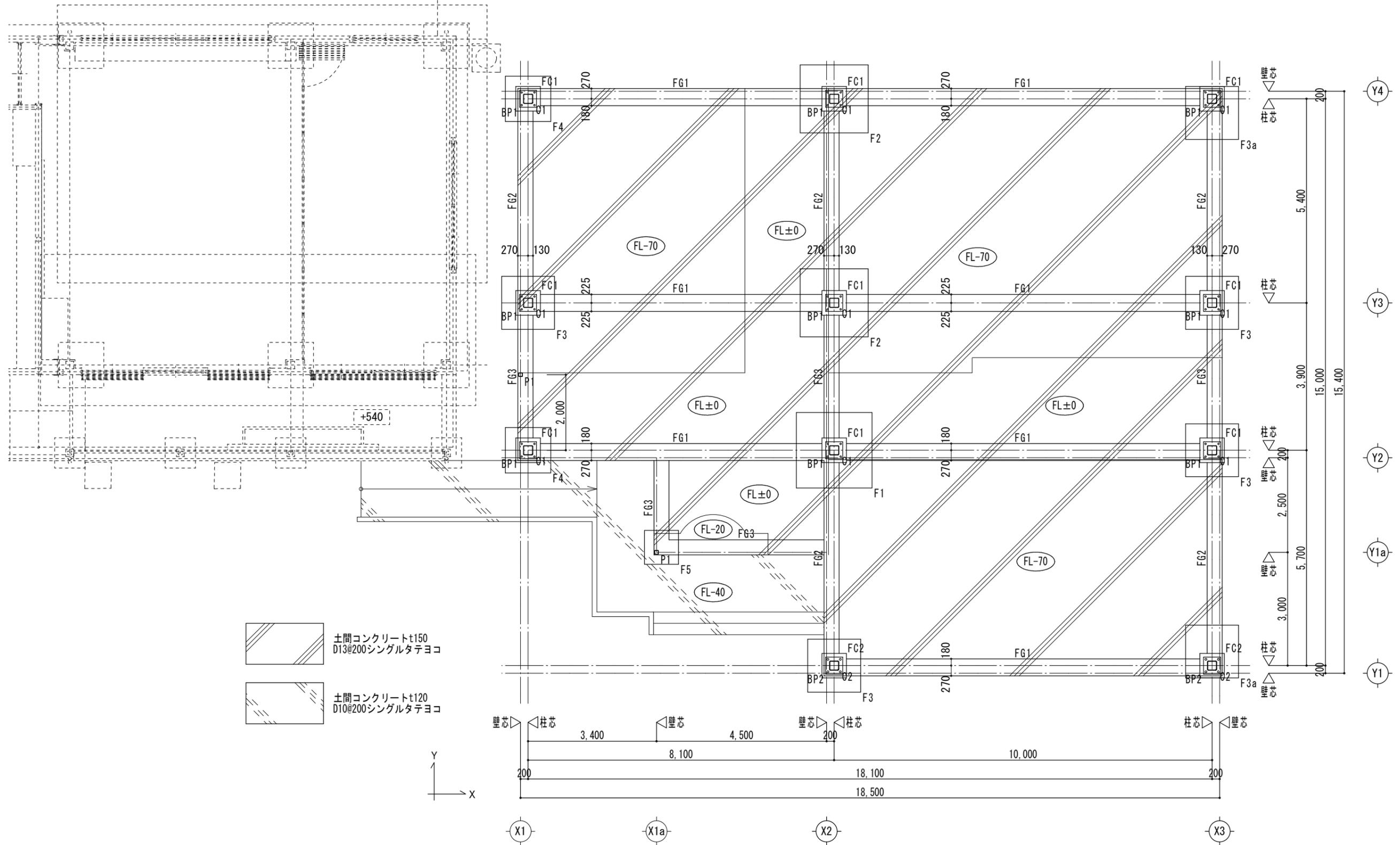
5. 施工



6. 施工管理

・ISベースの施工 (アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん) は、弊社が認定した施工者が行う。
 ・施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
 ・材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
 ・アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

既設 ← ○ → 増築



-  土間コンクリートt150
D13@200シングルタテヨコ
-  土間コンクリートt120
D10@200シングルタテヨコ

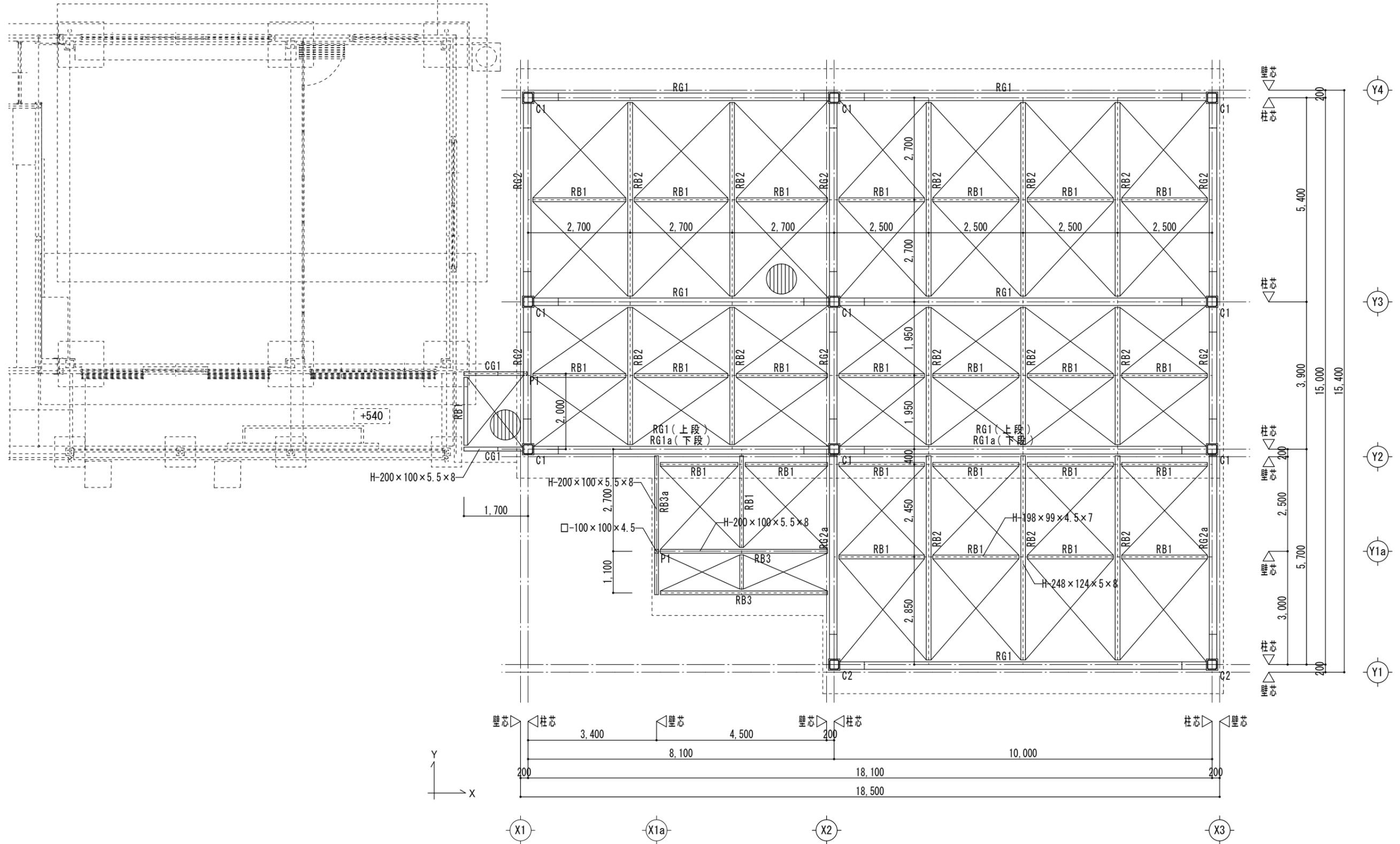
基礎伏図 S=1/100

数字 土間天高さを示す

※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所		一般建築士登録番号 第143379号	工事名
TEL:059-226-0199 FAX:059-226-6115		伊藤 公	和田保育園舎増築工事
日付	担当	承認	図面名
			基礎伏図
			縮尺
			A3:S=1/100
			図面番号
			S-07

既設 ← ○ → 増築

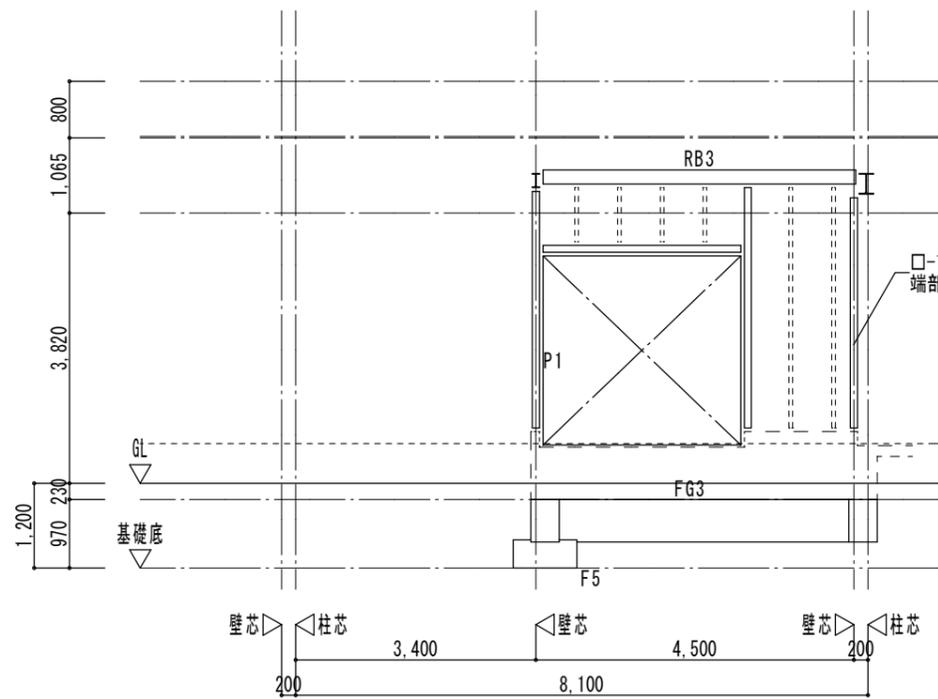


梁伏図 S=1/100

折板方向を示す

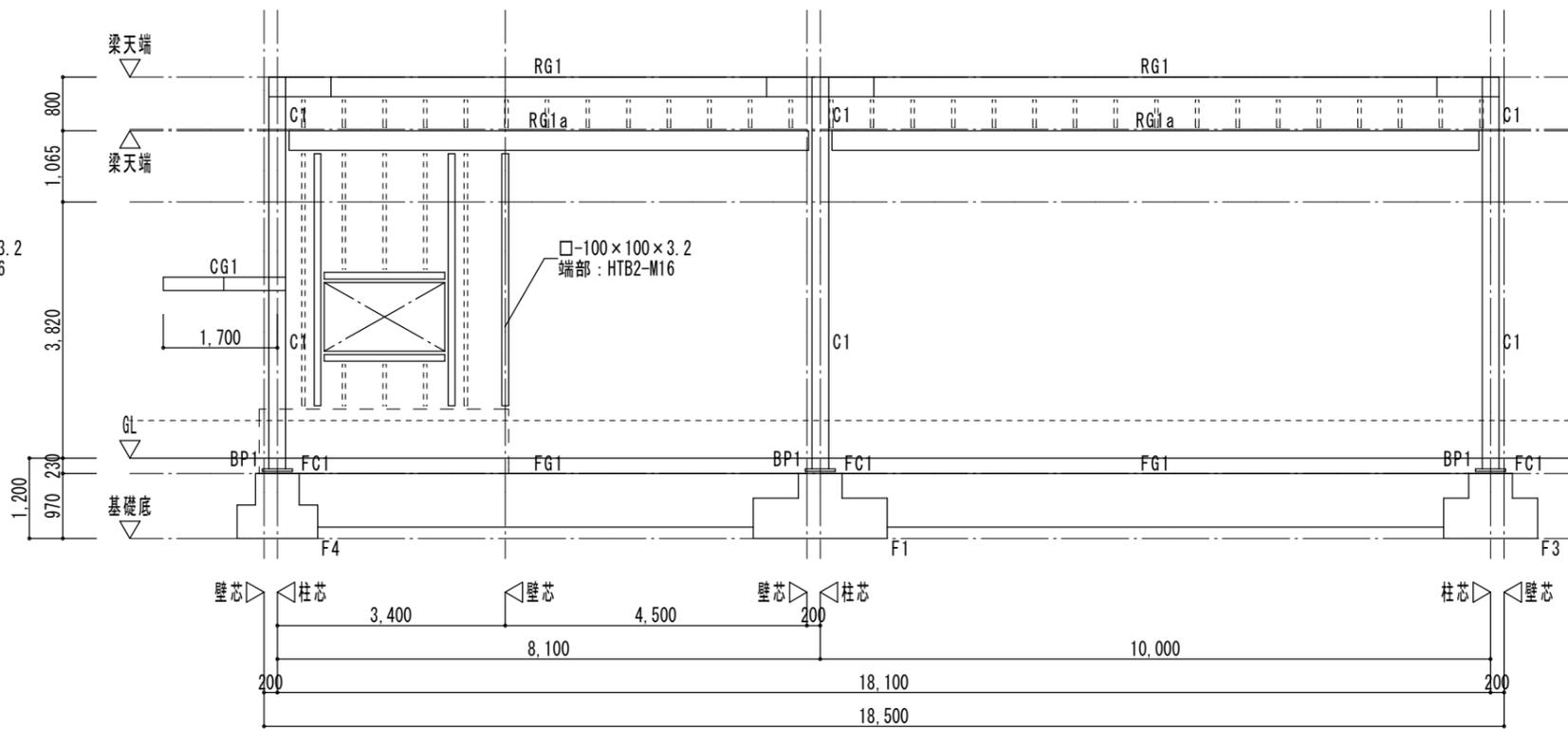
※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所		一般建築士登録番号 第143379号	工事名
TEL:059-226-0199 FAX:059-226-6115		伊藤 公	和田保育園舎増築工事
日付	担当	承認	図面名
			梁伏図
			縮尺
			A3:S=1/100
			図面番号
			S-08



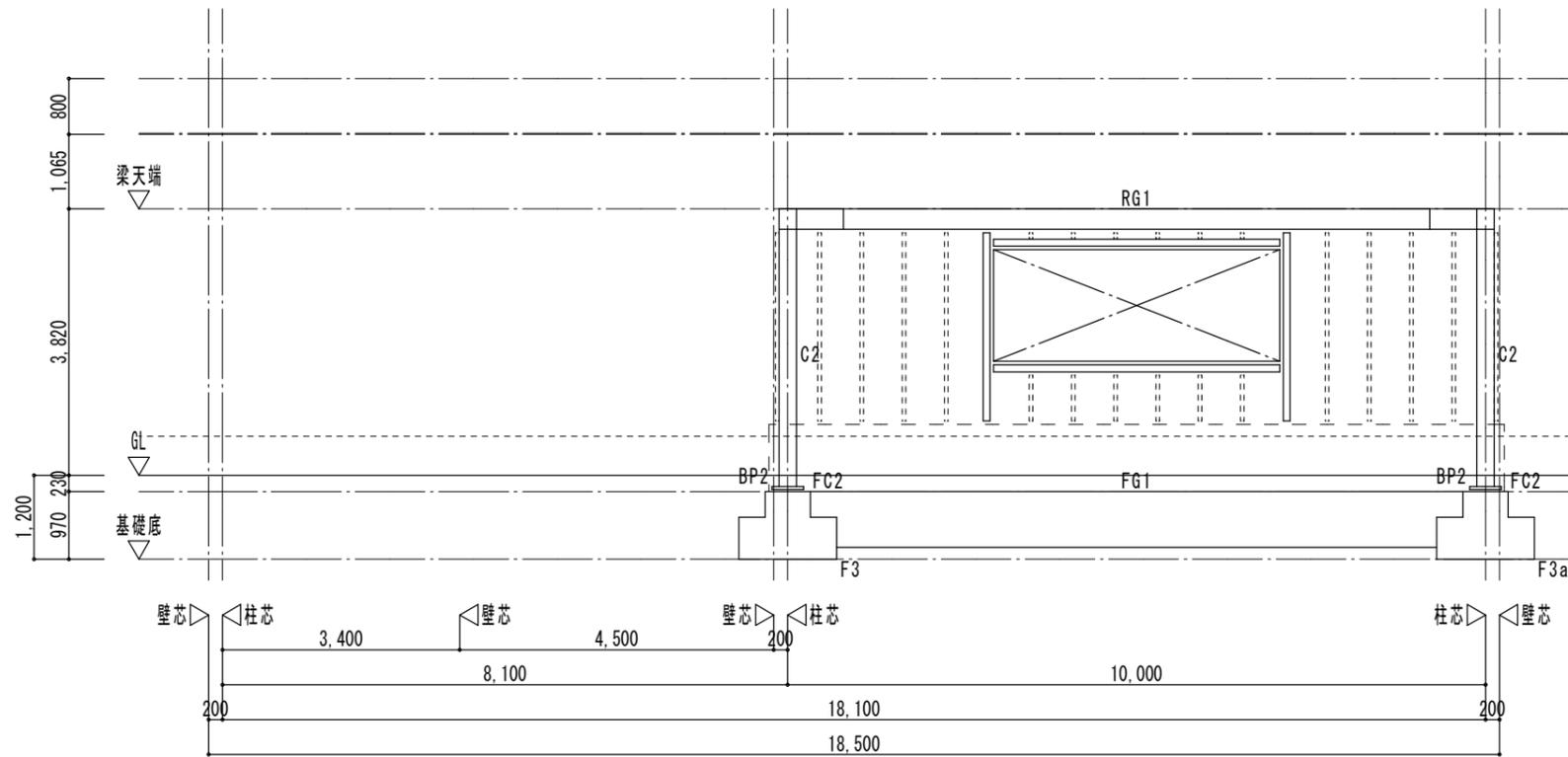
X1 X1a X2

Y1a通り軸組図 S=1/100



X1 X1a X2 X3

Y2通り軸組図 S=1/100



X1 X1a X2 X3

Y1通り軸組図 S=1/100

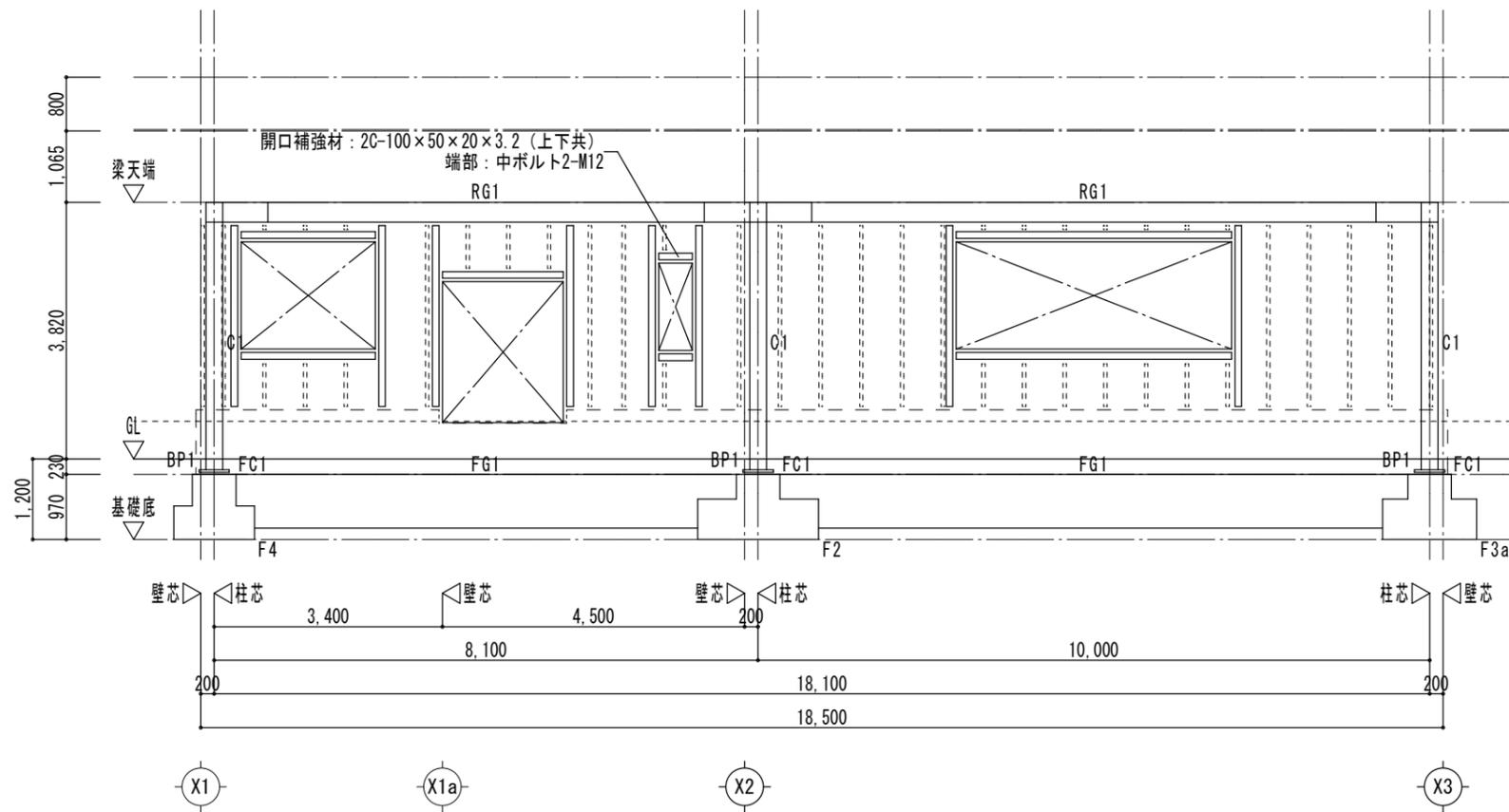
※注記

特記無き梁継手位置は、柱芯から800mmの位置とする

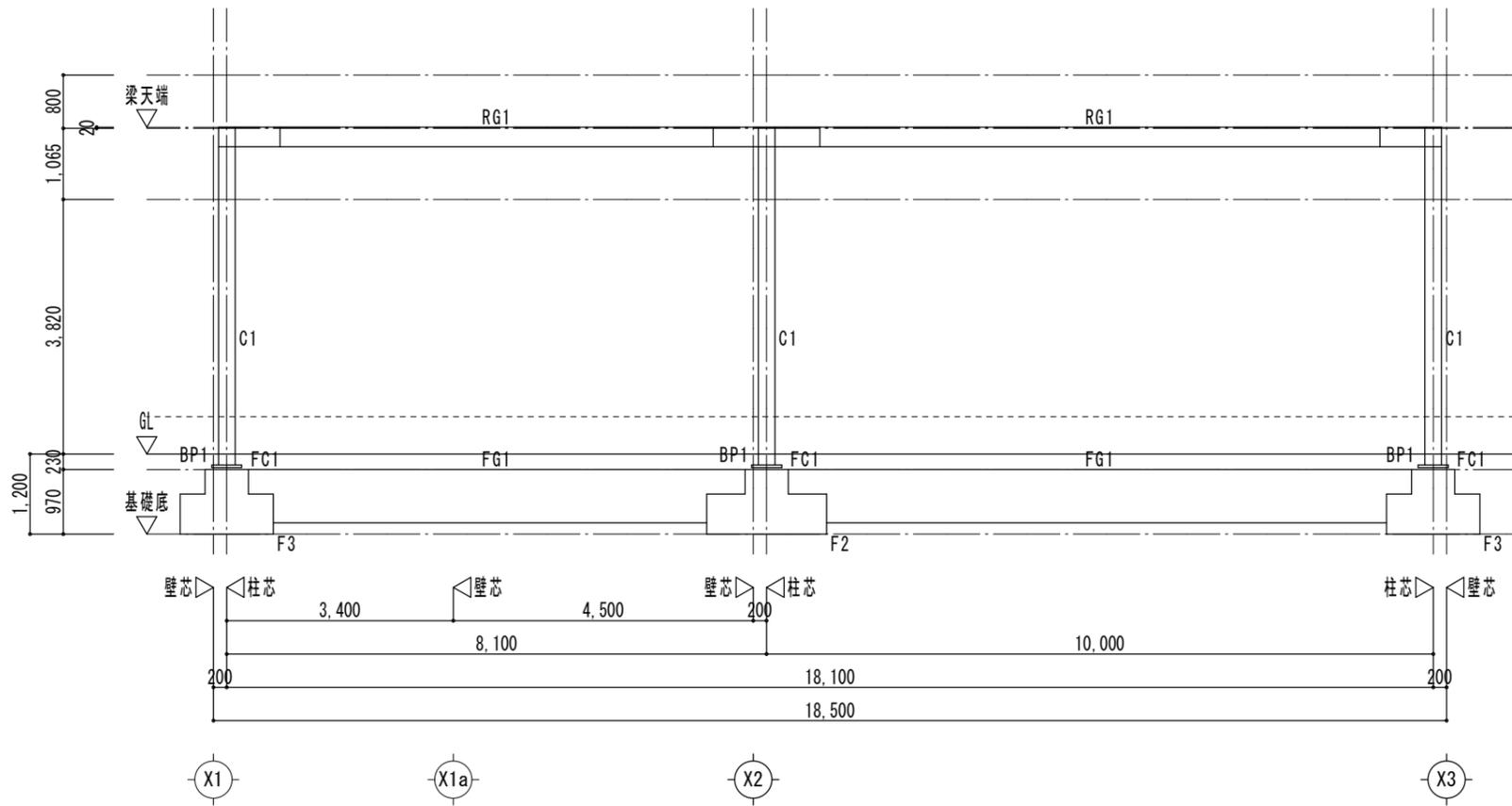
株式会社 中部都市建築設計事務所 一般建築士登録番号 第143379号
TEL:059-226-0199 FAX:059-226-6115 伊藤 公

工事名
和田保育園園舎増築工事

日付	担当	承認	図面名	縮尺	図面番号
			軸組図1	A3:S=1/100	S-09



Y4通り軸組図 S=1/100



Y3通り軸組図 S=1/100

※注記

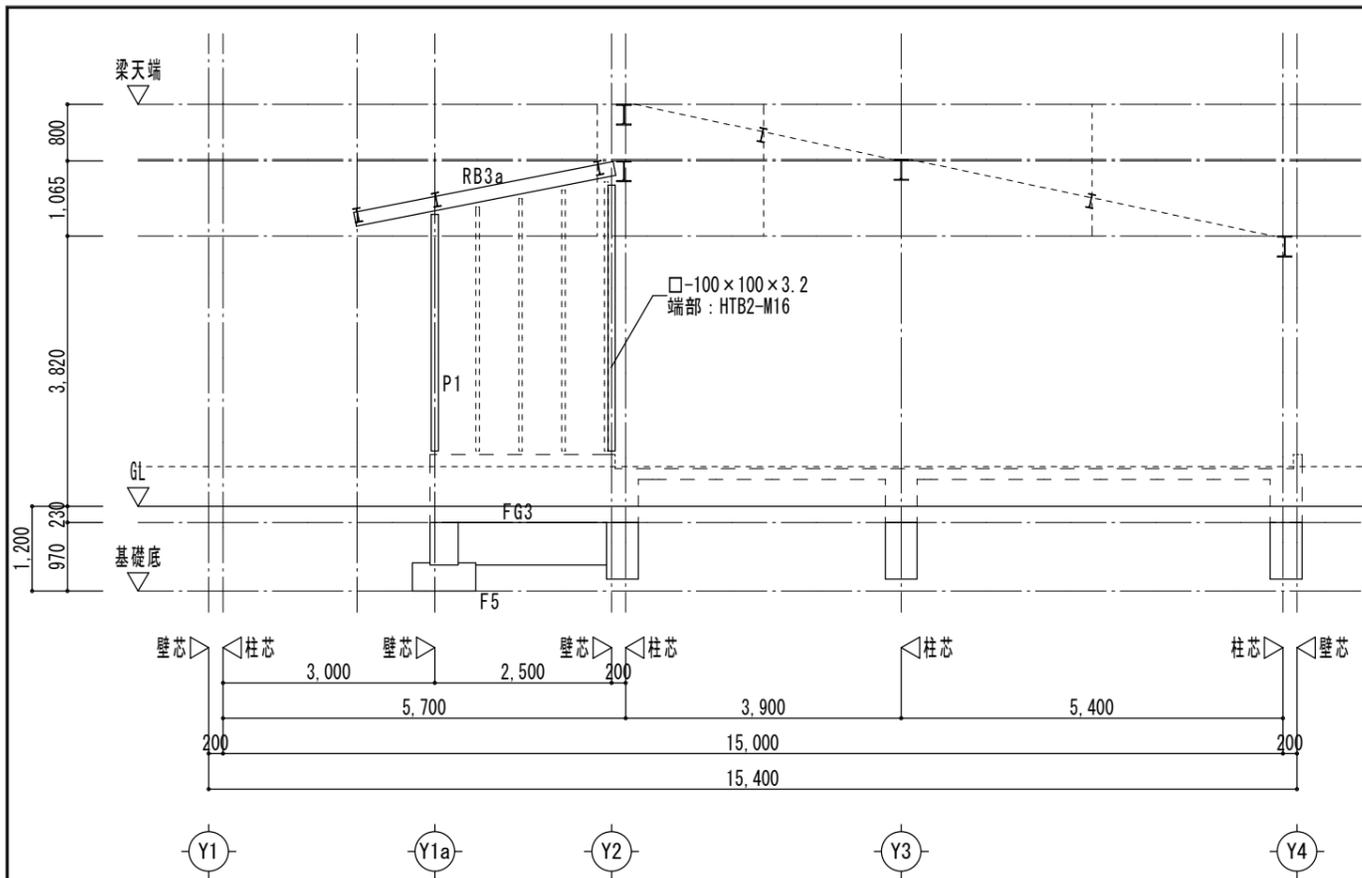
特記無き梁継手位置は、柱芯から800mmの位置とする

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号
TEL: 059-226-0199 FAX: 059-226-6115 伊藤 公

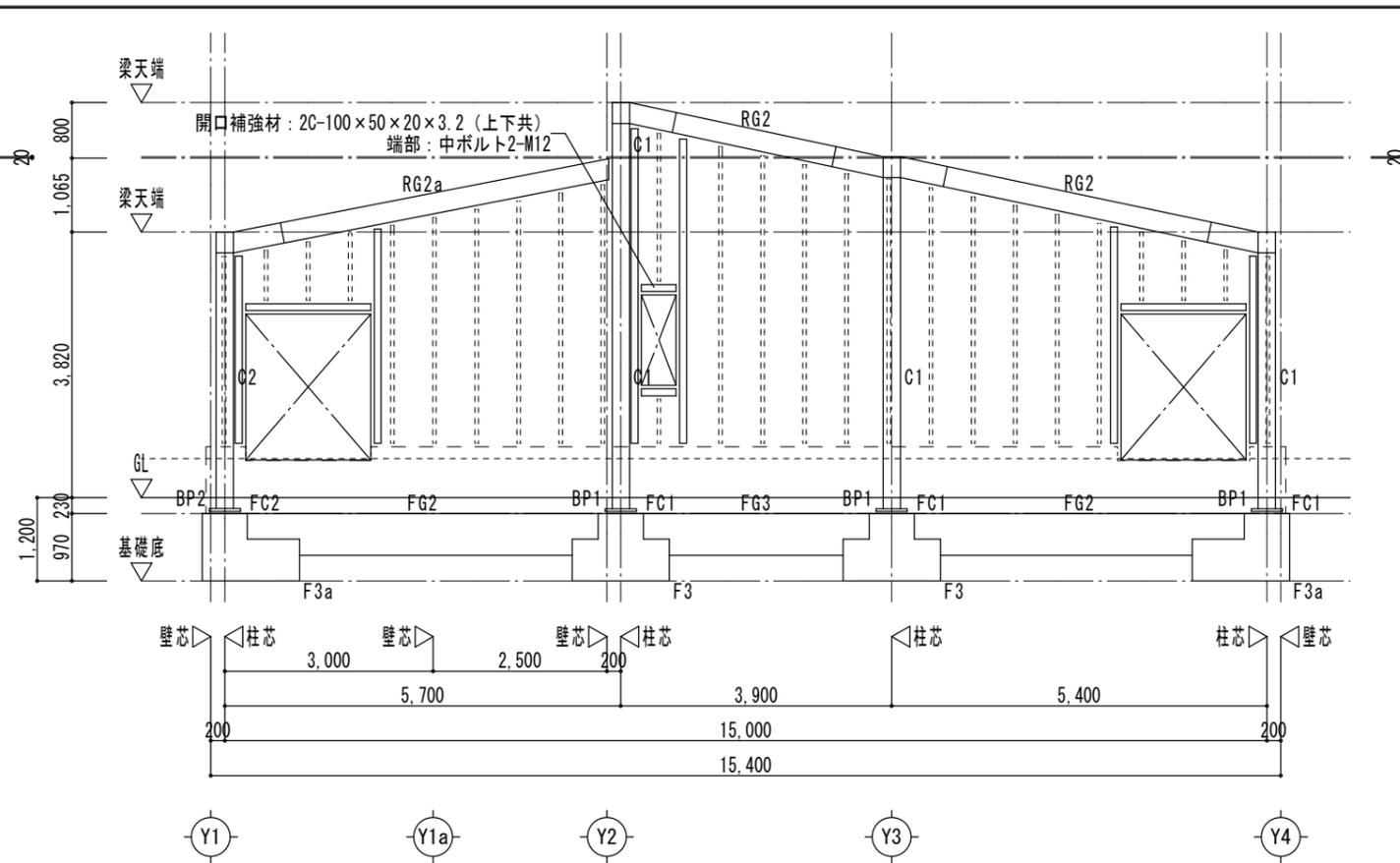
工事名
和田保育園舎増築工事

日付	担当	承認	縮尺	図面番号
			A3:S=1/100	S-10

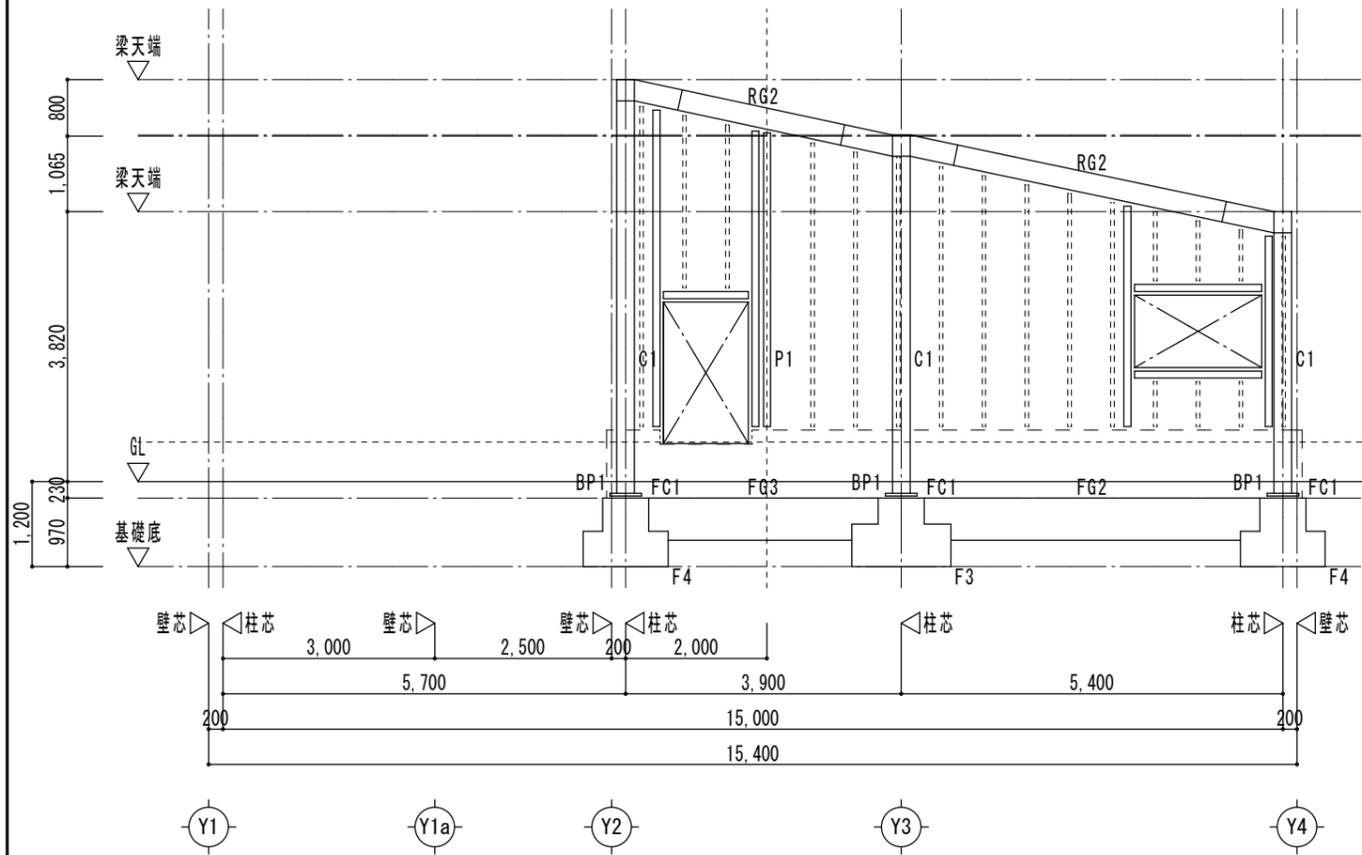
軸組図2



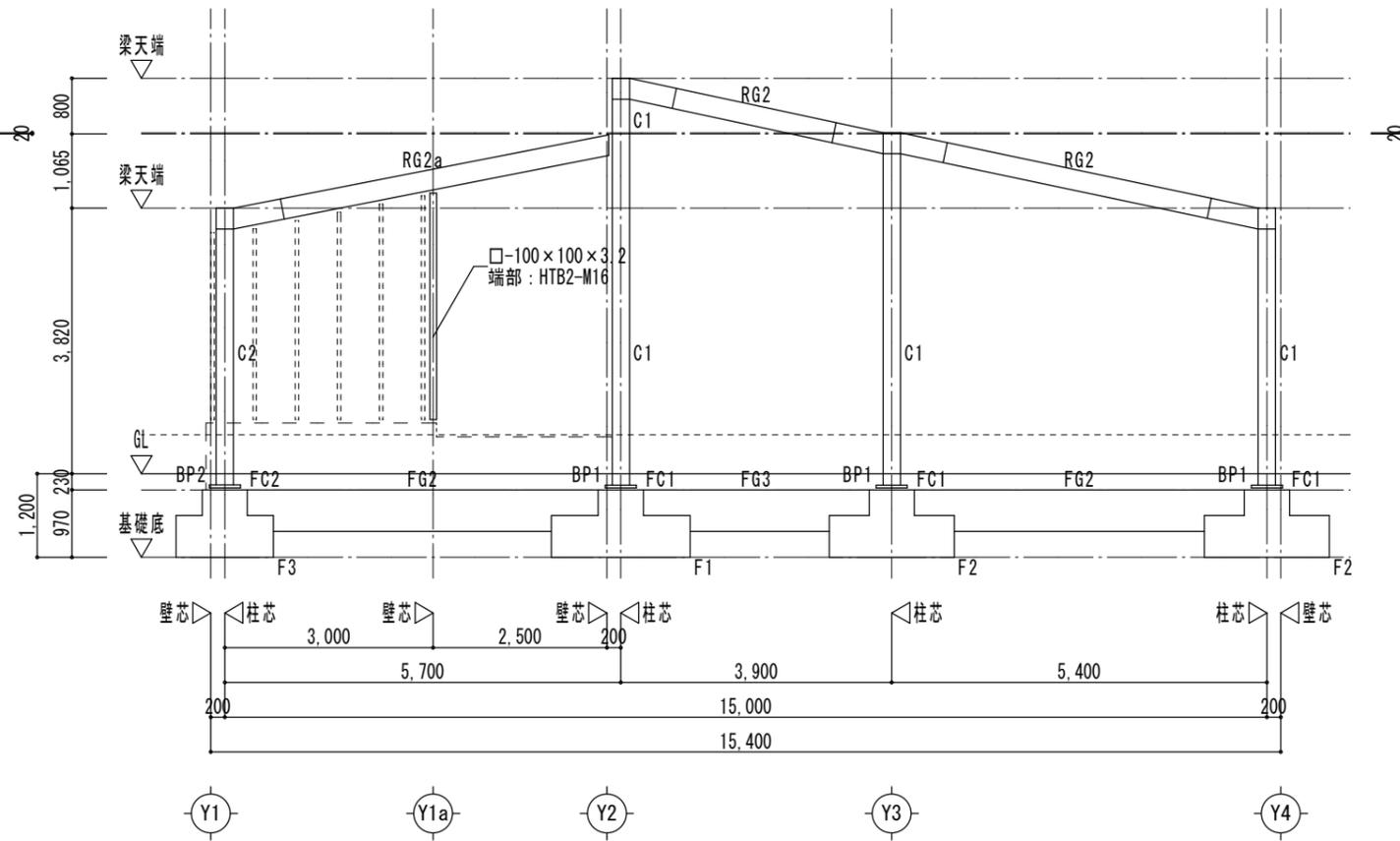
X1a通り軸組図 S=1/100



X3通り軸組図 S=1/100



X1通り軸組図 S=1/100

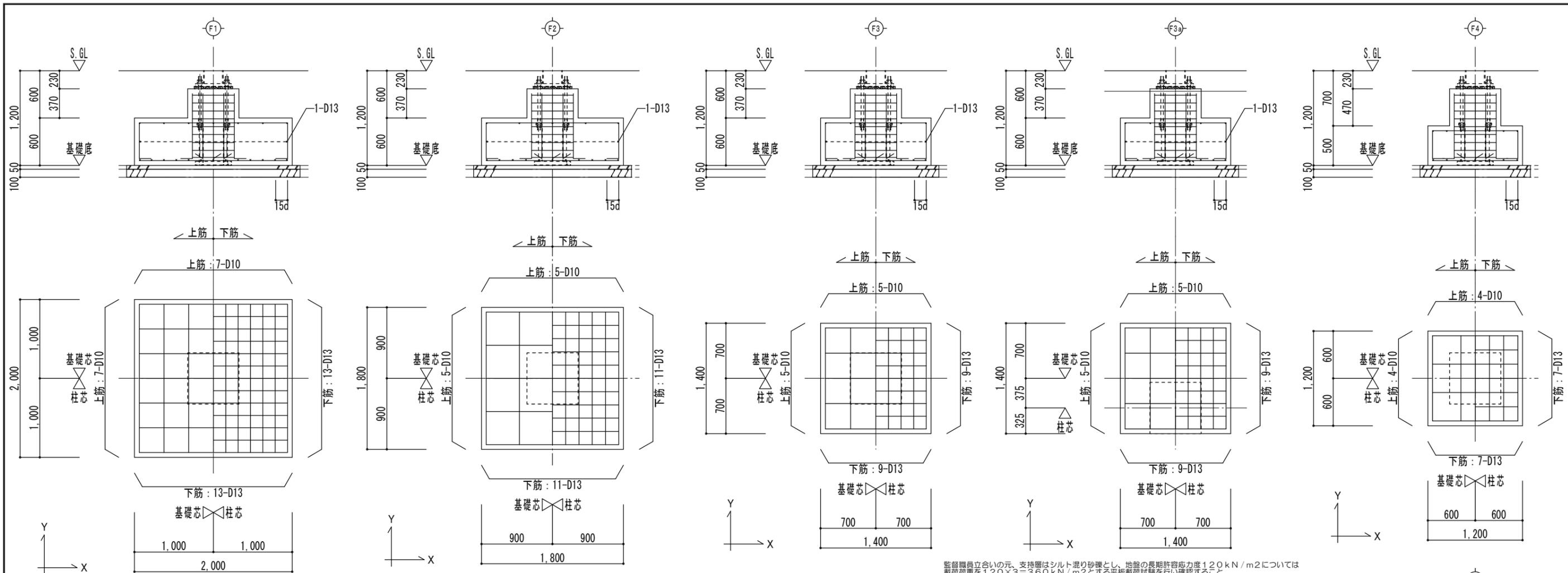


X2通り軸組図 S=1/100

※注記

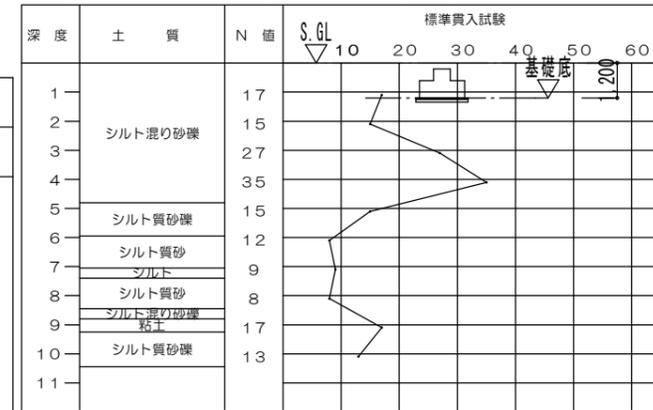
特記無き梁継手位置は、柱芯から800mmの位置とする

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-6115		一級建築士登録番号 第143379号 伊藤 公	工事名 和田保育園園舎増築工事
日付	担当	承認	縮尺 軸組図3
			図面番号 A3:S=1/100 S-11



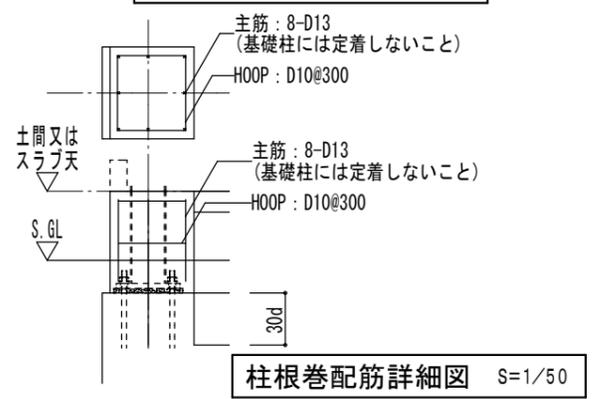
基礎詳細図 S=1/50

監督職員立合いの元、支持層はシルト混り砂礫とし、地盤の長期許容応力度120kN/m²については
 載荷荷重を120×3=360kN/m²とする平板載荷試験を行い確認すること。



ボーリング柱状図

地中梁リスト		FG1	FG2	FG3
符号		FG1	FG2	FG3
断面		主筋: 3-D19 STP: D13@150 1-D13 D13@200タテヨコ共 1FL S.G.L. FG天端 450	主筋: 3-D16 STP: D13@150 1-D13 D13@200タテヨコ共 1FL S.G.L. FG天端 400	主筋: 3-D16 STP: D13@150 1-D13 D13@200タテヨコ共 1FL S.G.L. FG天端 400
B×D		450×800	400×600	400×600
上筋		6-D22	4-D19	4-D19
下筋		6-D22	4-D19	4-D19
S T P		2-D13@150	2-D13@150	2-D13@150
腹筋		2-D10	2-D10	2-D10
巾止筋		D10@1000以内	D10@1000以内	D10@1000以内



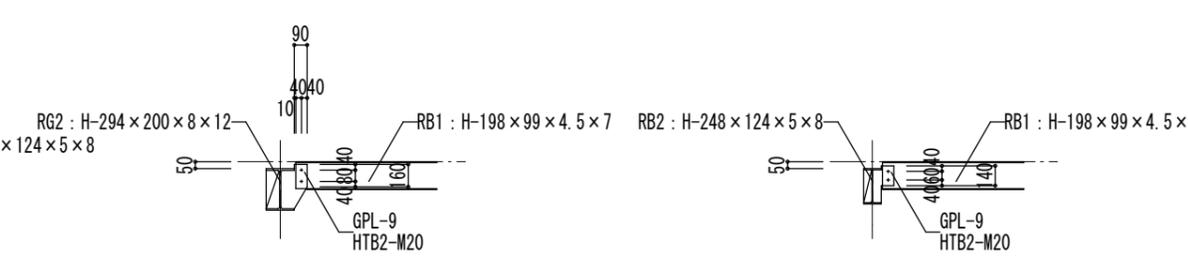
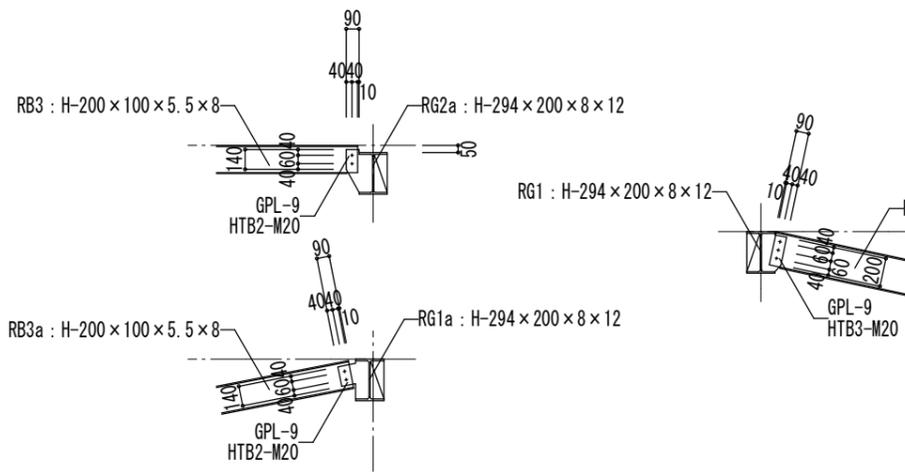
柱根巻配筋詳細図 S=1/50

符号	BP1	BP2	
名称	ISベース SP252	ISベース SP253	
図			
	ベースプレート	450×450×36	450×450×40
	アンカーボルト	4-M36	4-M42
コンクリート柱断面	FC1: 650×650	FC2: 650×650	
立上り筋	16-D19 (SD345)	20-D19 (SD345)	
フープ筋	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	

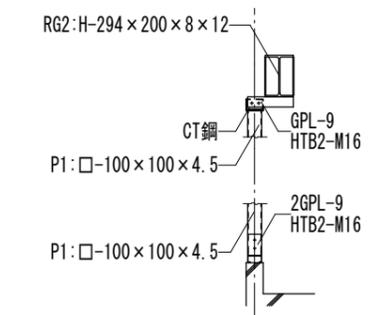
梁リスト (特記無きはSS400)			ボルト径	フランジ		ウェブ		
符号	位置	部材		ボルト本数	外プレート厚×長さ (mm)	内プレート厚×幅 (mm)	ボルト本数	プレート厚×幅×長さ (mm)
RG1, RG2, RG2a	全断面	H-294×200×8×12 (SN400B)	M20	3×2	9×410	9×80	3×1	9×200×170
RG1a	全断面	H-294×200×8×12 (SN400B)	M20	-			3×1	9×200×90
CG1	全断面	H-200×100×5.5×8 (SN400B)	M16	2×2	16×290	-	2×1	6×140×170
RB1	全断面	H-198×99×4.5×7		小梁継手詳細図による				
RB2	全断面	H-248×124×5×8		小梁継手詳細図による				
RB3, RB3a	全断面	H-200×100×5.5×8		小梁継手詳細図による				

柱リスト				
符号	部材	符号	柱脚	柱頭
C1	□-250×250×9 (BCR295)	BP1	ISベース SP252	-
C2	□-250×250×12 (BCR295)	BP2	ISベース SP253	-
P1	□-100×100×4.5 (STKR400)		GPL-9 HTB2-M16	GPL-9 HTB2-M16

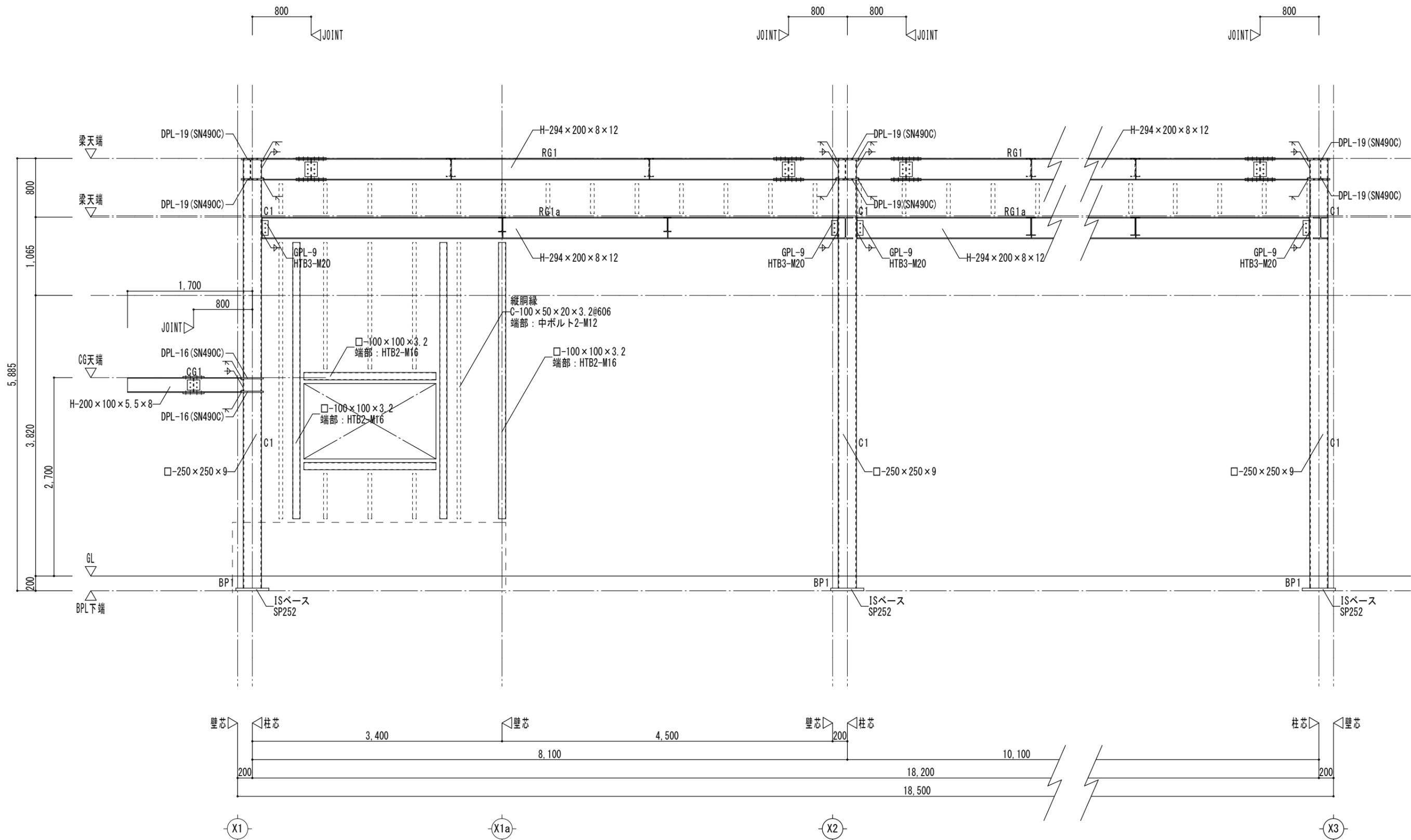
その他部材リスト (特記無きはSS400, SSC400)	
ダイヤフラム	通しダイヤフラム: SN490C
水平ブレース	ターンバックル付きブレースM16 GPL-9 HTB1-M16
縦胴縁	C-100×50×20×3.2@606 端部: 中ボルト2-M12
開口補強材	軸組図特記以外: □-100×100×3.2 端部: HTB2-M16



小梁継手詳細図 S=1/50

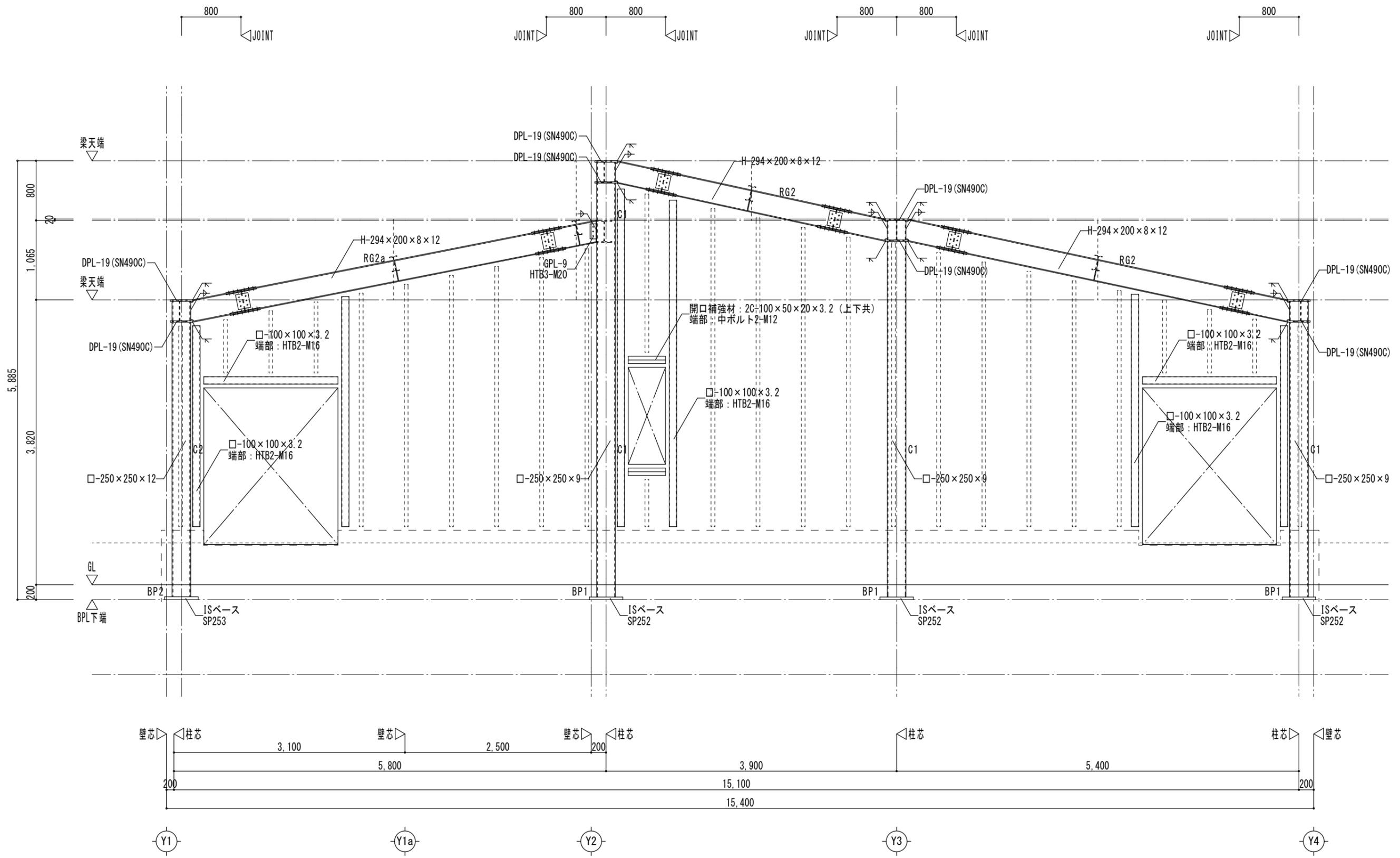


仕口・柱脚標準図



Y2通り軸組図 S=1/100

※注記	株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号				工事名	
	TEL:059-226-0199 FAX:059-226-6115 伊藤 公				和田保育園舎増築工事	
	日付	担当	承認	図面名	縮尺	図面番号
				鉄骨詳細図1	A3:S=1/50	S-14



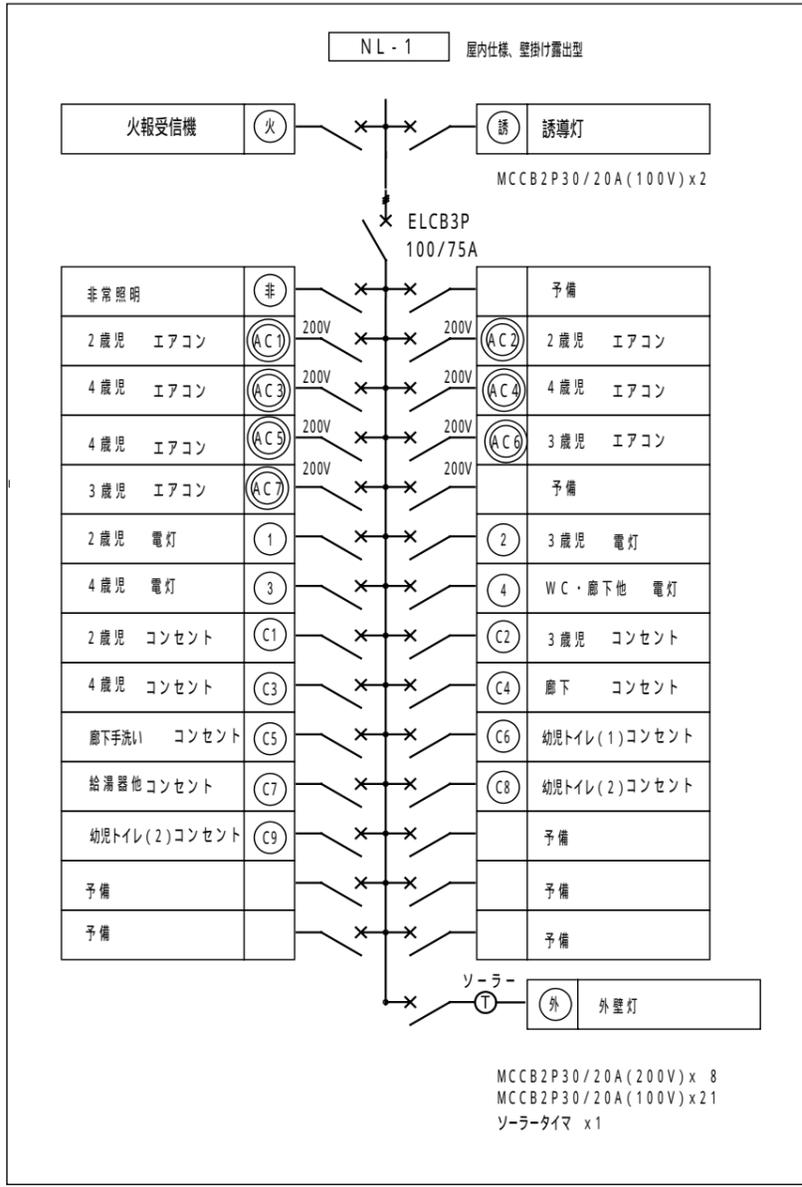
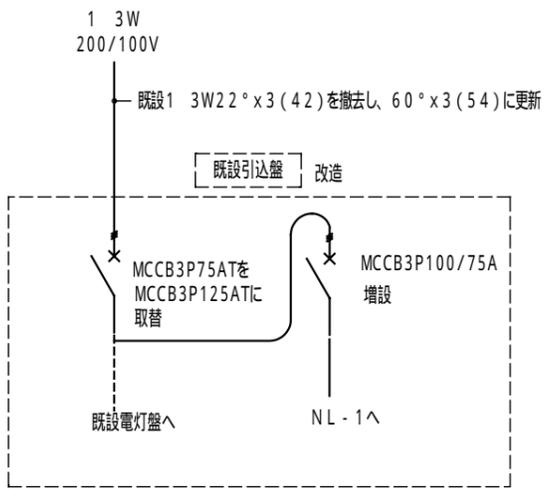
X3通り軸組図 S=1/100

※注記

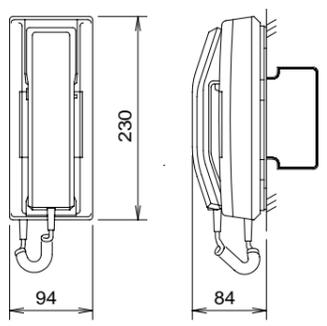
株式会社 中部都市建築設計事務所		一級建築士登録番号 第143379号	工事名
TEL: 059-226-0199 FAX: 059-226-5115		伊藤 公	和田保育園舎増築工事
日付	担当	承認	図面名
			鉄骨詳細図2
			縮尺
			A3:S=1/50
			図面番号
			S-15

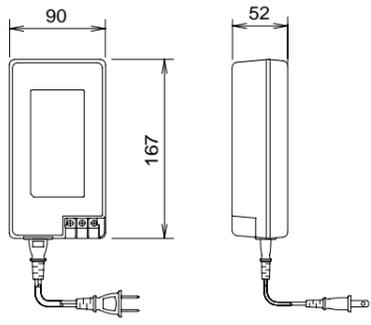
<p>施工仕様</p>	<p>既設設備等の調査 既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。</p> <p>(1) 地中埋設管路 1) 項目 埋設配管・構造物・その他() 2) 調査範囲 埋設ルート・その他()</p> <p>(2) 貫通及びはつり 1) 項目 鉄筋 配管・その他() 2) 調査範囲 施工部分・その他()</p> <p>(3) 既設との取合い 1) 項目 接続箇所・増設箇所・その他() 2) 調査範囲 施工部分・その他()</p> <p>施工前の測定等 改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に、監督員に報告すること。</p> <p>耐震措置 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(平成25年版)」による。</p> <p>(1) 設計用水平地震力 機器の重量〔kN〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとす。 なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。</p> <p>設計用標準水平震度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地下、1階</td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【備考】・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類は燃料小出槽を含む。</p> <p>重要機器は次のものを示す。 配電盤 発電装置(防災用) 直流電源装置 交流無停電電源装置 交換機 自動火災報知受信機 中央監視制御装置</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>はつり (1) 穴開け及び補修 なし あり(貫通箇所及び口径は別図による) (2) 溝のはつり及び補修 なし あり(はつり深さは別図による)</p> <p>インサート インサートの取付けに使用した釘等は除去し、錆止め塗装を行う。</p> <p>あと施工アンカー (1) 種類 ・接着系アンカー(・カプセル方式 ・注込方式) ・金属系アンカー(・打込み方式 ・締付け方式) ・その他のアンカー類() (2) 性能及び施工確認 ・行方 ・行わない</p> <p>基礎の配線ビット 基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等を考慮する。</p> <p>防火区画等の貫通 防火区画等の貫通部は、関係法令に適合したもので、貫通部に適合した方法で、防火処理を行う。</p> <p>管路等の外壁貫通 外壁を貫通する管路等は、屋内に水が浸入しないよう防水処置を施す。</p> <p>配管・配線の耐震耐震処置 建物引込部の配管の耐震処置 ・行方 ・行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行方 ・行わない</p> <p>最上階の埋込配管 最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。</p> <p>露出配管 (1) 雨除けなど水のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 附属品は、ねじ込み形を使用する。 (3) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (4) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (5) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。</p> <p>屋上の露出配管等 屋上の露出配管は、防水層を傷つけないようふ設する。</p> <p>合成樹脂管 (1) 合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P F 管)</p> <p>予備配管等 (1) 埋込型分電盤からの立上り予備配管は、予備回路が4回路以下は(P F 2 2)を1本、5回路以上は(P F 2 2)を2本施工する。 スラブ天井の場合は、天井又は梁下200mmまで立上げ、位置ボックスを取付ける。 また、二重天井の場合は、天井まで立上げ、位置ボックスを取付ける。 (2) 防犯主装置、自動火災報知受信機、MDF、警報器等の間に移移のための空配管を行う。</p> <p>金属製電線管等の塗装 (1) 露出配管、露出ボックス、鋼製ボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 1) 屋外、屋内(電気室、機械室、E P S、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。 2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。 ただし、図面に指示がある場合はその指示による。 3) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。) 4) 仮付貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。 (2) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて割合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出ボックスは指定色焼付塗装とする。</p> <p>導入線 通線を行わない配管及び配線引き後にとなくなった配管には、導入線(1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。</p>	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	地下、1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	<p>予備スリーブ 梁下に配管・配線スペースがない梁には、1スパンに2本程度を予備スリーブとして埋込む。 なお、防火区画貫通スリーブは、防火区画処理を行うこと。</p> <p>ボックス類 位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。</p> <p>軽量間仕切のボックス 軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。</p> <p>ブルボックス (1) 屋外形、特殊な形状又は一辺が800mm以上のものは、製作図を提出すること。 (2) 屋外形ブルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコナグを行う。</p> <p>ボルト・ナット類 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないものはステンレス・溶融亜鉛メッキ仕上げ</p> <p>環境に配慮した電線の採用 電線、ケーブル及び通信線はEM(エコマテリアル)ケーブルを使用すること。</p> <p>ケーブル及び配線 (1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。)を取り付ける。 ケーブルがスラブを貫通する部分 ケーブル分岐部分 変電所内のケーブル引出し部分 盤内及び接地端子箱の外部引込み部分 屋内の直線部分は、3.0mごと ブルボックス内 屋外の共同溝等の直線部分は、5.0mごと 屋外の地中管路より建物内への引込み部分 マンホール及びハンドホールごと</p> <p>(2) ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所</p> <p>開口部布設のケーブル保護 貫通穴等の開口部にケーブルを通す場合には、ケーブル損傷を防ぐためシール材を充填するなどのケーブル保護を行うこと。</p> <p>配線器具の設置 (1) 配線器具(コンセント、スイッチ等)には電圧、用途などの表示を行う。 なお、表示内容については、監督員と調整を行う。 (2) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (3) 電源の種類により色を区別する。 (4) 公共住宅の住戸部分に設置するスイッチ・コンセントは原則として表示付とし、特記なきスイッチはワイドスイッチとする。 (5) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (6) プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。 (7) カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を突装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (8) フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。</p> <p>照明器具の設置 (1) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (2) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (3) 天井下材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (4) バイブ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。</p> <p>照明制御装置の設定 照明器具の光センサー制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。</p> <p>照明改修の際の測定 対象家の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所() 測定回数 前後各()回</p> <p>換気扇 手や物が届く箇所やカーテン等が付く箇所には、格子ガードを付けること。 また、金属製パネルに設置する場合は、絶縁棒等を使用する。</p> <p>分電盤、制御盤、キュービクル等 図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>受変電設備、発電設備の設置場所 (1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。 (3) 屋外に設置する場合は、機器及び基礎の質量を求め、地盤の許容耐力を確認し、結果を監督員に提出する。 なお、地盤改良を行う場合は、工法について監督員と協議する。 (4) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (5) 電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。</p> <p>発電設備の燃料配管 (1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。</p> <p>非常放送設備のスピーカー設置 (1) 放送区域の各部からスピーカーまでの水平距離は10m以内とする。 (2) 階段等にスピーカーを設置する場合は、垂直距離1.5m以内とする。 (3) 増幅器からスピーカーまでの配線及び非常電話の配線は、各系統ごとに独立させ、共通線方式は用いない。</p> <p>土工事 (1) 埋戻しの材料及び工法 ・B種 (材料:根切り土中の良質土 / 工法:機器による締め固め) ・その他() ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2) 特記なき地中埋設配管の深さは、GL 600mm以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は掘削、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。 (4) 機械掘削は根切り底を乱さないようにする。</p> <p>ハンドホール、マンホール 高さ900mmを超えるものにあつては、クラップ付とする。 なお、クラップの取付は450mm間隔以内とする。</p> <p>地中配線路の表示杭 下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 建物への引込口及び送出口付近 マンホール・ハンドホール付近 地中線路の曲折箇所 道路横断面所 直線部分では3.0m程度に1個(3.0mに満たない部分はその間に1個)</p>	<p>【電力設備】 電灯設備 (1) 電気方式 1) 種別 幹線 ・単相3線式(200/100V) 分枝 ・単相2線式(200/100V) 2) 周波数 60Hz (2) 既設等との取合い ・無し 盤改造 ・配線接続 ・電源供給 ・その他() (3) 機器類 一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯(単独設置) コンセント等 分電盤、制御盤等 ・その他()</p> <p>(4) 一般照明器具 1) 形式 公共型 一般型 2) 灯具 LED灯 ・その他() 3) 用途 屋内用 屋外用 防災用 4) 環境 普通地域 ・災害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 (5) 照明制御装置 1) センサ類 明るさセンサ 人感センサ タイマ ・調光スイッチ ・その他() 2) 調光方式 ・連続調光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他() 3) 制御方式 ・有線 ・無線通信 (6) 外灯(単独設置) 1) 照明用ポール 材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他() 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 3) 灯具 ・LED灯 ・その他() 4) 電源 ・高用電源(60Hz) ・200V ・100V ・その他() 5) 制御 ・Eスイッチ ・タイマ ・その他() 6) 接地 ・単独接地(・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用 ・その他()</p> <p>(7) コンセント等 一般型 防水型 ・ハイテンションアウトレット(・固定型 ・上下大型(アップ式を含む))</p> <p>(8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>動力設備 (1) 電気方式 1) 種別 幹線 ・三相3線式(・200V ・()V) 分枝 ・三相3線式(・200V ・()V) 2) 周波数 60Hz (2) 既設との取合い ・無し 盤改造 ・配線接続 ・その他() (3) 機器類 ・分電盤、制御盤等 ・その他() (4) 負荷設備 ・給水 ・排水 ・消火 ・空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 ・その他()</p> <p>(5) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (6) 電動機等の接地 ・専用接地 ・金属管接地(7.5kV以下) (7) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工制御盤等年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</p> <p>雷保護設備 (1) 避雷針 1) 受雷部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下げ導線 ・建築構造体利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 測定回数 ・3回 ・()回 5) 接地埋設機を設置する。 (2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランス ・設置(・単相用 ・動力用) ・設置しない 2) SPD ・低圧用(・クラス ・クラス) ・通信用(・カテゴリC2 ・カテゴリD1) 3) SPDの性能仕様は別図による。 (3) 電源回路保護 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は雷撃点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 (4) 通信回線保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。</p> <p>接地設備 (1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共有有り() (2) 接地抵抗測定 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・()回 (3) 接地極埋設機 接地には接地極埋設機を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</p>	<p>【受変電設備】 受変電設備 (1) 電気方式 1) 種別 ・三相3線式(・6.6kV ・200V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(100V) 2) 周波数 60Hz (2) 既設との取合い ・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他() (3) 機器類 盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他()</p> <p>(4) 盤類 1) 形式 ・閉鎖型(・キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425)(・CX ・CW ・PW ・MW) ・開放形配電盤 ・その他() 2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項() (4) 交流遮断器 真空遮断器(VCB) 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し</p> <p>(5) 断路器 1) 形式 ・3極単投 ・単極単投(避雷器用に限る) 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作(避雷器用に限る)</p> <p>(6) 負荷開閉器 1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 操作方式 ・フック棒操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 限流ヒューズ ・有(ストライカ付可) ・無 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無 本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・鋼製 保護装置 過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし 制御電源用変圧器内蔵とする 避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 保護装置は、過電流蓄勢トリップ付地絡方向継電器とし、 制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>(7) 変圧器 1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイヤル温度計 ・有(・最大値指針 無) ・無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> <p>(8) 進相コンデンサ 1) 形式 ・低圧 ・高圧 2) その他 ・警報接点付 ・警報接点なし 1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド ・ガス入 2) その他 内部異常を検知して動作する保護接点設けること 放電装置を附属又は内蔵すること</p> <p>(9) 直列リアクトル 1) 形式 ・放電抵抗 ・放電コイル(力率制御がある場合は必須) 2) 容量 ・6%リアクトル ・1.3%リアクトル 3) その他 ・警報接点付 ・警報接点なし (10) 配線用遮断器 定格遮断容量は、短絡電流値以上のものとする。 (11) 低圧電磁接触器 低圧進相コンデンサ制御用電磁接触器の定格使用電流は、 コンデンサ定格電流の1.5倍以上とする。</p> <p>(12) 高圧空中開閉器 1) 制御電源用変圧器及び避雷器内蔵 2) 開閉器及び地絡方向継電器外箱 ・ステンレス製 ・鋼板製 3) 定格電流 ・200A ・()A 4) 定格投入遮断電流 ・1.25kA ・()A (13) 設備不平衡 高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3%以下となるようにする。</p> <p>(14) キュービクル等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 (14) 基礎 ・本工事(・2.1N/mm² ・1.8N/mm²) ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p> <p>(15) 配線ビット及び重 1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。 (16) 設置場所 ・屋内 ・屋外(・地上 ・屋上) (17) 消火器 ・有(ABC10型 収納箱共) ・無 ・その他()</p>
機器種別	特定の施設		一般の施設																																																											
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																										
上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																									
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																									
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																									
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																									
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
地下、1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																									
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																									
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																									
<p>注記</p>	<p>株式会社 中部都市建築設計事務所 一般建築士登録番号 第143379号 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115 伊藤公 和田保 目付 2021.11.18 担当 承認 電気設備工事特記仕様書(2) A3:S=NO E-02</p>																																																													

<p>【電力貯蔵設備】 直流電源設備</p> <p>(1)用途 ・非常用照明器具電源 ・受変設備制御電源 ・その他()</p> <p>(2)容量 ()kVA</p> <p>(3)整流装置</p> <p>1)入力電圧 ・三相3線式(・200V ・()V)</p> <p>・単相2線式(・100V ・200V ・()V)</p> <p>2)入力周波数 60Hz</p> <p>3)出力電圧 直流(・12 ・24V ・48V ・())</p> <p>4)整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4)蓄電池</p> <p>1)種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE)</p> <p>・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH)</p> <p>・その他()</p> <p>2)最低蓄電池温度 ・5 ・15 ・25 ・-5 ・()</p>	<p>(3)電話機 ・一般電話機 ・多機能電話機 ・IP電話機</p> <p>・デジタラド以電話機(PhS方式) ・IPラド以電話機(無線LAN方式)</p> <p>(4)端子盤類</p> <p>1)端子盤 ・中継端子盤(IDF) ・室内端子盤</p> <p>2)中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。</p> <p>(5)アウトレット</p> <p>・ローテーションアウトレット(・固定型 ・上下動型(アップ式を含む))</p> <p>・壁コンセント ・その他()</p>	<p>(6)感知器</p> <p>1)型式 ・アドレス付 一般型</p> <p>2)種類 熱感知器 ・空気感式 煙感知器 ・炎感知器</p> <p>3)試験機能 自動試験機能 ・遠隔試験機能</p> <p>4)機器仕様 一般 防水 ・防爆 ・防食 ・その他()</p> <p>(7)光警報装置</p> <p>1)機器 ・警報装置 ・制御装置 ・同期装置</p> <p>2)警報装置 ・天井付 ・壁付</p> <p>3)同期装置 ・自走同期式 ・外部同期式</p>	<p>(6)ハンドホール、マンホール</p> <p>1)形式 ・ブロック式 ・現場打ち</p> <p>2)施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事</p> <p>・既設利用 ・その他()</p> <p>3)ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所</p> <p>4)重車両の通行 ・有(破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・無</p> <p>(7)鋼鉄蓋</p> <p>1)鋼鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。</p> <p>2)雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。</p> <p>(8)地中ケーブル保護材料</p> <p>1)種類 ・FEP ・GLT(PEライニング管) ・VE ・HIVE</p> <p>・SGP ・厚膜電線管 ・その他()</p> <p>2)標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製(アスファルト部分)</p> <p>3)埋設標示シート ・2倍長 ・その他()</p> <p>4)埋設表示シートの表記は電力用であることがわかるものとする。</p>
<p>交流無停電電源設備</p> <p>(1)用途 ()</p> <p>(2)容量 ()kVA</p> <p>(3)給電方式</p> <p>・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式</p> <p>・その他()</p> <p>(4)整流装置等</p> <p>1)入力電圧 ・三相3線式(・200V ・()V)</p> <p>・単相2線式(・100V ・200V ・()V)</p> <p>2)入力周波数 60Hz</p> <p>3)出力電圧 ・三相3線式(・200V ・()V)</p> <p>・単相2線式(・100V ・200V ・()V)</p> <p>4)出力周波数 60Hz</p> <p>5)整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。</p> <p>(5)蓄電池</p> <p>1)種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE)</p> <p>・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他()</p> <p>2)最低蓄電池温度 ・5 ・15 ・25 ・-5 ・()</p> <p>(6)性能 停電補償時間 ()</p>	<p>情報表示設備</p> <p>(1)設備 ・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置</p> <p>(2)警報等表示装置</p> <p>1)機器 ・表示盤 ・検出装置</p> <p>・その他()</p> <p>2)表示盤</p> <p>表示方式 ・表示窓式 ・その他()</p> <p>施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設使用 ・その他()</p> <p>3)検出装置</p> <p>検出方式 ・電極 ・無電圧接点 ・その他()</p> <p>施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設使用 ・その他()</p> <p>4)図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>	<p>自動閉鎖設備</p> <p>(1)機器 ・運動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置</p> <p>・その他()</p> <p>(2)運動制御器</p> <p>1)制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉</p> <p>・その他()</p> <p>2)回線数 ()回線(遠方復帰機構()回路)</p> <p>3)設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機等との複合盤</p> <p>(3)感知器</p> <p>1)型式 ・アドレス付 一般型</p> <p>2)種類 煙感知器(・2種 ・3種)</p> <p>3)試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能</p> <p>4)機器仕様 一般 防水 ・防爆 ・防食 ・その他()</p> <p>(4)自動閉鎖装置</p> <p>1)方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他()</p> <p>2)施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事</p> <p>・既設利用 ・その他()</p> <p>(5)自動開錠装置</p> <p>1)方式 ・電気錠 ・その他()</p> <p>2)施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事</p> <p>・既設利用 ・その他()</p>	<p>構内通信線路</p> <p>(1)用途 ・電話 ・拡声 ・時刻表示 ・火災報知 ・非常警報用</p> <p>・インターホン</p> <p>・テレビ共同受信 ・防犯 ・制御 ・その他()</p> <p>(2)配線方式 ・地中線式(・直埋 ・管路) ・架空線式(・直接 ・ちよう架線添架)</p> <p>・建築物等添架式(・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他())</p> <p>・その他()</p> <p>(3)建柱</p> <p>1)施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他()</p> <p>2)電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンガマスト</p> <p>・その他()</p> <p>3)支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板</p> <p>・支線(保護ガード) ・有 ・無</p> <p>5)鈹板 ・有 ・無</p> <p>(4)ハンドホール、マンホール</p> <p>1)形式 ・ブロック式 ・現場打ち</p> <p>2)施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事</p> <p>・既設利用 ・その他()</p> <p>3)ケーブル支持金物の取付</p> <p>・2箇所 ・4箇所 ・()箇所</p> <p>4)重車両の通行 ・有(破壊荷重 200kN以上、衝撃係数 0.1(走行速度制限箇所)) ・無</p> <p>(5)鋼鉄蓋</p> <p>1)鋼鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。</p> <p>2)雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。</p> <p>(6)地中ケーブル保護材料</p> <p>1)種類 ・FEP ・GLT(PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP</p> <p>・厚膜電線管 ・その他()</p> <p>2)標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製(アスファルト部分)</p> <p>3)埋設標示シート ・2倍長 ・その他()</p> <p>4)埋設表示シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。</p>
<p>【発電設備】 燃料式発電設備</p> <p>(1)用途</p> <p>1)用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用</p> <p>2)区分 ・常用 ・非常用</p> <p>(2)設置場所 ・屋内 ・屋外(・普通地域 ・塩害地域)</p> <p>(3)機器 ・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ</p> <p>・その他()</p> <p>(4)発電装置</p> <p>1)発電装置の選定にあたっては、設置場所及び過去の気象データを考慮し選定する。</p> <p>2)種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置</p> <p>3)形式 ・簡易形 ・オープン式</p> <p>・キューピル式(・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m)</p> <p>4)始動時間(停電検出後) ・10秒以内 ・40秒以内 ・()秒以内</p> <p>5)連続運転時間 ・2時間以上 ・10時間以上 ・24時間以上 ・72時間以上</p> <p>・その他()</p> <p>6)発電機</p> <p>電気方式 ・三相3線式(・6.6kV ・200V ・()V)</p> <p>・単相3線式(200/100V)</p> <p>・単相2線式(・200V ・100V ・()V)</p> <p>定格周波数 60Hz</p> <p>定格出力 ()kVA</p> <p>7)原動機</p> <p>定格出力 ()kW以上 ・()ps以上</p> <p>冷却方式 ・ラジエータ方式 ・その他()</p> <p>(5)燃料</p> <p>1)種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他()</p> <p>2)引込時燃料 ・満タン ・指定なし ・その他()</p> <p>(6)燃料槽</p> <p>1)形式及び容量 ・パッケージ搭載タンク()リットル</p> <p>・燃料小出槽()リットル ・主燃料槽()リットル</p> <p>2)燃料小出槽 ・屋外型(・ステンレス製 ・鋼板製)</p> <p>・屋内型(・ステンレス製 ・鋼板製)</p> <p>3)主燃料槽</p> <p>設置場所 ・屋内 ・屋外(地上) ・地下埋設(・タンク室内埋設 ・直埋設)</p> <p>形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク</p> <p>・その他()</p> <p>設置工事 ・本工事 ・別途工事 ・その他()</p> <p>タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()</p> <p>(7)給油ボックス</p> <p>1)材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他()</p> <p>2)油量指示計 ・有 ・無</p> <p>(8)燃料移送ポンプ</p> <p>1)電動ポンプ ・歯車ポンプ ・油中ポンプ</p> <p>2)手動ポンプ(ウイングポンプ) ・有 ・無</p> <p>3)電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無</p> <p>(9)基礎 ・本工事(・21N/mm² ・18N/mm²) ・別途工事 ・既設利用</p> <p>・その他()</p> <p>(10)消火器 ・有(ABC10型 収納箱共) ・無 ・その他()</p>	<p>拡声設備</p> <p>(1)機器 ・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 スピーカ</p> <p>・その他()</p> <p>(2)増幅器</p> <p>・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照)</p> <p>・専用 出力()W</p> <p>出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形</p> <p>(3)付属機器</p> <p>・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器</p> <p>・録音再生装置(・CD ・メモリアーディオ ・その他())</p> <p>・アナウンスレコーダ(・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ</p> <p>・その他())</p> <p>・有線マイクロホン</p> <p>・無線マイクロホン(・電波式(・アナログ ・デジタル) ・赤外線式)</p> <p>・ラジオチューナー(・FM ・AM ・その他())</p> <p>・スピーカ切替装置 ・その他の機器()</p> <p>(4)操作装置 ・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他()</p> <p>(5)スピーカ ・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照)</p> <p>・専用 結線 ・1W 3W ・()W</p> <p>インピーダンス ・Lo形 ・Hi形</p> <p>設置場所 屋内 ・屋外 ・その他()</p>	<p>非常警報設備</p> <p>(1)設備 ・非常放送装置 ・非常ベル</p> <p>(2)非常放送装置</p> <p>1)消防法基準適合マーク品とする。</p> <p>2)機器 ・増幅器 ・スピーカー ・非常用リモコンマイク</p> <p>・その他()</p> <p>3)増幅器</p> <p>出力 ()W</p> <p>出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形</p> <p>形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他()</p> <p>機能 ・マイク放送 ・運動放送(・自火報設備 ・緊急地震速報設備)</p> <p>・その他()</p> <p>用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用</p> <p>4)スピーカ</p> <p>結線 ・1W ・3W ・()W</p> <p>インピーダンス ・Lo形 ・Hi形</p> <p>設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他()</p> <p>用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用</p> <p>5)非常用リモコンマイク</p> <p>型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他()</p>	<p>【その他】 消火器</p> <p>(1)機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他()</p> <p>(2)設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込</p> <p>・消火栓ボックス(別途)に組込 ・その他()</p>
<p>【通信・情報設備】 構内交換設備</p> <p>(1)機器 ・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ・アウトレット</p> <p>・その他()</p> <p>(2)交換装置</p> <p>1)種別 ・構内交換装置(・デジタルPBX ・IP・PBX ・VoIPサーバ</p> <p>・ボタン電話装置</p> <p>・その他())</p> <p>2)局線応答方式 ・局線中継台 ・分散中継台 ・ダイヤルイン</p> <p>・ダイレクトインダイヤル ・ダイレクトインライン</p> <p>・その他()</p> <p>3)保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用</p> <p>・その他()</p> <p>4)本配電盤(MDF) ・自立ルック(・片面形 ・両面形) ・交換機一体型</p> <p>・壁掛型 ・その他()</p> <p>5)電源装置 形式 ・別置型 ・一体形 ・その他()</p> <p>停電補償時間 ・30分以上 ・()以上</p>	<p>誘導支援設備</p> <p>(1)設備 ・音声誘導装置 インターホン ・トイレ等呼出装置</p> <p>(2)音声誘導装置</p> <p>1)検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他()</p> <p>2)設置場所 ・屋外(防雨形) ・屋内</p> <p>・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する</p> <p>・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする</p> <p>・その他()</p> <p>3)機能</p> <p>4)機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他()</p> <p>5)制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他()</p> <p>6)送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他()</p> <p>7)受信機 ・スピーカー式 ・イヤホン式 ・その他()</p> <p>(3)インターホン</p> <p>1)用途 内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用</p> <p>・その他()</p> <p>2)機能 音声通話 ・映像モニタ</p> <p>3)通話網 相互式 ・複合式</p> <p>4)通話方式 同時通話式 ・交互通話式 ・その他()</p> <p>5)機器 親機 子機 ・その他()</p> <p>6)親機</p> <p>形状 壁掛型 ・卓上形 ・複合盤組込 ・その他()</p> <p>送受話器 電話機形 ・マイク形 ・その他()</p> <p>7)子機</p> <p>形状 壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他()</p> <p>送受話器 電話機形 ・マイク形 ・その他()</p> <p>(4)トイレ等呼出装置</p> <p>1)用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・ナースコール</p> <p>・その他()</p> <p>2)機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他()</p> <p>3)親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合盤組込 ・その他()</p> <p>4)呼出スイッチ</p> <p>・押ボタン式 ・引紐式 ・その他()</p> <p>5)警報装置 ・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他()</p>	<p>ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1)機器 ・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器</p> <p>・その他()</p> <p>(2)受信機</p> <p>1)回線数 ()回線</p> <p>2)種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用</p> <p>3)設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機との複合盤</p> <p>・その他()</p> <p>(3)副受信機 設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機との複合盤</p> <p>・その他()</p> <p>(4)検知器</p> <p>1)動作 ・単独(単独動作) ・運動(受信機に伝送)</p> <p>2)定格電圧 ・AC100V ・DC24V(受信機等から供給) ・その他()</p> <p>3)ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式</p>	<p>【構内配電線路】 構内配電線路</p> <p>(1)電気方式</p> <p>1)種別 ・三相3線式(・6.6kV ・200V ・()V)</p> <p>・単相3線式(200V/100V)</p> <p>・単相2線式(・100V ・()V)</p> <p>2)周波数 60Hz</p> <p>(2)配線方式 ・地中線式(・直埋 ・管路) ・架空線式(・直接 ・ちよう架線添架)</p> <p>・建築物等添架式(・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他())</p> <p>・その他()</p> <p>(3)建柱</p> <p>1)施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他()</p> <p>2)電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンガマスト</p> <p>・その他()</p> <p>3)支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板</p> <p>・支線(保護ガード) ・有 ・無</p> <p>4)装柱材料 ・有(電力仕様) ・無</p> <p>5)鈹板 ・有 ・無</p> <p>(4)装柱機器(高圧用)</p> <p>1)機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子</p> <p>・その他()</p> <p>2)耐環境性 ・一般用 ・耐塩用</p> <p>3)開閉器</p> <p>仕様は5.受変電設備(6)負荷開閉器による。</p> <p>(5)装柱機器(低圧用)</p> <p>1)機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子</p> <p>・その他()</p> <p>2)耐環境性 ・一般用 ・耐塩用</p>
<p>注記</p>	<p>株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号 伊藤 公 和田保園園舎増築工事</p> <p>TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115</p>		
<p>目付 2021.11.18</p>	<p>担当 承認 図面名 電気設備工事特記仕様書(3) 縮尺 A3:S=NO 図面番号 E-03</p>		

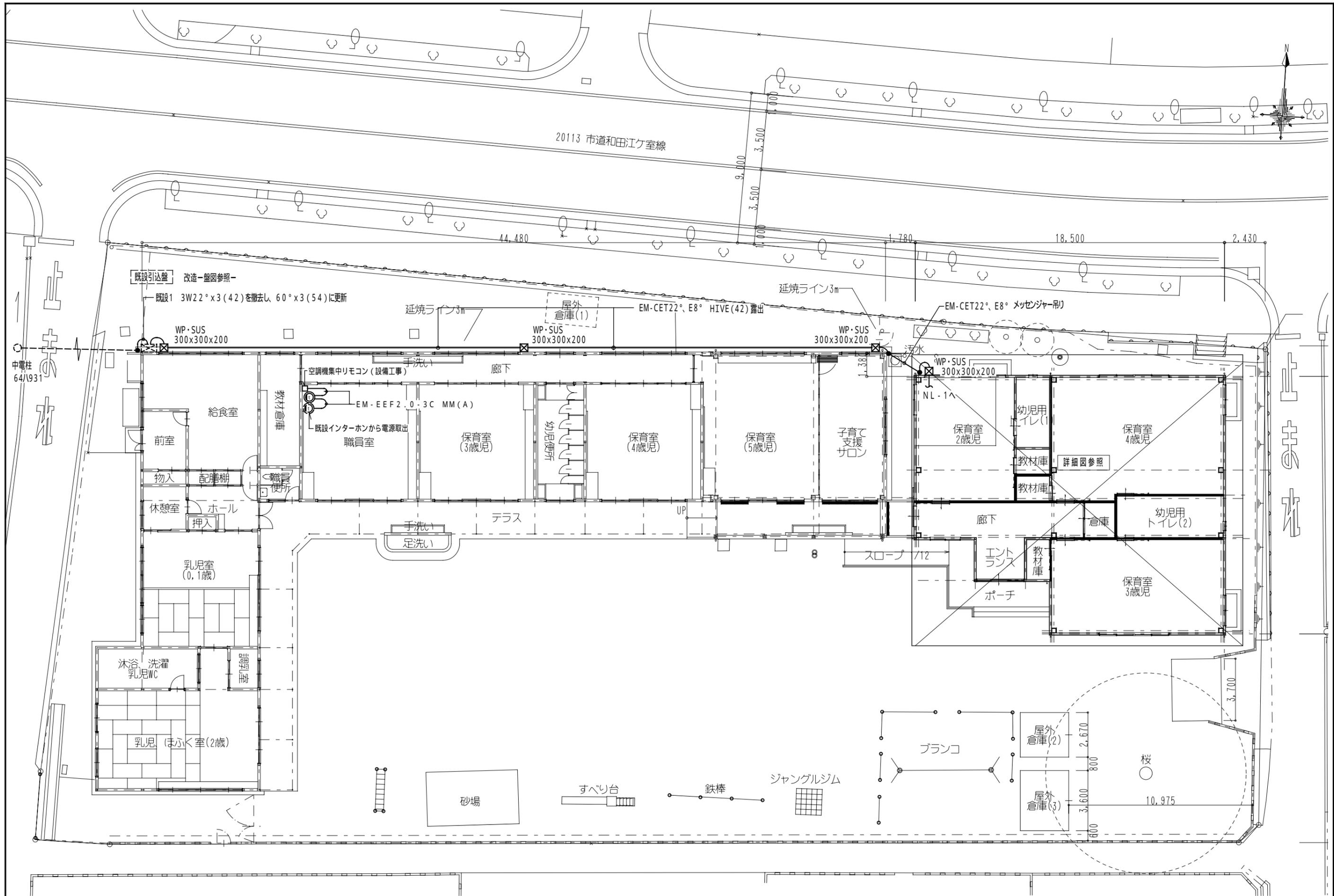


<p>◇A 一体型LEDベースライト直付型 消費電力 43.1W FHF32Wx2 高出力相当</p>	<p>◇B LEDダウンライト 消費電力 18.6W 250形タイプ</p>
<p>LSS9-4-65</p> 	<p>LRS1-22</p> 
<p>◇C LEDダウンライト 消費電力 15.0W 200形タイプ</p>	<p>◇D 一体型LEDベースライト 直付型 消費電力 21.8W FHF16Wx1 定格出力相当</p>
<p>LRS1-17</p> 	<p>LSS9-2-30</p> 
<p>◇E LEDポーチライト 明るさセンサー付 消費電力 7.1W 40形タイプ</p>	<p>◇G LEDスポットライト 防湿防雨型 消費電力 49.5W 70形タイプ</p>
<p>LGWC80421 同等品</p> 	<p>NNY24904 同等品</p> 

<p>①</p>	<p>インターホン親機 参考品番; YAZ-90-3W</p>								
									
<table border="1"> <tr> <td>電源電圧</td> <td>DC24V (電源アダプターから供給)</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>壁取付形 (JIS1個用スイッチボックス)</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>ABS樹脂</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>YAZ-90-3W:通話路数3 YAZ-90-2W:通話路数2 90台まで設置可</td> </tr> </table>		電源電圧	DC24V (電源アダプターから供給)	形状	壁取付形 (JIS1個用スイッチボックス)	材質	ABS樹脂	備考	YAZ-90-3W:通話路数3 YAZ-90-2W:通話路数2 90台まで設置可
電源電圧	DC24V (電源アダプターから供給)								
形状	壁取付形 (JIS1個用スイッチボックス)								
材質	ABS樹脂								
備考	YAZ-90-3W:通話路数3 YAZ-90-2W:通話路数2 90台まで設置可								

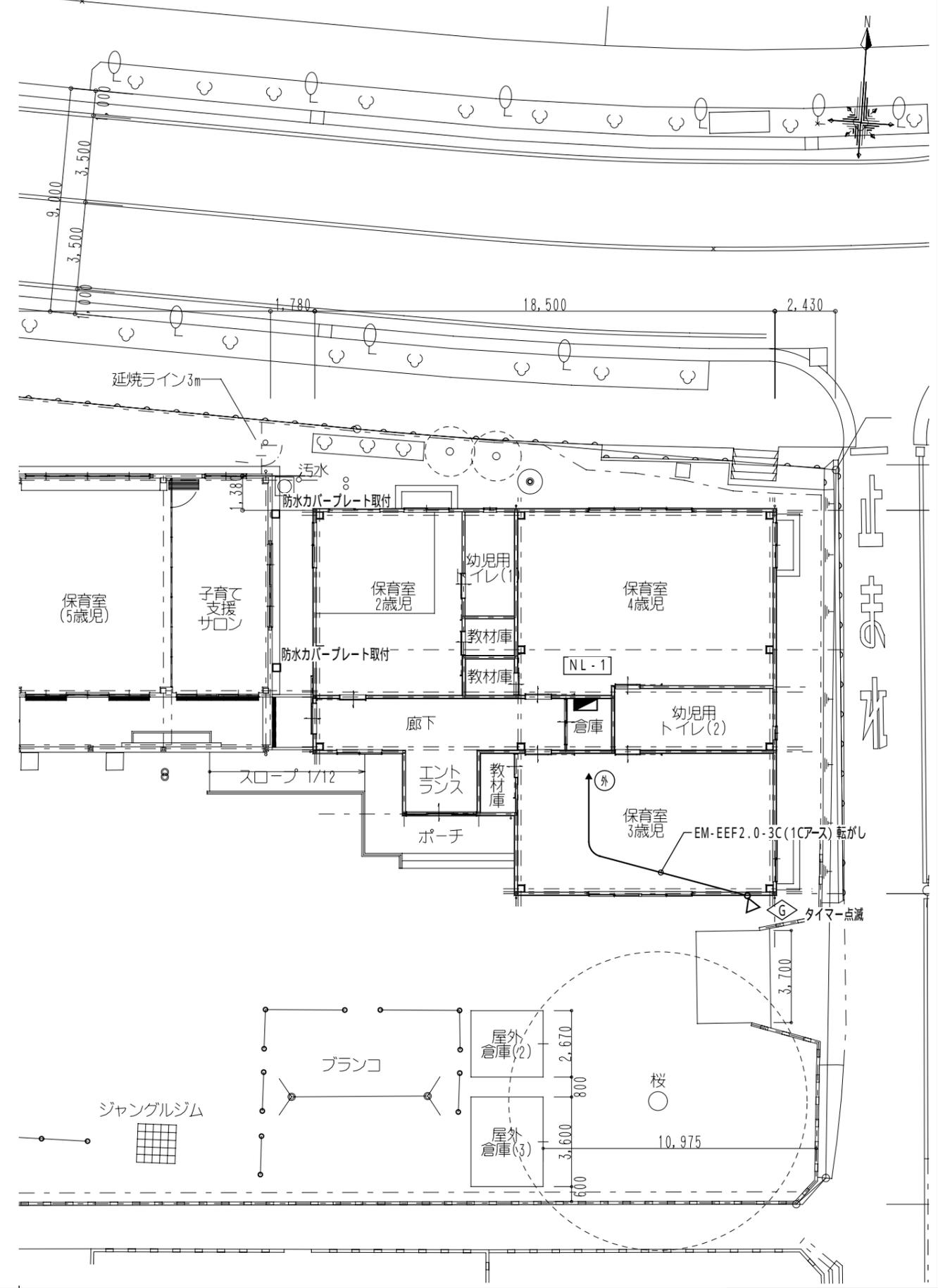
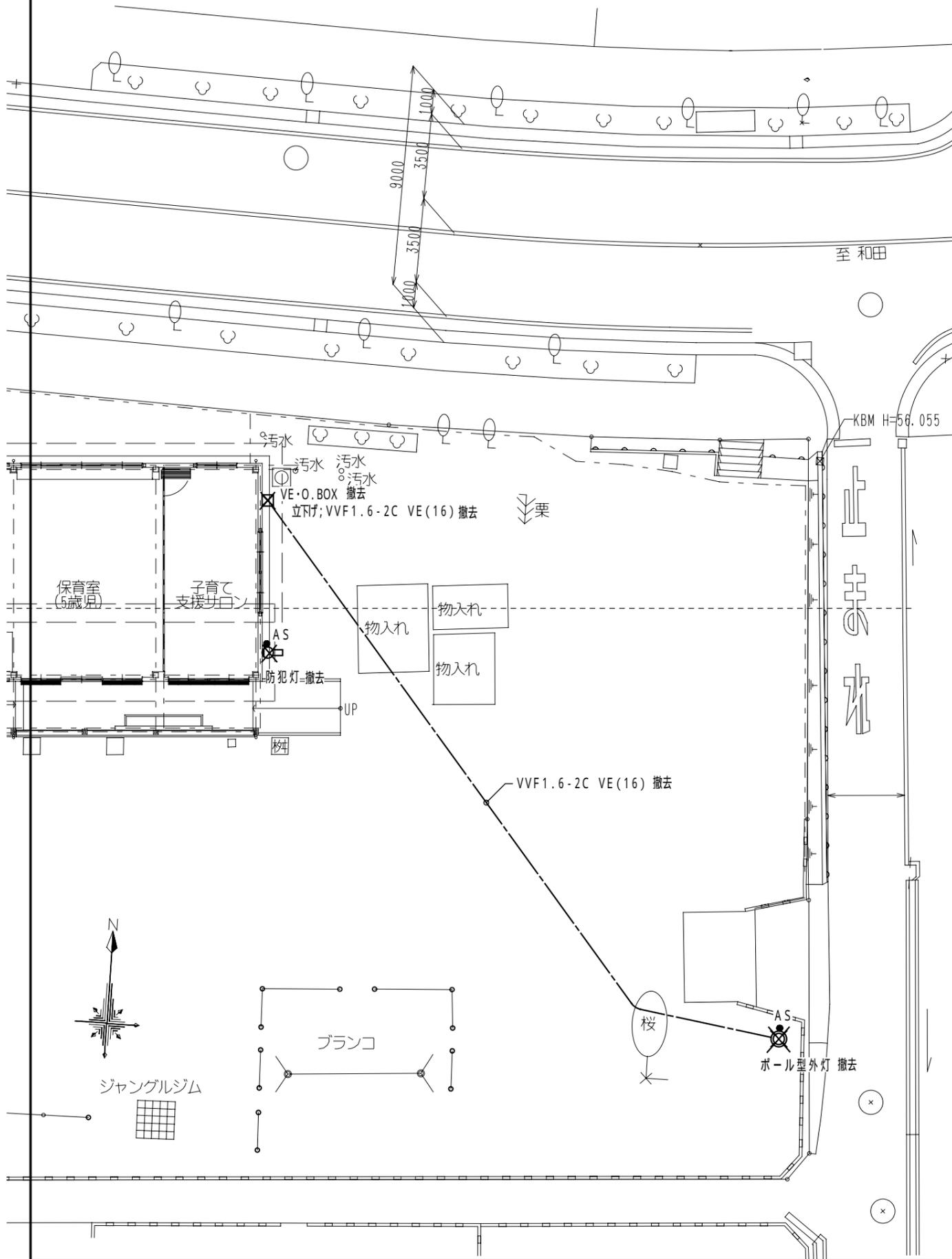
<p>PS</p>	<p>電源アダプター 参考品番; PS-2420A</p>												
													
<table border="1"> <tr> <td>電源電圧</td> <td>AC100V 50/60Hz</td> </tr> <tr> <td>入力容量</td> <td>110VA</td> </tr> <tr> <td>出力電圧</td> <td>DC24V</td> </tr> <tr> <td>出力電流</td> <td>2A</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>据置・壁取付 (専用金具) 両用</td> </tr> <tr> <td>材質</td> <td>難燃性樹脂</td> </tr> </table>		電源電圧	AC100V 50/60Hz	入力容量	110VA	出力電圧	DC24V	出力電流	2A	形状	据置・壁取付 (専用金具) 両用	材質	難燃性樹脂
電源電圧	AC100V 50/60Hz												
入力容量	110VA												
出力電圧	DC24V												
出力電流	2A												
形状	据置・壁取付 (専用金具) 両用												
材質	難燃性樹脂												

<p>⊙</p>	<p>天井埋込スピーカ 3W</p>	<p>SC4Hi-3Vo</p>
<p>⚡</p>	<p>アッテネイター</p>	<p>V-3P</p>



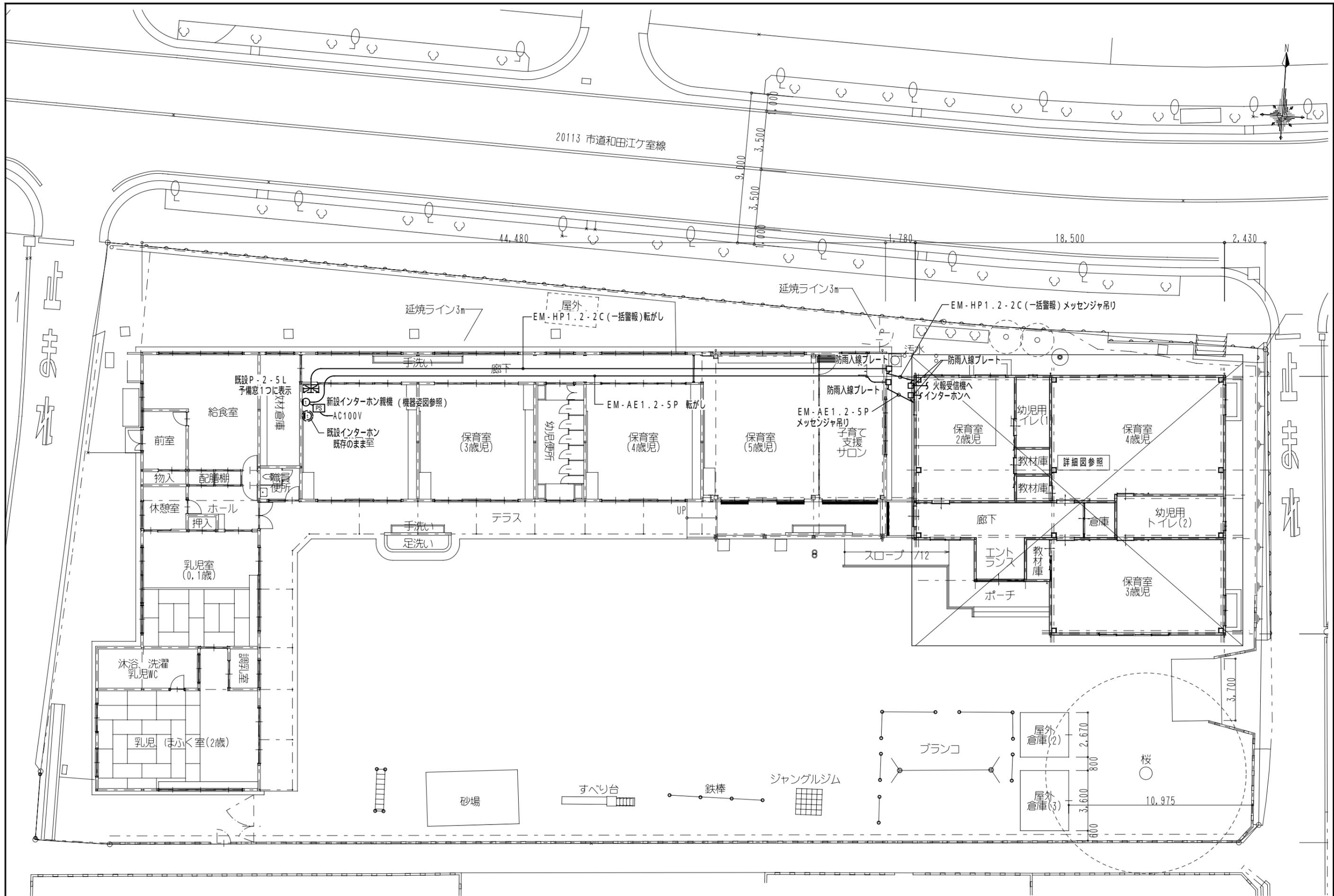
注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115		一級建築士登録番号 第143379号 伊藤 公		工事名 和田保育園園舎増築工事	
日付 2021.11.18	担当	承認	図面名 幹線設備 改修 配置図	縮尺 A3:S=1/200	図面番号 E-06



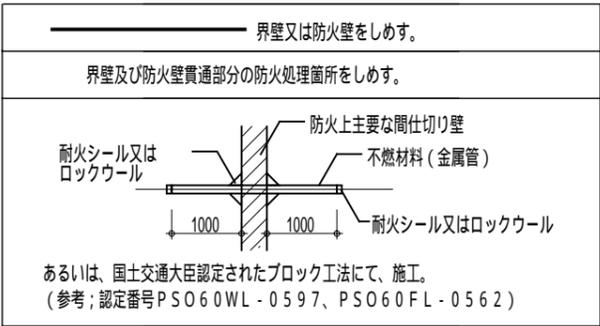
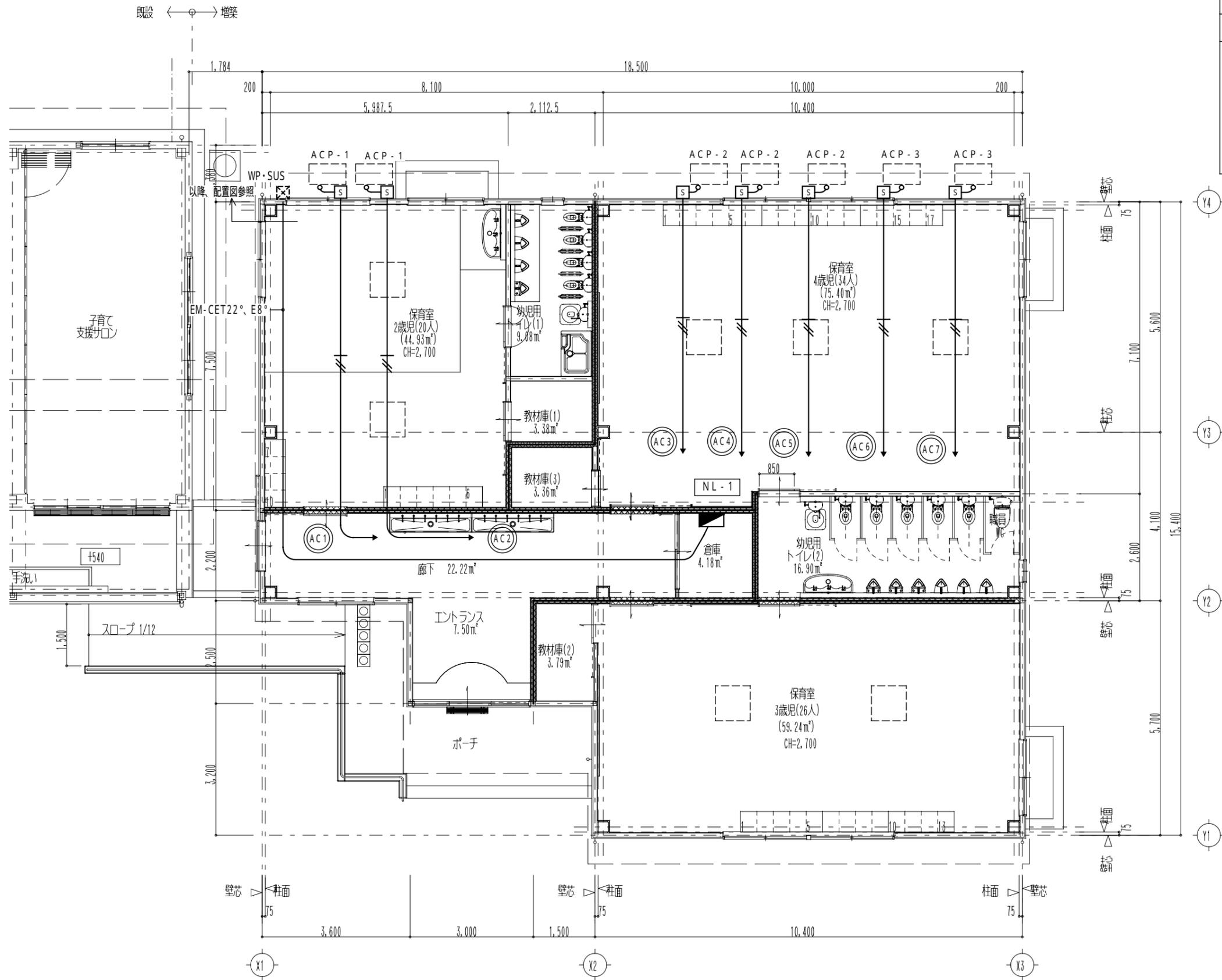
注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号		伊藤 公		和名保育園舎増築工事	
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115		伊藤 公		和名保育園舎増築工事	
日付	2021.11.18	担当	伊藤 公	承認	伊藤 公
外灯設備 改修 配置図				縮尺	A3:S=1/200
				図面番号	E-07

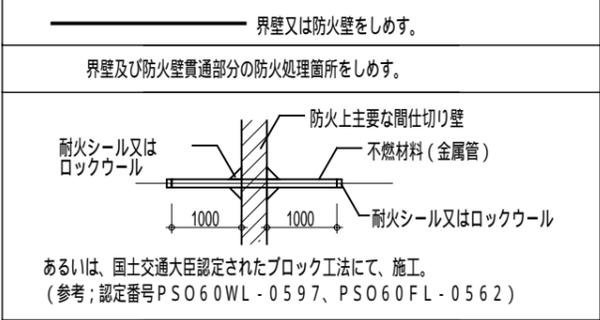
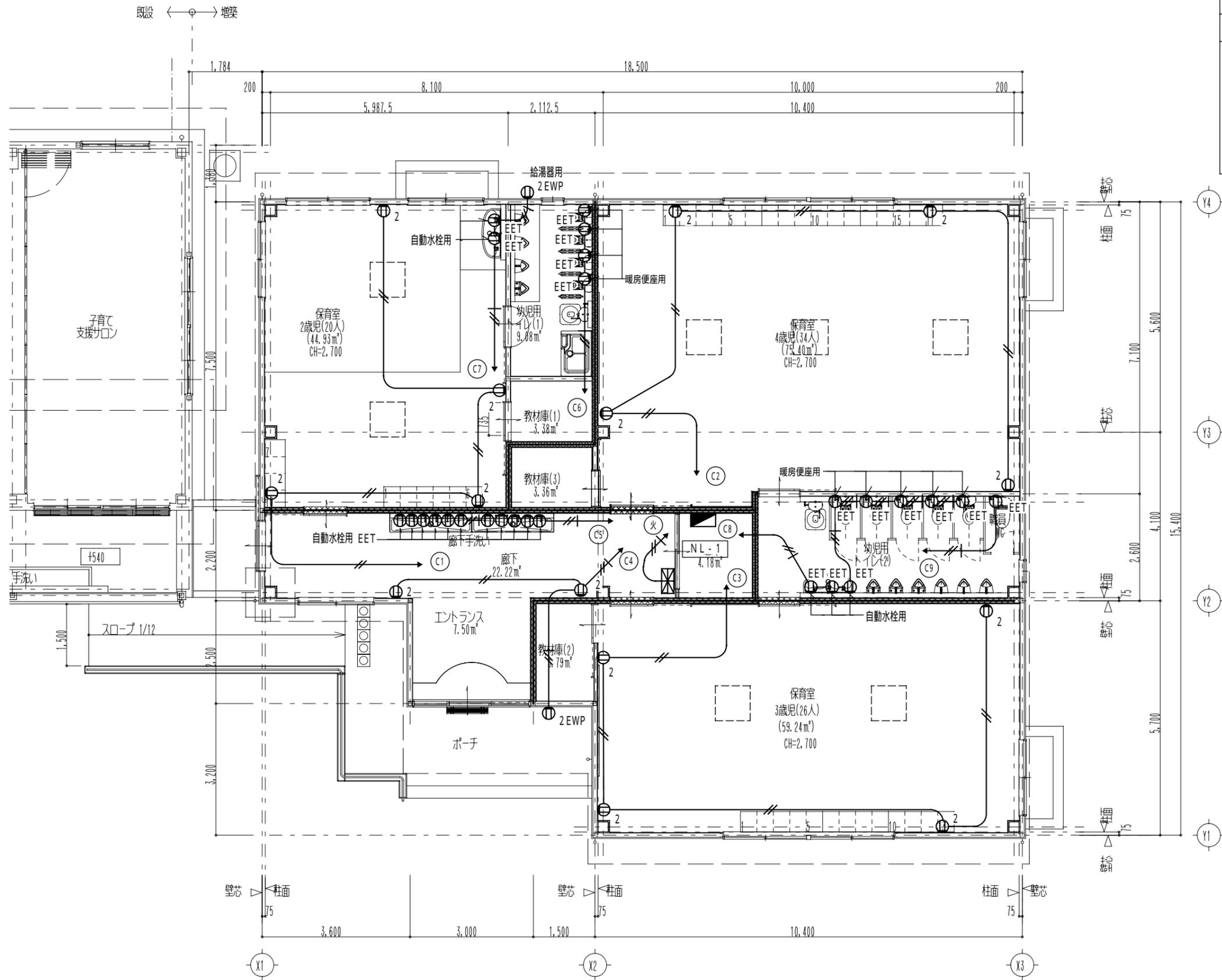


注記

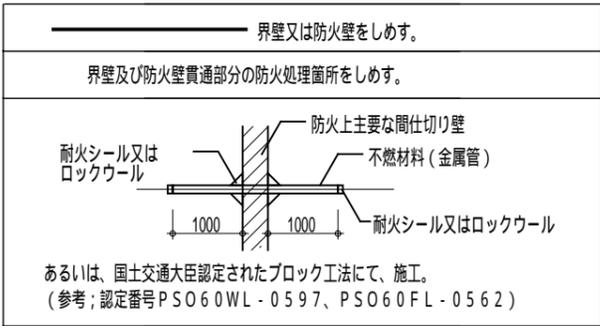
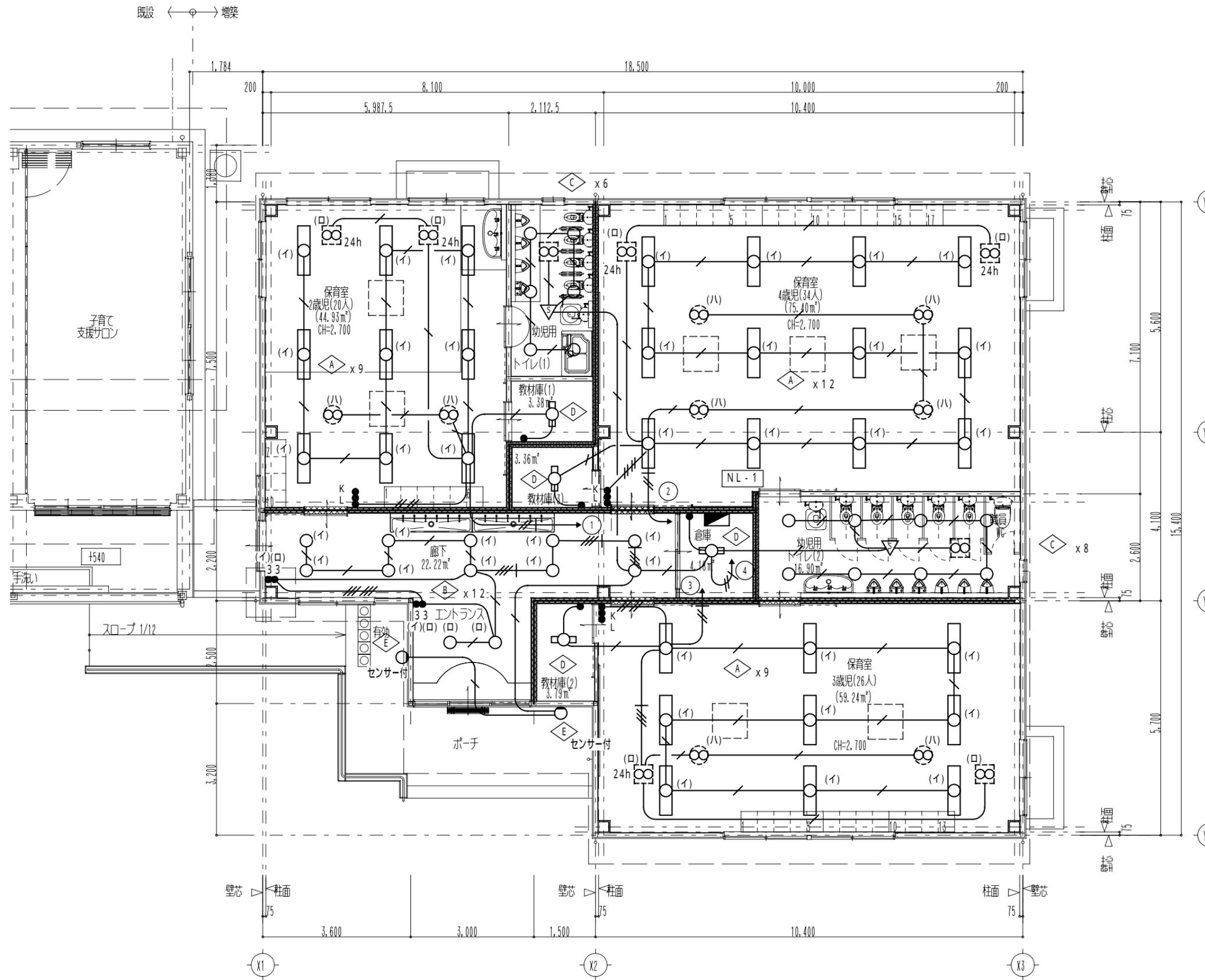
株式会社 中部都市建築設計事務所		一級建築士登録番号 第143379号	工事名
TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115		伊藤 公	和田保育園園舎増築工事
日付	2021.11.18	担当	伊藤 公
		承認	伊藤 公
		図面名	インターホン・自火報設備 改修 配置図
		縮尺	A3:S=1/200
		図面番号	E-08



- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
EM-EEF2.0-3C(1Cアース) PF(22)
二重天井内はケーブル転がしとする。
 - 凡例
[S] ; 手元開閉器 2P20A(200V) 防水箱に収納
3、空調機の接続には防水ブリカF24を使用とする。
3、手元開閉器の2次側はEM-EEF2.0-3C HI(22) 露出配管とする。

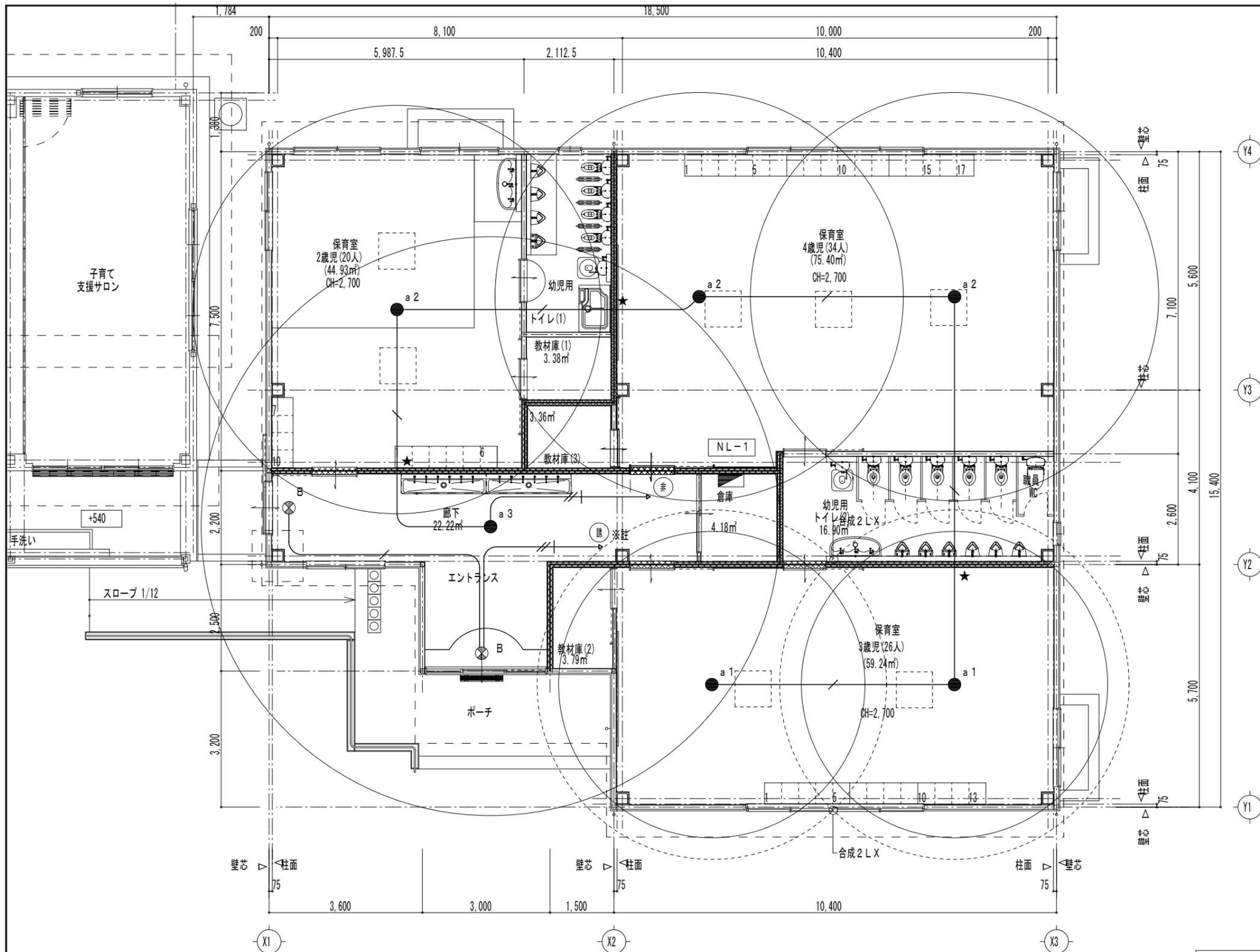


- 特記事項 ——
- 記入なき配管配線は下記とする。
 - EM-EEF2.0-3C(1Cアース) PF(22)
 - EM-EEF2.0-2C PF(22)
 - 二重天井内はケーブル転がしとする。
 - 凡例
 - ⊖₂ ; 埋込コンセント 2P15Ax2 樹脂製プレート
 - ⊖_{EET} ; 埋込コンセント 接地付 2P15Ax2 + ET 樹脂製プレート
 - ⊖_{2EWP} ; 防水コンセント 接地付 2P15Ax2

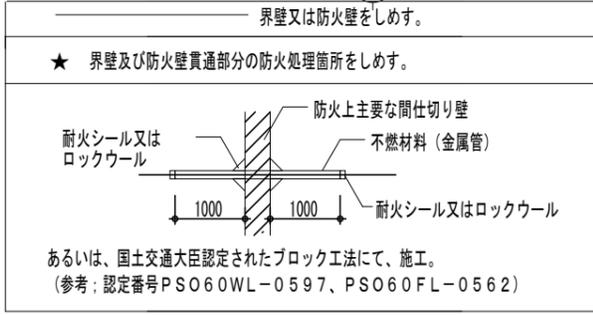


サイクル扇取付は将来工事なので、配線までが本工事とし、カバープレート止めとする。

- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 - EM-EEF2.0-3C(1Cアース) PF(22)
 - EM-EEF1.6-3C(1Cアース) PF(22)
 - EM-EEF1.6-2C PF(16)
 - EM-EEF1.6-2Cx2(1Cアース)PF(22)
 - EM-EEF1.6-2Cx2 PF(22)
 二重天井内はケーブル転がしとする。
 - 凡例
 - ; 埋込スイッチ 1P15A x1 樹脂製プレート
 - L ; 埋込スイッチON点灯 1P15A x1 樹脂製プレート
 - K ; 埋込スイッチON点灯 1P15A x1 樹脂製プレート
 - △ ; 24h換気シール貼りつけ
 - ▽ ; 人感センサー 換気扇連動型



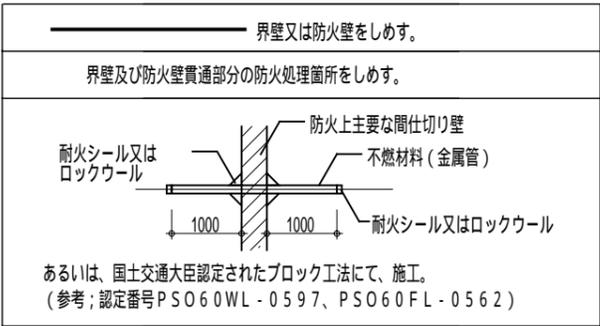
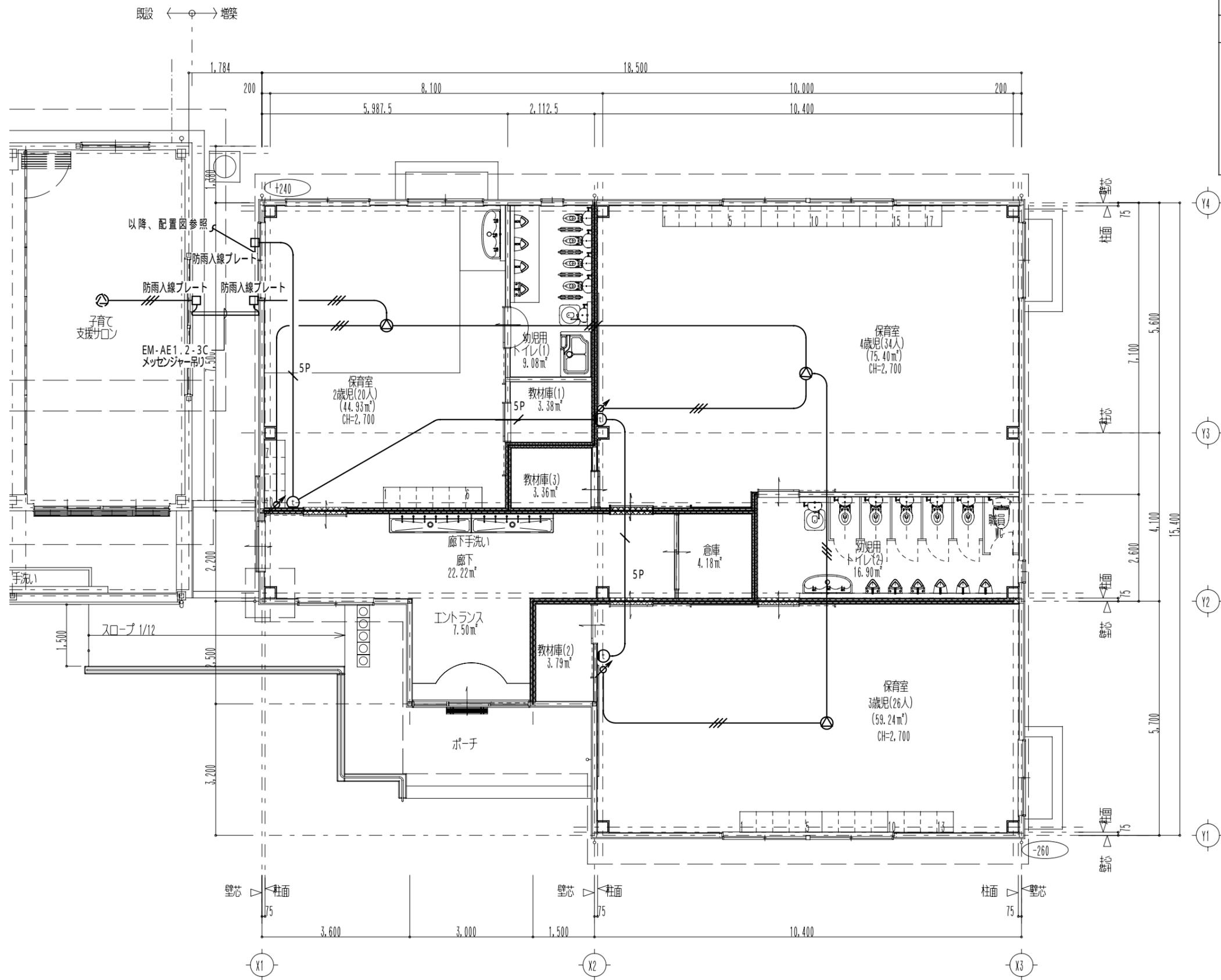
⊗ B	LED避難口誘導灯 B級 電池内蔵	SH1-FBF20-BL																																				
																																						
● a1	LED非常灯 自動点検機能付 低天井用 電池内蔵 ハロゲン電球9型 相当品	LALÉ-004																																				
																																						
K1-LRS11-1 <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.5m</td> <td>2.6m</td> <td>2.7m</td> <td>3.0m</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>3.6</td> <td>2.8</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>8.5</td> <td>9.4</td> <td>9.6</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> <td>10.1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> <td>7.8</td> <td>8.1</td> <td>8.3</td> <td>8.9</td> <td>—</td> </tr> </table>			器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	3.0m	—	—	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	4.0	3.6	2.8	—	直線配置	A2	8.5	9.4	9.6	9.9	10.1	10.1	—	四角配置	A4	6.9	7.6	7.8	8.1	8.3	8.9	—
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	3.0m	—	—																														
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	4.0	3.6	2.8	—																														
直線配置	A2	8.5	9.4	9.6	9.9	10.1	10.1	—																														
四角配置	A4	6.9	7.6	7.8	8.1	8.3	8.9	—																														
● a2	LED非常灯 自動点検機能付 低天井用 電池内蔵 ハロゲン電球13型 相当品	LALÉ-004																																				
																																						
K1-LRS11-2 <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.5m</td> <td>2.6m</td> <td>2.7m</td> <td>3.0m</td> <td>4.0m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>4.2</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.7</td> <td>4.8</td> <td>4.9</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>9.3</td> <td>10.2</td> <td>10.6</td> <td>10.8</td> <td>11.1</td> <td>11.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>7.4</td> <td>8.2</td> <td>8.4</td> <td>8.7</td> <td>8.9</td> <td>9.6</td> <td>11.7</td> </tr> </table>			器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	3.0m	4.0m	—	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	3.3	直線配置	A2	9.3	10.2	10.6	10.8	11.1	11.9	12.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.4	8.7	8.9	9.6	11.7
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	3.0m	4.0m	—																														
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	3.3																														
直線配置	A2	9.3	10.2	10.6	10.8	11.1	11.9	12.9																														
四角配置	A4	7.4	8.2	8.4	8.7	8.9	9.6	11.7																														
● a3	LED非常灯 自動点検機能付 中天井用 電池内蔵 ハロゲン電球30型 相当品	LALÉ-006																																				
																																						
K1-LRS11-3 <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> <td>4.0m</td> <td>5.0m</td> <td>6.0m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>5.4</td> <td>5.9</td> <td>6.3</td> <td>6.9</td> <td>7.9</td> <td>8.7</td> <td>6.4</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>11.3</td> <td>12.7</td> <td>13.5</td> <td>15.2</td> <td>18.6</td> <td>21.0</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>8.5</td> <td>9.6</td> <td>10.2</td> <td>11.6</td> <td>14.6</td> <td>17.2</td> <td>19.4</td> </tr> </table>			器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	—	単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.7	6.4	直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.0	22.8	四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	17.2	19.4
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	—																														
単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.7	6.4																														
直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.0	22.8																														
四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	17.2	19.4																														



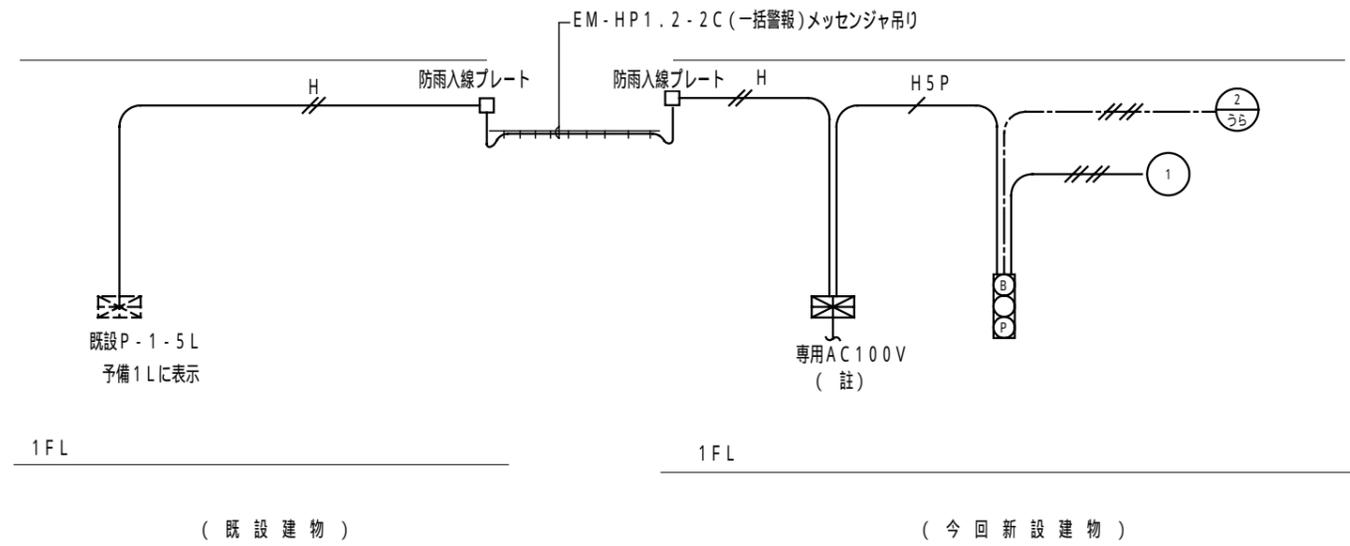
特記事項

1、記入なき配管配線は下記とする。
 EM-EEF2.0-3C (1Cアース) PF (22)
 EM-EEF1.6-3C (1Cアース) PF (22)
 二重天井内はケーブル転がしとする。

2、※註：電灯盤の主幹ブレーカ1次側より専用回路にて電源供給とする



- 特記事項
- 記入なき配管配線は下記とする。
 5P EM-AE1.2-5P PF(22)
 EM-AE1.2-3C PF(16)
 二重天井内はケーブル転がしとする。
 - 凡例
 (I) ; インターホン機 (機器姿図参照)
 (S) ; 天井埋込スピーカ 3W
 (A) ; アッテネイター



系 統 図

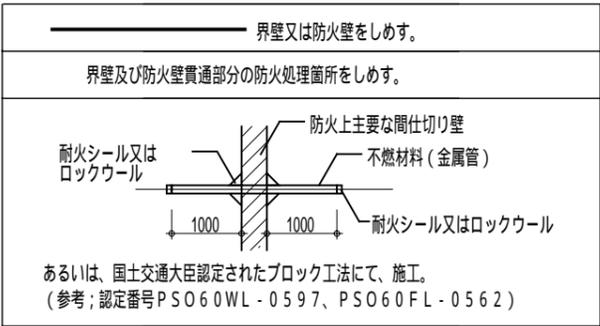
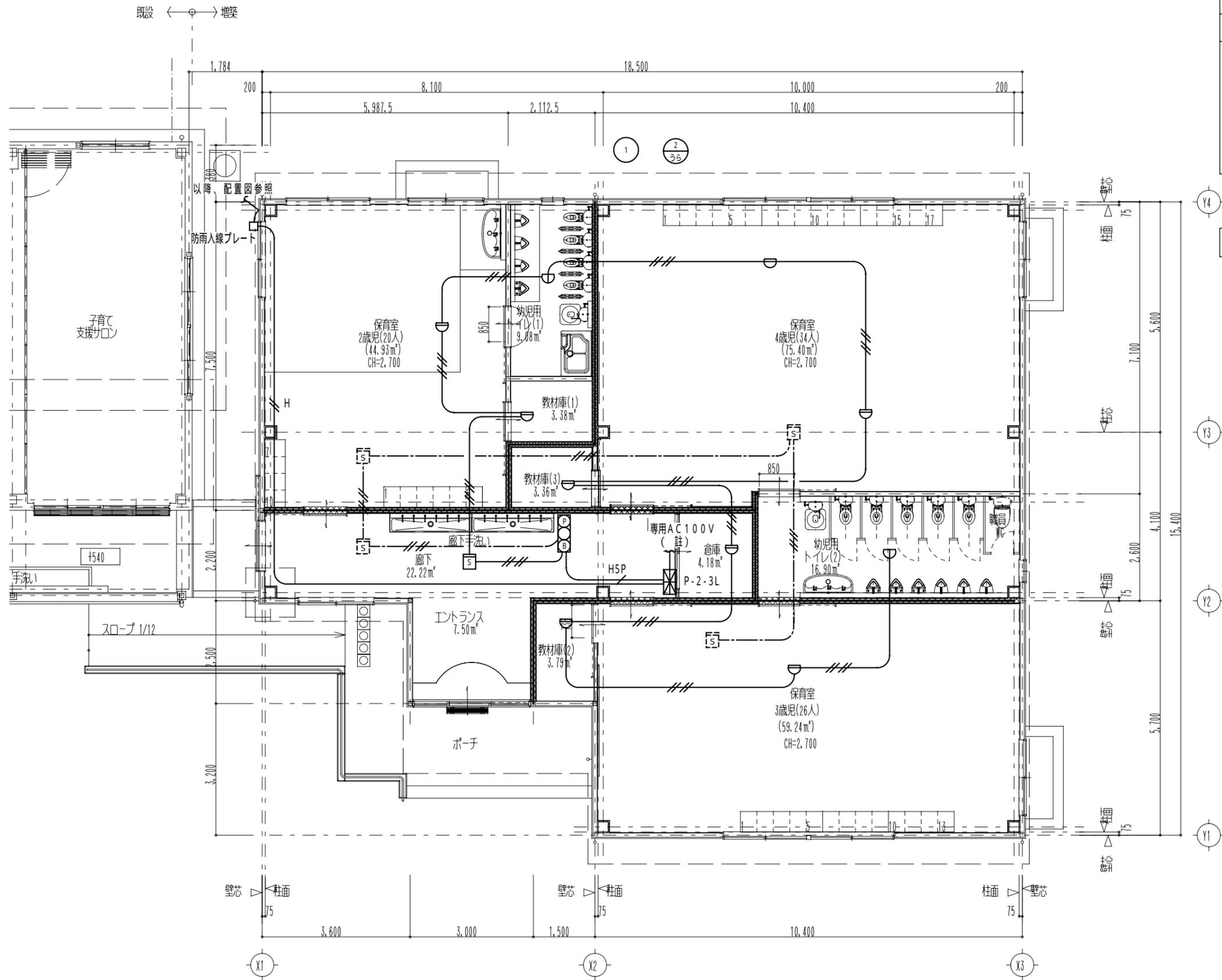
凡 例			
記 号	名 称	仕 様	備 考
	受 信 機	P型2級	注記事項参照
	総 合 盤	露出型	
	表 示 灯	AC24V LED	総合盤組込
	発 信 機	P型2級	総合盤組込
	電 鈴	DC24V	総合盤組込
	差動式スポット型熱感知器	2種 露出型	
	定温式スポット型熱感知器	1種 防水 露出型	
	光電式スポット型煙感知器	2種 露出型	
	光電式スポット型煙感知器	2種 露出型	天井うら用
	警戒区域番号		
	警戒区域境界線		
	電 路		
	電 路	天井うら感知器用	

(注記事項)

- 記入なき配管配線は、下記とする。
 - EM-AE1.2-4C PF(16)
 - EM-HP1.2-2C PF(16)
 - EM-AE1.2-5P PF(22)

二重天井内はケーブル転がしとする。
 ----- も上記に準じる。
- 界壁貫通部分には防火処理を施すこと(平面図参照)
- (註)電灯盤の主幹ブレ-カ1次側より専用回路にて電源供給とする
- 火報受信機仕様
 - 1) P型2級、壁掛型、窓式、主音響内蔵、蓄積式
予備電源内蔵、自動断線警報機能付
 - 2) 表示内訳

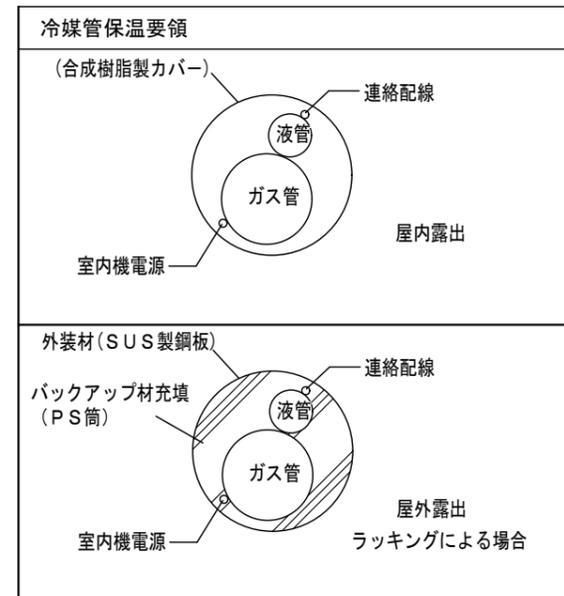
・火災表示	2 L
・予備	1 L
計	3 L
- 電鈴は一斉鳴動とする。



(註) 電灯盤の主幹ブレ - カ 1 次側より専用回路にて電源供給とする

注記	株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号 伊藤 公				工事名	
	TEL:059-226-0139 FAX:059-226-5115				和保育園園舎増築工事	
	日付	2021.11.18	担当	承認	図面名	自動火災報知設備 平面図
					縮尺	A3:S=1/100
					図面番号	E-15

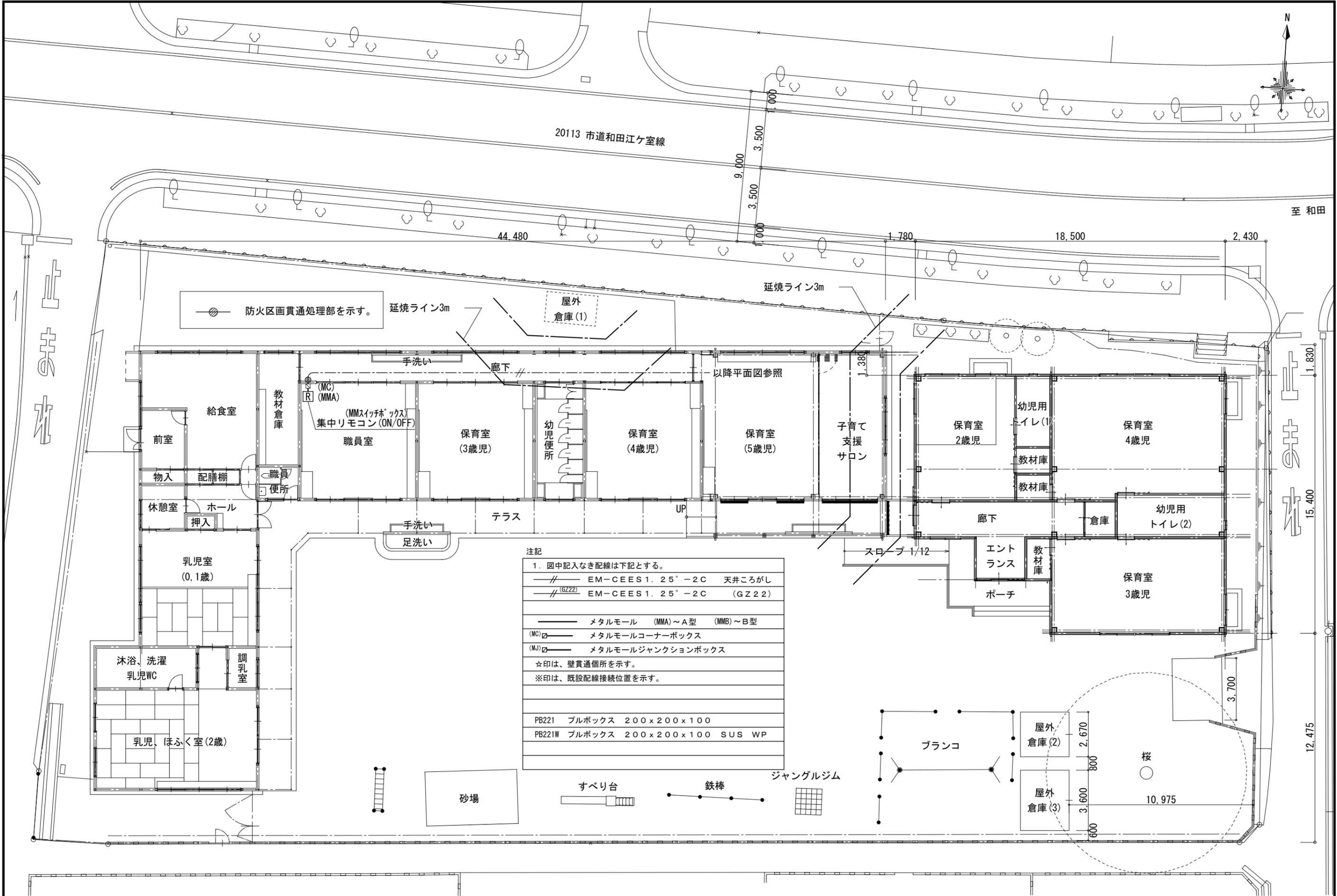
空調機器表				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力：5.0(1.3~5.6)Kw 暖房能力：5.6(1.4~7.1)Kw	2	防振ゴム ワイヤードリモコン
	天井カセット型（4方向）	単相200v 冷房定格消費電力：1.21kW 暖房定格消費電力：1.25kW 暖房低温最大消費電力：2.49kW		既成コンクリート架台 防護ネット 転倒防止金物
ACP-2	パッケージエアコン	冷房能力：5.6(1.4~6.3)Kw 暖房能力：6.3(1.6~8.0)Kw	3	防振ゴム ワイヤードリモコン
	天井カセット型（4方向）	単相200v 冷房定格消費電力：1.44kW 暖房定格消費電力：1.45kW 暖房低温最大消費電力：2.49kW		既成コンクリート架台 防護ネット 転倒防止金物
ACP-3	パッケージエアコン	冷房能力：7.1(1.8~8.0)Kw 暖房能力：8.0(2.0~9.5)Kw	2	防振ゴム ワイヤードリモコン
	天井カセット型（4方向）	単相200v 冷房定格消費電力：2.1kW 暖房定格消費電力：2.05kW 暖房低温最大消費電力：2.39kW		既成コンクリート架台 防護ネット 転倒防止金物
	集中リモコン	ON/OFF機能	1	職員室設置
特記事項：運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値、インバーター能力は参考とする。				
空調機トッランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。				
室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。				
リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。				
機器は同等品以上とする。機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。				

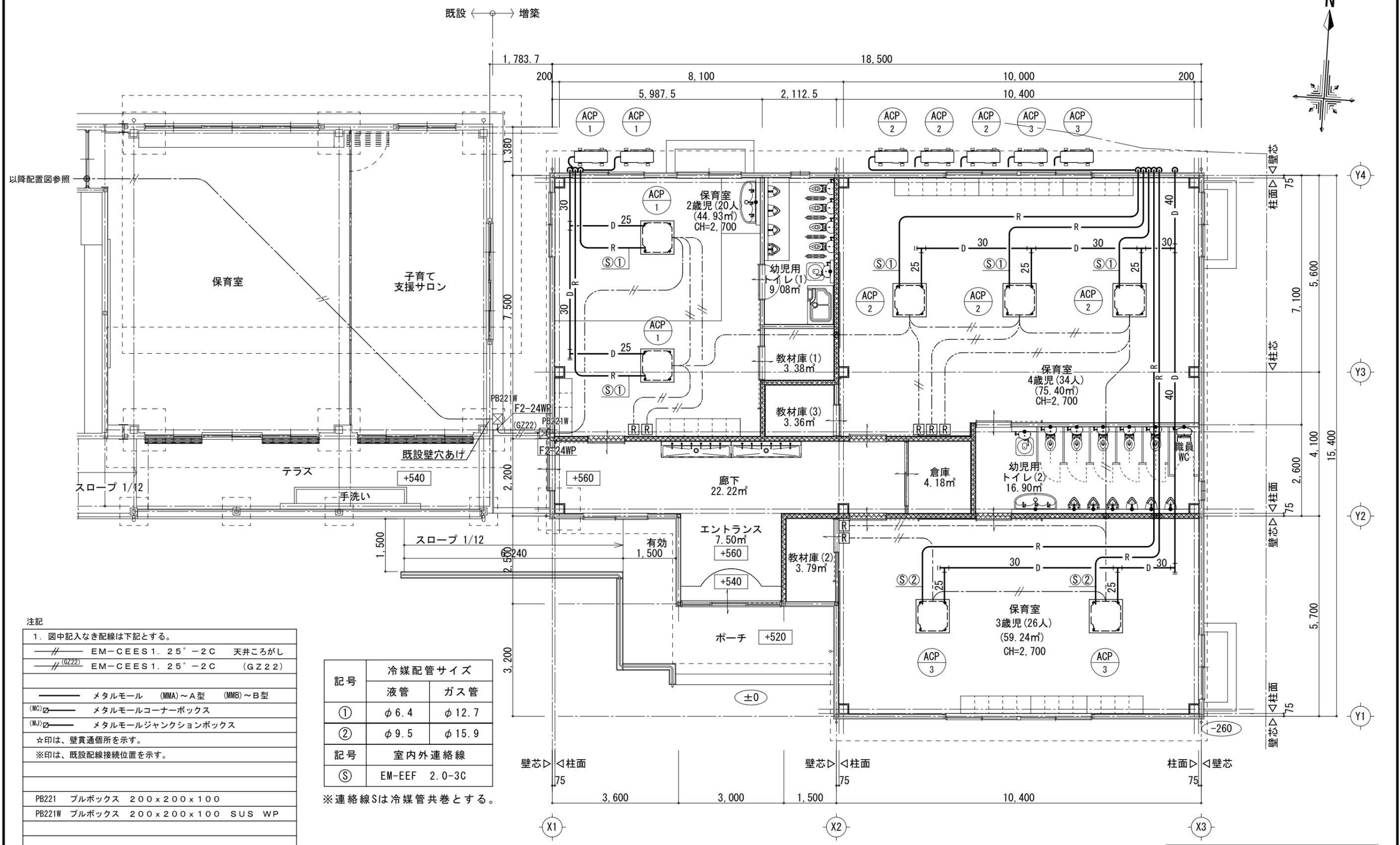


換気機器仕様								
記号	形式	風量 CMH	機外静圧 Pa	電源	消費電力 kw	備考	参考型番	数量
VF-1	天井扇 (低騒音) φ150 24H運転対応	200 50(24H)	60	単相100V	0.036	天吊金具 コントロールスイッチ(電気工事に支給) 強/弱運転対応	VD-18ZLXP12-CS	2
VF-2	天井扇 (低騒音) φ150 24H運転対応	260 80(24H)	80	単相100V	0.046	天吊金具 コントロールスイッチ(電気工事に支給) 強/弱運転対応	VD-20ZLX12-CS	2
VF-3	天井扇 (低騒音) φ150 24H運転対応	340 100(24H)	120	単相100V	0.082	天吊金具 コントロールスイッチ(電気工事に支給) 強/弱運転対応	VD-23ZLX12-CS	2
VF-4	天井扇 (低騒音) φ150	300	60	単相100V	0.049	天吊金具	VD-20ZB12	1
VF-5	天井扇 (低騒音) φ150	500	80	単相100V	0.106	天吊金具	VD-23ZP12	1
OA-1	給気グリル フィルター付 φ200					ハイクォード φ200(SUS製, 防虫網)	P-23GSF3	6
SF-1	サイクル扇 天井付 φ400			単相100V	0.047	コントロールスイッチ(電気工事に支給)	CY40-WG	8
特記事項 1、消費電力は参考値とする。 2、フードは指定色塗装とする。								

(別途工事)

建築基準法に基づく24時間換気										
保育所										
階	部屋名	室面積 m2	天井高 (又は平均高さ) m	気積 m3	エリア計 m3	換気回数 回/h	必要換気量 m3/h	設計換気量 m3/h	機器記号 (機器表参照)	備考
1	保育室 2歳児	44.93	2.70	121.4	121.4	0.3	37	50×2	VF-1 ×2台	
1	保育室 3歳児	59.24	2.70	160.0	160.0	0.3	48	80×2	VF-2 ×2台	
1	保育室 4歳児	75.40	2.70	203.6	203.6	0.3	62	100×2	VF-3 ×2台	





注記

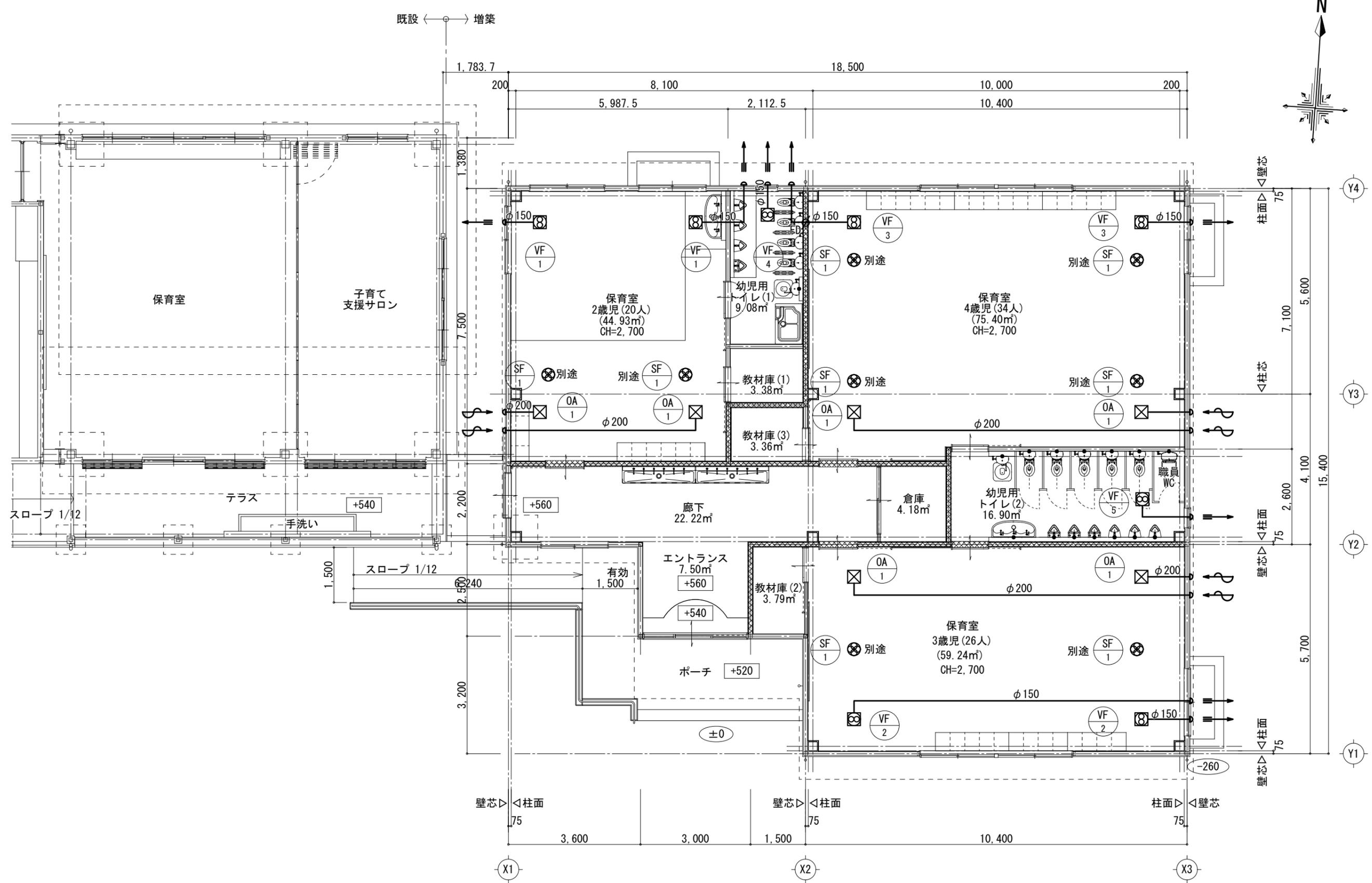
1. 図中記入なき配線は下記とする。

—//—	EM-CEES 1.25°-2C	天井ころがし
—// ^(GZ22) —	EM-CEES 1.25°-2C	(GZ22)
—	メタルモール (MMA)~A型 (MMB)~B型	
(MC) □	メタルモールコーナーボックス	
(MJ) □	メタルモールジャンクションボックス	
☆印	は、壁貫通箇所を示す。	
※印	は、既設配線接続位置を示す。	
PB221	ブルボックス	200×200×100
PB221W	ブルボックス	200×200×100 SUS WP

記号	冷媒配管サイズ	
	液管	ガス管
①	φ 6.4	φ 12.7
②	φ 9.5	φ 15.9
記号	室内外連絡線	
③	EM-EEF 2.0-3C	

※連絡線Sは冷媒管共巻とする。

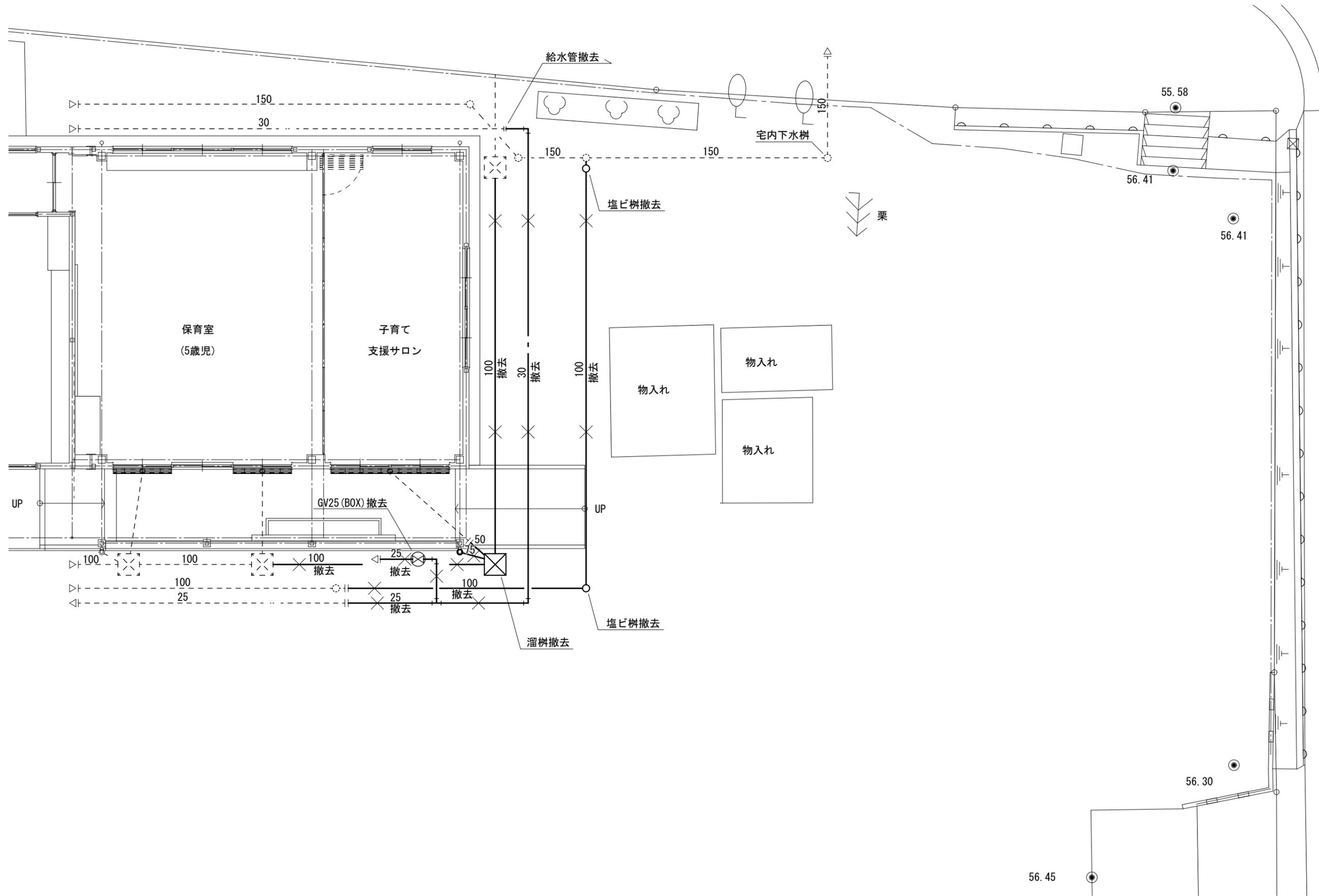
○● 防火区画貫通処理部を示す。



※注記	株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号		工事名	
	TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-5115 伊藤 公		和田保育園園舎増築工事	
日付	2021.11.18	担当	承認	図面名
				換気設備 平面図
				縮尺 図面番号
				A3:S=1/100 M-06

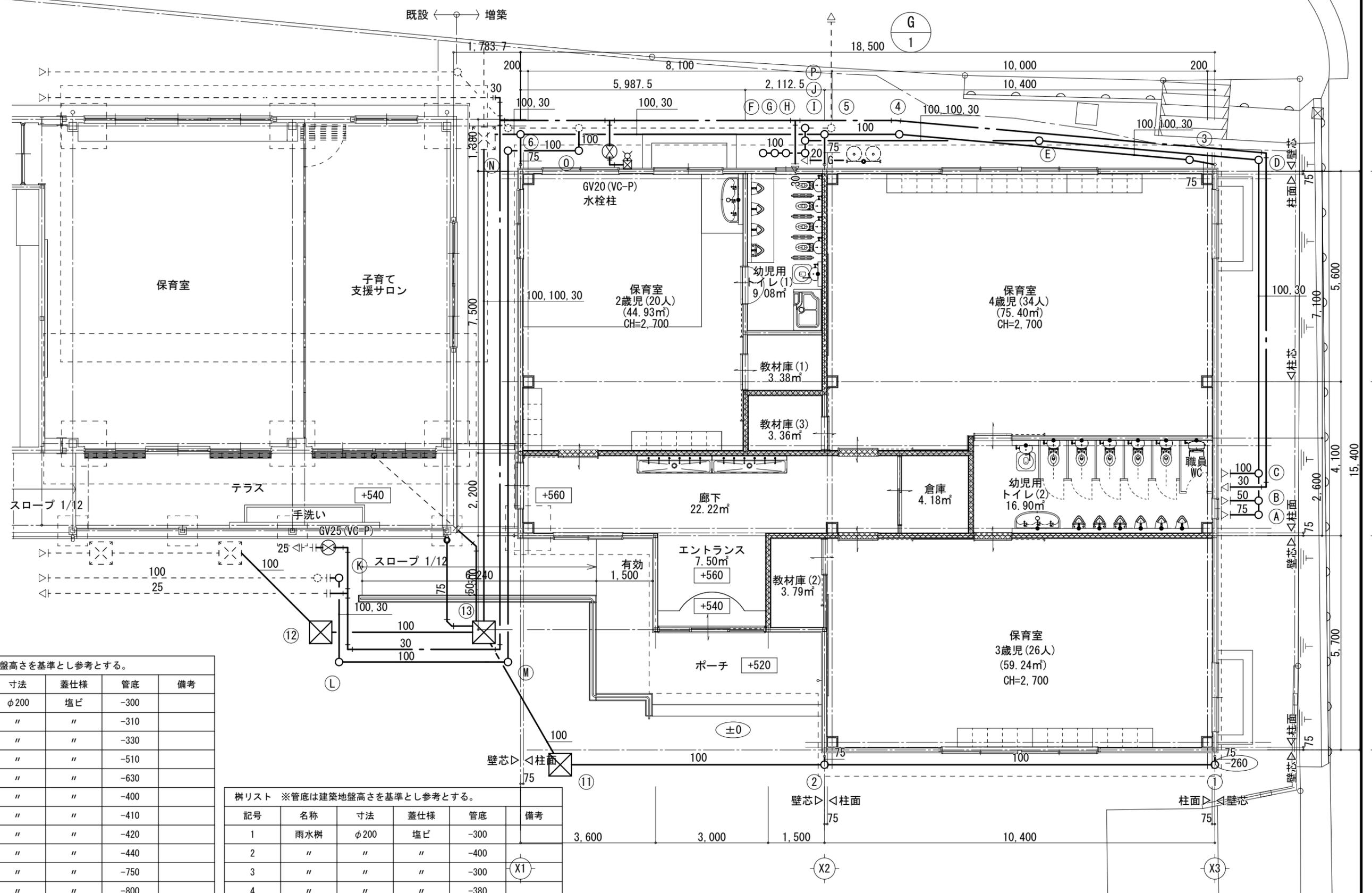
衛生器具表									
名称	仕様・参考型番		1階				屋外		合計
			幼児用トイレ1	幼児用トイレ2	保育室 2歳児	廊下 手洗い	外部		
	L I X I L								T O T O
洋風便器	BC-P110HM, DQ-PA150CH, CW-PA11FLQE-NE , 他一式 CF-63HST (紙巻器) AC100V	CFS498BMC, TCF5534AU , 他一式 YH702 (紙巻器) AC100V		1					1
幼児用便器 (2歳児)	C-P141S, DT-520XECH32, CF-7DCK , 他一式 AC100V	CS310B, S300BK, TCF41R (暖房便座) , 他一式 AC100V	4						4
幼児用便器 (3, 4歳児)	C-P143S, DT-520XECH38, CF-43DCK , 他一式 CF-63HST (紙巻器) AC100V	CS300B, S300BK, TCF40 (暖房便座) , 他一式 YH702 (紙巻器) AC100V		5					5
幼児用手すり (腰掛便器)	KF-AA131CEP44 ^-ハ^-ホルダ^-付 , 他一式	YYB10P2S (ぞう) ^-ハ^-ホルダ^-付 , 他一式	4						4
幼児用小便器	U-401R, UF-3J , 他一式	U310, T601P , 他一式		3					3
幼児用小便器 キックアップ	U-401R, UF-3J, KF-AA910CE40 (I型手すり) , 他一式	U310GY, T601P , 他一式	4	3					7
幼児用シャワーパン	PF-1175Y (3)-K1 , 他一式	PFS1100R, , 他一式	1						1
幼児用マルチンク	PS-A30C5A2A 自動水栓×3, キャビネットH: 500, 電温無し AC100V×3	SKA300LWASN, 自動水栓×3, キャビネットH: 500, 電温無し AC100V×3		1	1				2
丸形化粧鏡φ450	KF-500AC	YM4545FG		2	2				4
汚物流し	S-207LT1NNRP, ロ-タンク, 自在水栓	SKL330TNNR, ロ-タンク, 自在水栓 , 他一式	1	1					2
壁付自動水栓	AM-320HCV1 AC100V	TENA13AL AC100V				1	1		1
横自在水栓 (長ハンドル)	LF-12ZF-13-U	TK130AEQF13C					1		1
横水栓	LF-35-13-CV	T28AUH13						1	1
水栓柱	SUS製 1200H							1	1

機器仕様			
記号	名称	仕様・参考型番	数量
GW-1	ガス給湯器	屋外壁掛型16号 LPG仕様 リモコン, リモコンコード 配管カバー GV20, ガスコック	1
G-1	プロパンガス集合装置	50Kボンベ×2本立 自動切替装置 転倒防止装置	1



※注記

株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号		工事名	
TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-5115 伊藤 公		和田保育園園舎増築工事	
日付	担当	承認	図面名
2021.11.18			給排水衛生設備 平面図(改修前)
			縮尺 図面番号
			A3:S=1/100 M-08



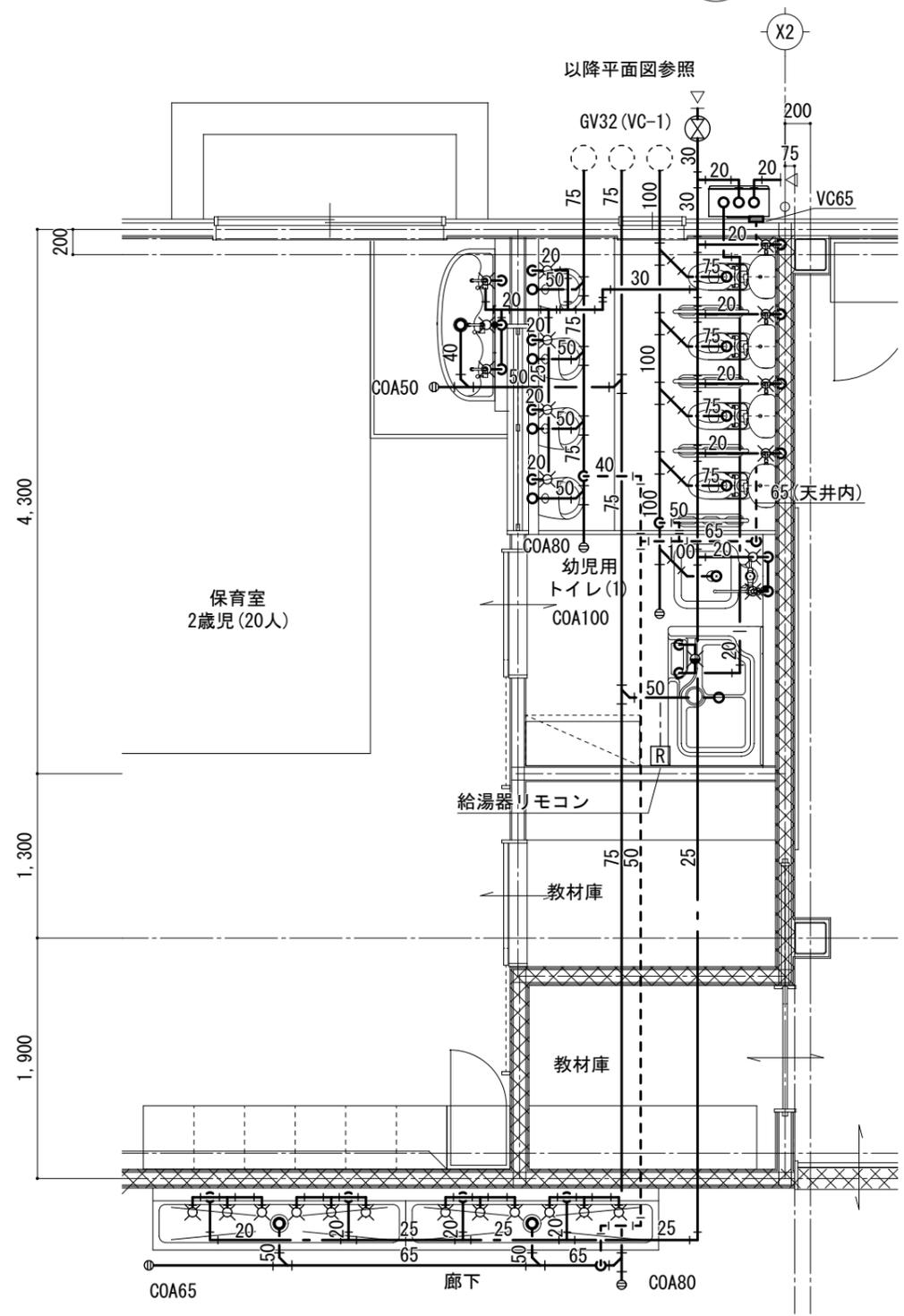
樹リスト ※管底は建築地盤高さを基準とし参考とする。

記号	名称	寸法	蓋仕様	管底	備考
A	汚水樹	φ200	塩ビ	-300	
B	"	"	"	-310	
C	"	"	"	-330	
D	"	"	"	-510	
E	"	"	"	-630	
F	"	"	"	-400	
G	"	"	"	-410	
H	"	"	"	-420	
I	"	"	"	-440	
J	"	"	"	-750	
K	"	"	"	-800	
L	"	"	"	-830	
M	"	"	"	-880	
N	"	"	"	-930	
O	"	"	"	-950	
P	"	"	"	-1290	

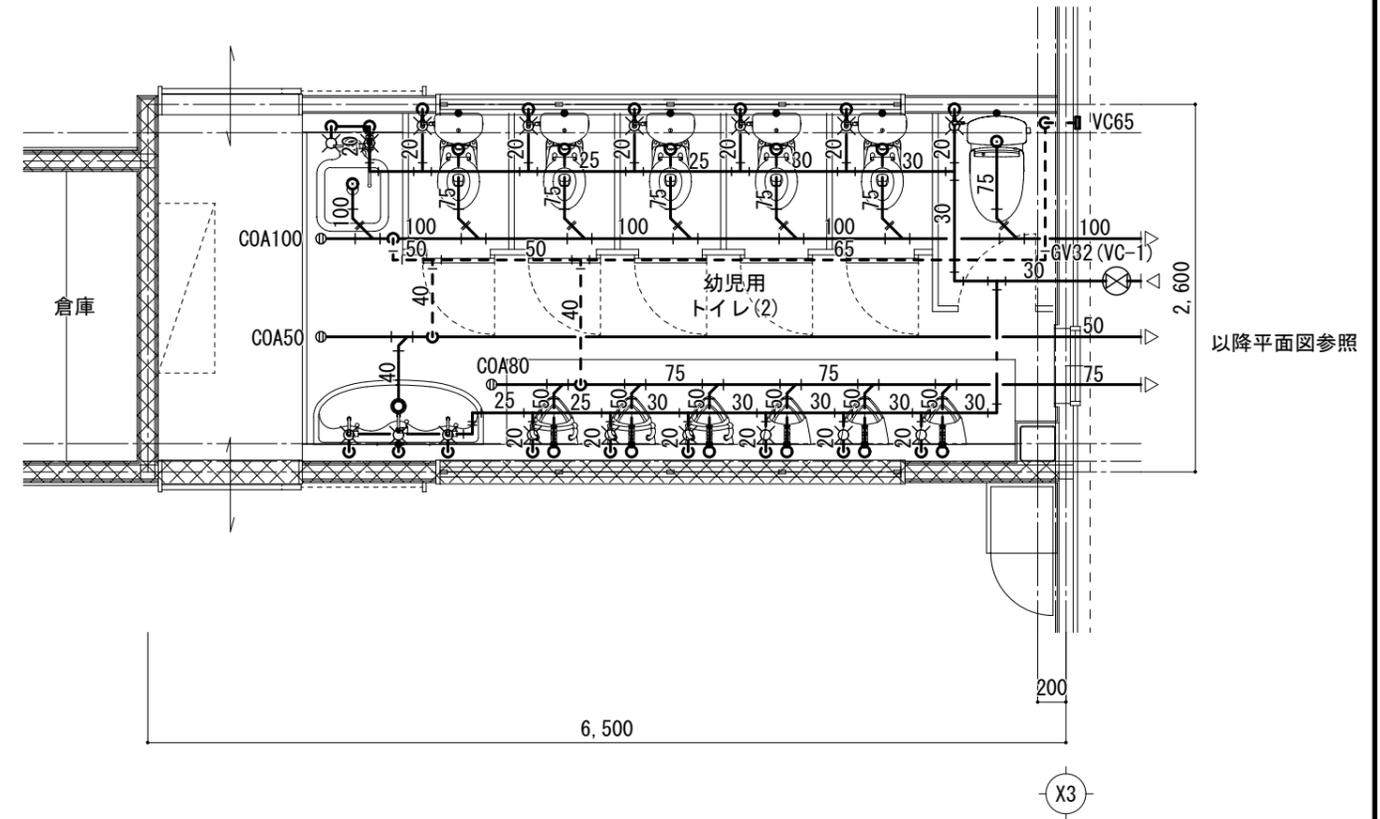
樹リスト ※管底は建築地盤高さを基準とし参考とする。

記号	名称	寸法	蓋仕様	管底	備考
1	雨水樹	φ200	塩ビ	-300	
2	"	"	"	-400	
3	"	"	"	-300	X1
4	"	"	"	-380	
5	"	"	"	-400	
6	"	"	"	-480	
11	"	450×450	MHB	-500	
12	"	"	"	-550	
13	"	"	"	-600	

GW 1 GV20, FJ20×2
ガスコック, ガスフレキ



幼児用トイレ(1)廻り 平面詳細図 S=1/50



幼児用トイレ(2)廻り 平面詳細図 S=1/50

※注記	株式会社 中部都市建築設計事務所 一級建築士登録番号 第143379号			工事名	
	TEL: 059-226-0139 FAX: 059-226-5115 伊藤 公			和田保育園園舎増築工事	
	日付	担当	承認	図面名	縮尺 図面番号
	2021.11.18			給排水衛生設備 平面詳細図	A3:S=1/50 M-10